

官報號外

明治二十九年三月二十六日 木曜日

内閣官報局

○第九回 衆議院議事速記録第四十六號

明治二十九年三月二十五日(水曜日)午後一時二十三分開議

議事日程 第四十六號 明治二十九年三月二十五日

午後一時開議

- 第一 地方學事通則中改正法律案(政府)
提出貴族院送付(特別委員)
- 第二 地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲ニ起債及
地租制限外賦課ノ件法律案(政府提出)
- 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四 重要輸出品同業組合法案(政府提出)
- 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 北海道鐵道敷設法案(貴族院提出)
家祿賞典祿處分法案
- 第七 明治二十七年法律第二十號中改正
- 第八 法律案
- 第九 帝國圖書館設立ノ建議案(鈴木充美君外三名提出)
棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案(喜多川孝
經君外二名提出)
- 第十 牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案(脇坂行三
君外三名提出)
- 第十一 総織物保護建議案(久保九兵衛君外三名提出)
- 第十二 水產傳習所官設建議案(改野耕三君外五名提出)
- 第十三 測候所增設ニ關スル建議案(濱田儀一郎君外二
名提出)
- 第十四 天氣豫報暴風警報ヲ全國ニ普及スル建議案(多
田作兵衛君外三名提出)
- 第十五 高等學校ヲ獨立セシムルノ建議案(波多野傳三
郎君外二名提出)
- 第十六 義勇兵團設置建議案(直原守次郎君外一名提出)
- 第十七 別格官幣社ヲ臺灣ニ建設スルノ建議案(北原信
綱君外二名提出)
- 第十八 水火消防組ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員
長報告)
- 第十九 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二十 山形縣下郡界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員
長報告)
- 第二十一 日光山社殿修繕ニ關スル請願

明治二十九年三月二十五日

木曜日

内閣官報局

- 第二十二 大和國古社寺保存ニ關スル請願
- 第二十三 鐵道敷設上本位軌道採用ニ關スル建議案
- 二十四 廣軌鐵道ニ關スル建議案
- 二十五 明治二十二年法律第十號改正法律案(片岡
健吉君外八名提出)
- 二十六 港灣調查ノ建議案(目黒貞治君外四名提出)
- 二十七 炭量調查所設置ニ關スル建議案(藤金作君
提出)
- 二十八 裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造君外
一名提出)
- 二十九 保安條例廢止法律案(西村眞太郎君外二名
提出)
- 三十 開港法案
- 三十一 府縣農事試驗場國庫補助法案
- 三十二 府縣制改正法律案
- 三十三 大分縣豐後國佐賀關海峽二燈臺及浮標設置
ニ關スル建議案(毛利莫君外二名提出)
- 三十四 國勢調查執行建議案(汪原素六君外三名提
出)
- 三十五 木曾揖斐兩川間閘門設立ニ關スル請願
- 三十六 一會計檢查院法中改正法律案
- 三十七 一會計檢查官退官ニ關スル法律案
- 三十八 右法律案ハ緊急ノ件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ
議定相成度此段及要求候也
- 三十九 明治二十九年度歲入歲出總豫算追加案
明治二十九年三月二十五日 内閣總理大臣臨時代理
樞密院議長伯爵黒田清隆
- 四十 衆議院議長楠本正隆殿
- 四十一 會計檢查院法中改正法律案
- 四十二 會計檢查官退官ニ關スル法律案

(請願委員
長報告)

貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ

静岡縣下郡廢置法律案

福島縣下郡廢置法律案

貴族院ニ於テ會計検査官懲戒法案ヲ否決、兩院協議會ノ成案ニ係ル明治二十八年度特別會計歲入歲出豫算追加案(乙)ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道建築規定ニ關スル建議案

提出者 福田久松君

戰死病死者遺族扶助ニ關スル建議案

提出者 小鷹狩元凱君

藤田達芳君

市島謙吉君
丸尾文六君
江藤新作君

高木正年君

田中正造君

松島廉作君

田中卯吉君

吉沼源太君

大竹貫一君

金尾稜嚴君

田中四宮君

有信君ヨリ小

金ヶ原開墾地ノ所有權ヲ細民ヨリ奪ヒタル件

田中正造君ヨリ明治二十七

年ニ於ケル臨時總選舉ノ期日ヲ故ラニ遷延シタル件

遼東還附ノ罪責ヲ以

テ軍隊及衆議院ニ歸セントシ且ツ外ニ於テハ更ニ三國ニ請托シ内ニ於テハ

國民ヲ瞞著シタル件

朝鮮國居留商人ニ退去ヲ命シタル件

足尾銅山鑛毒ニ關スル件

北海道炭礦鐵道會社ノ情弊除去ニ關スル件

肥後熊本ニ在ル大官林ト細川家ノ私有小山林トヲ交換セシ件

陸奥外務大臣ノ曠職ニ關スル件

衆議院議員濱野茂拘留通知ニ關スル件

三浦安ヲ宮中顧問官ニ奏薦シタル件

朝鮮國居留商人ニ退去ヲ命シタル件

足尾銅山鑛毒ニ關スル件

北海道炭礦鐵道會社ノ情弊除去ニ關スル件

肥後熊本ニ在ル大官林ト細川家ノ私有小山林トヲ交換セシ件

陸軍用品買入ニ關スル再質問題意書

陸軍用品買入及軍夫雇入ニ關シ去ル十二月二十八日八箇條ノ質問書ヲ提出セシニ當局者ハ一月二十四日ニ至り長文ノ答辯書(二十一日附)ヲ回附報告シタリ之ヲ前議會ニ於ケル罐詰買上ノ質問ニ對スル傲慢無禮ノ答辯ニ比スレハ頗る穩當ニシテ精細ナルヲ見ル特ニ軍夫小頭ノ給料ニ關スル件及軍吏薪水之助ノ變死ニ關スル件ハ不充分ナガラモ了解スル所アルニ至リタリト雖トモ其他石炭毛布罐詰ノ買上ニ關スル答辯ハ猶ホ其要領ヲ得サル點少ナカラス依テ已ムヲ得ス更ニ左ノ質問ヲ提出ス

一石炭ノ需用ニ就テ海軍ノ方高價ノ石炭ヲ要スヘキ筈ナルニ陸軍ノ方却テ高價ノ石炭ヲ買入レタルハ平準ヲ得サルカ如シ如何トノ問ニ對シ當局者ハ先ツ其買上ケノ來歴ヲ述ヘ然ル後チ幾多ノ統計ヲ示シテ其然ラサルヲ辯シタリト雖トモ其統計ニハ誤謬ノ比較アルノミナラス其買上ケノ來歴ヲ述フルニ當リテモ至ツテ精密ヲ缺キ人ヲシテ其要領ヲ捕捉

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

同理事

輸出羽二重検査所法案審査特別委員長

坪田仁兵衛君
小室重弘君

事 平 均	陸 軍 事 事 平 均	海 軍 事 事 平 均	陸海軍兩省ノ買上代價ヲ比較セんニハ其同時期間ニ買上ケタル石炭ノ一頓平均代價ヲ以テセサル可ラス特ニ二十八年四月十七日ハ媾和談判已ニ平和ノ結局シテ雙方ノ調印ヲ了ハリタル時ナルヲ以テ軍用諸品ノ代價大抵低減ニ傾キ石炭代價ノ如キハ特ニ低下シタルニ當局者ハ四月十五日以後ハ強ヒテ之ヲ低下セシメタル如ク揚言シ其低下シタル價格ヲ以テ直チニ以前ノ代價ト混淆平均シテ之ヲ他ニ比較セントスルハ決シテ當ヲ得タルモノニアラス今若シ真正ニ陸海軍兩省ノ買上代價ヲ比較セニハ左ノ如クスヘシ	
			五八九三	五八九〇
自二十七年六月至三十 八年四月運送船ニ給與 セシ分	自二十七年六月至三十 八年二月期間ニ於テ陸 軍省ト同法ヲ以テ購買 セシ分	自二十七年六月至同八 月ノ間ニ於テ陸上ニテ 購買セシ分	五八九三	五八九〇
			五八九三	五八九〇
自二十七年六月至三十 八年四月運送船ニ給與 セシ分	自二十七年七月月至三十 八年二月期間ニ於テ陸 海軍省ト同法ヲ以テ購買 セシ分	自二十七年七月月至三十 八年二月期間ニ於テ陸 軍省ト同法ヲ以テ購買 セシ分	五八九三	五八九〇
			五八九三	五八九〇

事 平 均	陸 軍 軍 事 平 均	海 軍 軍 事 平 均	陸軍軍省買上石炭代價比較表(其二)	
			五八九三	五八九〇
自二十八年四月至同年十 月運送船ニ給與セシ分	一頓平均代 五八九七	徵發購買(陸上受領) 五八九七	五八九三	五八九〇
			五八九三	五八九〇
平 均	軍 事 平 均	軍 事 平 均	比 較 ノ 差	
			五八九三	五八九〇

スルニ苦マシムモノアリ先ツ其統計ニ就テ言ハシニ當局者ハ

陸海軍省買上石炭代價比較表

海軍省買上石炭代價比較ノ差

陸軍軍省買上石炭代價比較表

海軍軍省買上石炭代價比較ノ差

事 平 均	陸 軍 軍 事 平 均	海 軍 軍 事 平 均	陸軍軍省買上石炭代價比較表(其二)	
			五八九三	五八九〇
自二十七年七月月至三十 八年二月期間ニ於テ陸 海軍省ト同法ヲ以テ購買 セシ分	一頓平均代 五八九三	徵發購買(陸上受領) 五八九三	五八九三	五八九〇
			五八九三	五八九〇
自二十七年七月月至三十 八年二月期間ニ於テ陸 軍省ト同法ヲ以テ購買 セシ分	一頓平均代 五八九三	徵發購買(陸上受領) 五八九三	五八九三	五八九〇
			五八九三	五八九〇

即チ陸軍省ノ買上代價海軍省ノ分ニ比シ參拾錢參厘ノ低廉ヲ見ル（四月以前ハ前ニモ述ヘタル如ク陸軍省買上代價參拾五錢六厘ノ高貴ヲ見タリ）ニ至リタリト雖モ之レス相當ノ差額ト言フヘカラス蓋シ軍艦水雷艇等ノ航駛ニ要スル石炭ハ其品質至テ精良ヲ要スルヲ以テ内國炭ヲ購入スルニ當リテモ精選ニ精選ヲ加ヘ或ハ時ニ高價ノ英炭ヲ購入使用スルモノ之ニ反シ陸軍ハ運送船ニ用ユルモノナルヲ以テ左マテ精良ノ石炭ヲ購入使用スルヲ要セス言ヒ換フレハ海軍ニテハ上等ノ石炭ヲ要スルモ陸軍ニテハ中等若クハ下等ノ石炭ニテ事足ルナリ從テ其買上代價ノ上ニ著シキ差異ヲ見ルハ當然ノ事ナリトス今日清開戦ノ當時ニ於ケル石炭ノ普通相場ヲ見ルニ一頓ニ付上等四圓貳參拾錢中等參圓五六拾錢下等參圓以下ナリ然ルニ陸海軍兩省ノ買上ケタル實際ノ代價ハ共ニ六圓内外ニ達シ普通相場ニ比シテ著シキ高貴ヲ見ルモコハ兵馬倥偬ノ際トテ無理ナラヌ事ナレハ深ク咎責スヘキニアラス唯普通相場ニ於テ上炭ト中炭トノ間已ニ七八拾錢ノ差異アリ上炭ト下炭トノ間ニハ壹圓貳參拾錢ノ差異ヲ見ル以上ハ上炭ノミヲ使用スル海軍省ノ買上代價ト中炭若クハ下炭ヲ使用スル陸軍省ノ買上代價トノ間ニハ依然七八拾錢乃至壹圓貳參拾錢ノ差額ヲ見サルヘカラス然ルニ其實際ノ差額僅々參拾錢參厘ニ過キサルハ誠ニ奇怪ト言ハサルヘカラス手短カニ之ヲ言ヘハ陸軍省ノ買上代價ハ海軍省ノ分ニ比シテ更ニ數層ノ低廉ヲ見サル可ラス然ルニ實際ハ斯クノ如シ是レ陸軍省ノ買上代價海軍省ニ比シテ高貴ナリト言フ所以當局者猶ホ然ラスト言フ乎

次ニ（二）石炭ノ代價ハ前後其方法ヲ異ニシタルヲ説キナカラ即チ日本郵船及大阪商船ノ兩株式會社以外ノモノヨリ借り上ケタル船舶ニ要スル石炭ハ始メハ其船主自ラ好シテ日本郵船株式會社ノ石炭ヲ使用シ中項船主ノ請求ニ依リテ其自辨ト爲シ後チニハ政府特ニ命シテ日本郵船株式會社ヨリ其供給ヲ爲サンムル事ト爲シタリト言ヒナカラ毫モ其時期ヲ示サルカ如キ（二）日本郵船及大阪商船兩株式會社以外ノモノヨリ借り上ケタル船舶ノ船主カ自辨シタル石炭ノ噸數及其一頓ノ平均代價ヲ示サルカ如キ（三）日本郵船株式會社ニ委托シテ石炭ヲ供給セシムル事ニ決シタル後チ大阪商船株式會社ハ依然其自辨ニ任セシヤ又兩會社力自辨シタル頃類及ヒ一頓ノ平均代價ハ如何程ナリヤヲ示サルカ如キ（四）海軍ニ在リテハ門司ノ石炭置物ヨリ軍艦ヘノ運送ニ掛ル解船其他積入人夫等ノ雇賃等ハ總テ石炭代價ノ外ノ仕拂ヲ爲シタリト雖トモ陸軍省ニ於テハ同場ヨリ運送船ニ積込ミマス一切ノ費用ハ石價代價ニ含有スルヲ以テ云々ト言ヒ乍ラ其石炭一頓ニ要スル費用ヲ示サルカ如キ（五）二十八年四月十五日ヨリ同十月三十一日ニ至ル間ニ於テ借上ケタル船舶ノ數及其船舶中ニ在リタル廉價ノ殘炭ノ噸數及其一頓ノ平均代價ヲ示サルカ如キ要スルニ不精密極マル答辨ト言ハサル可ラス今一々詳細ノ説明ヲヒテ之ヲ追窮スルノ要ナキモ其府下京橋、日本橋、神田ノ三區ノミニテ

スラ純粹ノ毛布卸業者歴々三十七名ノ多キニ及フニ其中買上ニ接シタルモノ僅カニ三名ニ過キサルカ如キハ決シテ黙々ニ附スヘカラス今陸軍省經理局ニテ取扱ヒタル分ヲ見ルニ其買上ニ係ル毛布ノ數三十三万三千四百十六枚ニシテ代價總額百六万七千圓餘ニ達シ而シテ其ノ供給者ハ凡テ十三名（内横濱一名大阪一名）ナリ翻テ府下ノ毛布卸業者ノ數ヲ見ルニ前ニモ述ヘタルカ如ク單ニ京橋、日本橋及ヒ神田ノ三區ノミニテ已ニ三十七名ノ多キニ達ス故ニ苟モ經理局ニシテ少シク注意スル所アリテ毛布ノ供給ヲ是等在來ノ卸業者中ニ求メハ其買上ケニ就テ左シタル困難ヲ感セサリシナラン言換フレハ其供給者ハ純粹在來者ノ毛布卸業者ノミニテ優ニ餘リアリシナラン然ルニ經理局ハ殆ント是等在來ノ卸業者ニ注意スルコトナク却ツテ毫末毛布業ニ關係ナキモノヨリ巨額ノ買上ヲ爲シ爲メニ府下數十名ノ毛布卸業者中其ノ買上ケニ接シタルモノ僅カニ三名ニ過キサルノ奇觀ヲ呈ス假令其間ニ言フヘカラサルノ醜事ナシトスルモ此ノ如キハ決シテ止ムヲ得サル結果ナリトシテ黙過スヘキニアラス況シヤ醜評紛々聞クニ忍ヒサルモノアルニ於テオヤ當局者ハ辯シテ言フ當時毛布ノ需用供給ニ付テハ非常ノ平均ヲ失ヒタルヲ以テ普通ノ購買方ニノミ依ルトキハ軍隊ノ給養上ニ不容易不都合ヲ釀成スルノ恐レアルニ依リ其所有者ノ如何ヲ問ハス毛布ノ供給ヲ申出ツルモノアルトキハ唯其品質適當ニシテ代價モ亦相當ト認ムルモノハ總テ之ヲ購入スルノ止ムヲ得サル必要ニ迫ラレタリト余等ト雖トモ此ノ辯解ヲ以テ必スシモ強辯曲解ナリトハ爲サス只當時果シテ斯クマデノ必要ニ迫ラレタリトスレハ純粹ノ毛布卸業者ハ大概第一著ニ其ノ買上ニ接スルコソ當然ノ情理ニシテ而シテ毫末毛布業ニ關係ナキモノ、店裡巨額ノ毛布ヲ藏スルカ如キ事アルヘカラス然ルニ其實際ハ全ク之ニ反シ純粹ノ毛布卸業者ハ前ニモ述ヘタル如ク其買上ニ接シタルモノ甚少ナク而シテ毫末毛布業ニ關係ナキモノ、店裡ニハ巨額ノ毛布ヲ藏シ機ヲ見テ輒ク其買上ケニ應スルヲ得タリ是レ余等ノ怪シテ而シテ問ハント欲スル所ナリ次キニ怪ムヘキハ其買上時期ノ前後ニ依テ代價ニ著シキ差異アルコトナリ之ヲ詳言スレハ毛布ノ代價始メテ廉ニシテ後チニ貴ク而シテ之ヲ買上クルハ始メノ廉クナル時ニシテ後ノ貴キ時ニ多カリシコト是レナリ

二十七年十一月迄 二十七年十二月後 三買上ケタル分 比較ノ差	二十九、三五 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 三七七一	毛布ノ數 一二九、一〇一 七六〇、九〇六、一一五 七六〇、九〇六、一一五 三七七一	代價總額 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 三七七一	平均一枚 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 三七七一	平價 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 四四五、七四一、五九 三七七一
平均一枚ノ代價ニ於テ壹圓參拾五錢參厘許ノ差額ヲ見ル誠ニ非常ノ差額ト言ハサルヘカラス	十一月頃迄ナラサルヘカラス十一月頃マテニハ略々外征軍隊ノ數ニ相應スヘキ毛布ヲ買上ケテ之ヲ輸送スルノ準備ヲ爲サルヘカラス反面ヨリ之ヲ言ヘハ十一月頃マテニ買上ケタル數ハ頗ル夥多ニシテ之ヲ十二月以後ノ買上ケ額ニ比スレハ寧ロ勝ルアルモ劣ルコトアルヘカラス然ルニ其實際ハ全ク之ニ反シ十二月後ノ買上ケ額十一月マテノ買上ケ額ニ比シテ				

却テ七万五千三百十四枚ノ多キヲ見ルノミナラス其ノ代價ニ於テハ前ニモ述フル如ク平均一枚ニ付キ一圓三十五錢三厘ノ高貴ヲ見ル今之ヲ十二月後ノ買入總額二十万四千三百十五枚ニ對照積算スレハ實ニ二十七万六千四百三十八圓十九錢五厘ノ巨額ト爲ル而シテ是レ全ク當局者ノ怠慢貪虐ヨリシテ生シタル損失ナリト言ハサルヘカラス是レ單ニ經理局ニテ取扱ヒタル分ニ就テ言フノミ其ノ全國ニ涉リテハ果シテ幾干ノ損失ナルヤ遠カニ測知スヘカラサルナリ但、十一月マテニ買上ケタルモ毛布ノ中ニハ量目ノ少クシテ代價ノ廉ナルモノアリ從ツテ平均一枚ノ代價十二月後ニ買上ケタル分ニ比シテ稍々低廉ナルヲ見ルハ決シテ怪ムヘキニアラスト雖モ其差額一圓三十五錢餘ノ多キニ及フハ實際不可有ノ事ナリト言ハサルヘカラス特ニ一月以後ハ徐々暖氣ニ向フヲ以テ毛布ノ代價ノ如キハ自然低下スヘキ筈ナルニ毫モ左ル傾キヲ見サルノミナラス當局者ハ其以前ニ比シテ却ツテ高貴ノ價ヲ以テ其ノ買上ケヲ爲ス奇怪ニアラスシテ何當局者ハ復タ需用ノ夥多ナリシト毛布ノ拂底トヲ以テ之カ口實ト爲サントセん然レトモ已ニ幾タヒモ述ヘ來リタルコトク當局者ハ府下ノ毛布營業者ヲ取調フル事タモ爲サス從フテ二十七名ノ毛布卸業者中其買上ニ接シタルモノ僅ニ三名ニ過キサル奇怪ノ現象ヲ呈シ而シテ他面ニ於テハ毫米未毛布業ニ關係ナキ者スラ巨額ノ毛布ヲ藏シテ輒ク其買上ニ應シタルヲ見レハ其口實モ亦決シテ首肯スヘカラサルナリ之ヲ要スルニ當局者ノ答辯ハ未タ盡サル所アルノミナラス却ツテ益疑惑ヲ増サシムルモノアリ依テ上記ノ點ニ就イテ更ニ詳細ノ答辯ヲ求ム且ツ十二月迄ト一月ノ後ニ買上ケタル毛布ノ數及ヒ内地各衛戍病院備附品並ニ後備諸隊ニ支給シアル毛布ヲ引上ケタル數ハ如何程ナルヤ一牛肉罐詰ノ買上ニ關シテハ問フ所答フル所ニアラス答フル所問フ所ニ違フテ特ニ其要領ヲ得ル能ハス且ツ當局者ハ往々「第八議會ニ於テ已ニ答辯シタル如ク云々」ト述ヘ去ラントスルモ第八議會ニ於ケル答辯ハ更ニ其要領ヲ得サルモノナリ依テ今重ネテ其疑點ヲ列舉シテ精細ナル答辯ヲ促カス

一明治二十七年八月朝鮮國ニ事變ノ生シタル際出征軍隊用トシテ牛肉罐詰ノ需用ヲ生セシヤ當時其營業者中資力確實ニシテ製法完全ト認ムル者甚タ妙ナク咄嗟ノ需用ニ當リ其之ニ應シ得ヘキ適當ノモノ寡ナカリシヲ以テ舶來品ニシテ普通商賈ノ手ニ貯藏シアルモノ及ヒ漸次輸入シ來リタルモノ等ヲ買收シ以テ纔カニ其需用ヲ充タセシカ爾後該品ノ需用增加スルニ隨テ其供給者續々内地ニ興起セシニ依リ陸軍省ハ内地ノ製造品ヲ購買シ其需用ニ供シタルモ時將サニ夏季ニ際シタルノミナラス其製造所ノ如キモ俄カニ設立セシモノナルニ依リ製造方ニ就イテモ不充分ノ所爲アルヲ認メタリ故ニ陸軍省ニ於テハ該品調査委員ヲ選定シ一昨二十七年十月十五日ヲ期シ全國内重モナル牛肉罐詰製造營業者ヲ陸軍省ニ會同セシメ

ト云ヘルニ就テハ余等亦當局者ノ注意ヲ諒ス唯當局者已ニ「製造方ニ就テモ不充分ヲ免レサルカ爲ノ腐敗品多ク又僅少ノ時間ニ多數ノ需用品ヲ製造スルヲ以テ自然其監督上ニモ行届カサル廉アルニヨリ粗製品又ハ其荷作り等ニ不完全ノ所爲アルヲ認メタリ故ニ陸軍省ニ於テハ該品調査委員ヲ選定シ一昨二十七年十月十五日ヲ期シ全國内重モナル牛肉罐詰製造營業者ヲ陸軍省ニ會同セシメ

二當局者ハ「時將ニ夏時ニ際シタルヲ以テ(中略)腐敗品多ク」ト云フモ寒季ノ候モ亦腐敗シテ用ニ適セサリシモノ頗ル多カリシハ掩フヘカラサルノ事實ナリ當局者ノ答辯スル如クシハ陸軍省ニ於テハ明治二十七年十月十五日ヲ期シ全國内重ナル牛肉罐詰製造營業者ヲ陸軍省ニ會同セシメ同省ニ於テ選定シタル該品調査委員ヲシテ其製造方法ヲ協議セシメタリト云フ果シテ然ラハ寒季ニ入ルノ前已ニ其製造方法等ヲ協議シテ粗製濫造ノ弊ヲ矯正シタルモノ特ニ氣候全ク寒冷ニ向ヒタルニ於テ腐敗品ノ如キハ稀有若クハ皆無ナラサルヘカラス然ルニ其實際ハ全ク之ニ反ス其理由如何

三當局者カ曾テ指定セルカ如キ資格ヲ有スル牛肉罐詰製造業者ハ從來東京ニ一人モアルナシ勿論海苔若クハ貝類等ノ罐詰製造業者ハ多少是レナキニアラサルモ牛肉罐詰製造業ニ至リテハ頗ル是等ト技術ヲ異ニシ決シテ期日ノ間ニ熟練シ丁ルヘキニアラサルヲ以テ是ノ罐詰製造者ハ到底當局者ノ指定セル如キ資格ニ適合スヘキ牛肉罐詰製造者タル能ハス然ルニ牛肉罐詰ノ需用大ニ増加スルヤ一朝十八箇所ノ牛肉罐詰製造所突如トシテ出來シ當局者亦之ヲ認容シテ牛肉罐詰ノ製造供給ヲ命シタリ是實ニ奇怪ノ處置ニシテ破格ノ沙汰ト言ハサルヘカラス今歩ヲ譲リテ斯ノ如キ破格ノ沙汰ヲ爲スモ已ムヲ得ストセハ元來牛肉罐詰ノ本場タル關西地方ニ於テハ更ニ幾多ノ罐詰業者出テ、著シク製造力ヲ増加シタルコト固ヨリ疑フヘクモアラス故ニ若シ當局者ニシテ能ク之ヲ獎勵シテ其供給ヲ努メシメハ必ラスシエ運送不便代價不廉品質不良製造無經驗ノ東京ニ於テ巨額ノ牛肉罐詰ヲ買上クルノ要ナク必然其本場トシテ運送モ便ニ代價モ廉ニ且ツ品質良好製造熟練ナル關西地方ニ於テ等ヲ生シタルメニ其製造ヲ辭シタルモノ等種々ノ故障ヲ生シタルタメ注優ニ其需用ヲ充タスヲ得タルヤ明カナリ然ルニ當局者ノ爲ス所此ニ出テスシテ彼レニ出ツ其意ノ在ル所甚ダ奇怪トスヘシ此點ニ就イテ當局者ハ曰ク「關西ノ製造中或ハ器械ノ破損又ハ職工中流行病ニ罹ルモノ等ヲ生シタルメニ其製造ヲ辭シタルモノ等種々ノ故障ヲ生シタルタメ注文數ニ異同ヲ生シ右ノ如キ結果ヲ招クニ至リタリ」ト夫レ然ランシカモ是等ノ故障惟リ東京ニ起ラスシテ重ニ牛肉罐詰ノ本場タル關西地方ニノミ生シタルハ亦誠ニ了解シ難キ事ナリトス如何且ツ其ノ所謂故障ノ事跡ヲ明細ニ説示セヨ

四答辯書ニ依レハ當局者ハ「各地方ノモノヨリ其標本ヲ提出シ終ラサル」

内至急ノ需用アリシト言ヘトモ二十七年十月十五日全國內重ナル牛

肉罐詰製造者ヲ陸軍省ニ會同セシメタル時ハ各地方營業者ハ當局者ヨ

リ發シタル達ニ依リ即チ満二箇年以上牛肉罐詰製造業若クハ牛肉罐詰

販賣業ニ從事セシ證明書其製造所ノ位置製造ノ方法毎日ノ出來高製造

場ノ建物及ヒ其ノ製造器具建物ハ自己ノ所有ナルヤ借家ナルヤノ證明

書等ニ標本トシテ四十目入レノ罐詰三箇二斤入レノ罐詰三箇ヲ添フヘ

シトノ規定要件ヲ充タシテ出頭セシモノナルヲ以テ其ノ會同ノ當時已

ニ標本ヲ提出シ了リタルハ明々白々ナル事實ナリトス然ルニ當局者ハ

其ノ會同日即チ十五日以後ニ至リ却テ十五日以前ヨリモ巨額ノ供給ヲ

東京ナル一夜作リノ牛肉罐詰者ニ命シ而シテ其ノ理由ヲ以テ各地方ノ

モノヨリ其標本ヲ提出シ終ハラサル内至急ノ需用アリシト云フニ歸セ

ントス十五日以前ハイサ知ラス十五日以後ニ在テハ決ジテ斯ル事實ノ

存在スヘキ筈ナシシカモ猶ホ此言ヲ爲ス是レ虛妄謬誣ノ最モ甚タシキ

モノニシテ當局者カ其ノ非行ヲ瞞過セントスル一片ノ遁辭ト見ルノ外

ナシ當局者以テ如何トナス

五答辯書ニ依レハ海軍省ニテハ内地製造品ノ持久保存ニ堪エサルヲ恐レ

テ常ニ舶來ノ罐詰ヲ買入レ使用ストアルモ實際神戸ニ於テ常ニ少ナカ

ラサル罐詰ヲ購入使用シツ、アルニアラスヤソハ免モ角モトスルモ海軍

省ニテハ腐敗ノ恐レアリトテ内地製造品ニシテ縱令熟練ノ製造ト雖ト

モ容易ニ買入レサル事例モアルニ陸軍省ニ於テ之ニ鑑ミテ努メテ精良

ノ品ヲ買上クルコトヲ爲サス却テ内地ニ於テ牛肉罐詰ノ本場トシテ海

軍省スラ少ナカラサル購入ヲ爲シツ、アル關西地方ヨリ買取ルコトヲ

薄クシ製造ノ不熟練品質ノ不良ニ加フルニ運送ノ不便代價ノ不廉ヲ以

テスル東京ヨリ巨額ノ買上ケヲ爲シタルハ國庫ニ對シテハ不經濟軍隊

ニ對シテハ不親切ノ極ト言ハサルヘカラス如何

六東京ノ商人某ガ嘗テ納付シタル一万餘箇ノ牛肉罐詰ハ不適當品ナリト

テ宇品ナル検査官ヨリ突戻サレタルハ掩フ可ラサルノ事實ナリ然ルニ

其後某ハ巧ニ之ヲ變装シテ再納シ當局者亦之ヲ買上ケタリトノ噂サア

ルハ眞乎且ツスル不正ノ所爲アリタル某ニ爾後依然罐詰ノ供給ヲ命シ

タルハ如何

七東京ノ屠畜場ハ淺草ト芝ノ二箇所ニ在リ單ニ淺草ノ屠畜場ニ就テ見ル

ニ日清開戦ノ前マテハ馬ノ屠殺數半箇年平均三四百頭乃至五六百頭ニ

過キサルニ開戦後則チ明治二十七年七月ヨリ十二月ニ至半箇年ニ於テ

ハ其數實ニ二千六百九十九頭ノ多キニ達シタリ是レヲ以テ推スニ其後

ノ屠殺數決シテ少ナカラサルヘシ而シテ未タ馬肉販賣營業者ノ増加シ

タルヲ聞カス夫レカアラヌカ二十七年七月以降東京牛肉罐詰製造所ニ

ス果シテ其事アリシカ夫レトモ實際馬肉販賣營業者ノ増加シタルモノ

アリヤ警視廳へ照會ノ上二十二年七月ヨリ六月迄ト二十七年七月ヨリ

十二月迄トノ馬屠殺數ノ比較表及馬肉販賣營業者ノ增減比較表ヲ明

示セシコトヲ求ム

八答辯書ハ罐詰買上ケノ額代價供給者等ヲ掲クルモ其買上ケ日時ヲ明示

セス依テ今一々詳細ナル説明ヲ求ム

右成規ニ依リ更ニ提出候也

提出者

田口正造

卯吉

大竹貫一

外三十九名

小金ヶ原開墾地ノ所有權ヲ細民ヨリ奪ヒタル件ニ關スル質問趣意書

下總國小金ヶ原開墾地ハ明治二年以來政府カ細民ノ救助授產ノ爲メニ多少

ノ保護ヲ與エテ開墾セシメタル者ニシテ其當初自力ヲ以テ開墾シタル原野

田畠ハ其私有ト爲スヲ得ヘシトノ規定ヲ爲セリ是ヲ以テ細民ハ相與ニ熱心

勞働シテ其開墾ニ從事シタリ然ルニ其後政府ハ小金ヶ原開墾地ノ全土ヲ舉

ケテ之ヲ東京ノ某有力會社ノ所有トナセシヲ以テ從來熱心ニ之ヲ開墾セシ

細民ハ法律上全ク其所有權ヲ失フコト、ナレリ斯ノ如ク前後反覆ノ處置ヲ

爲シ多數細民ノ安處ヲ奪フテ少數富豪ノ所有トナシタルハ誠ニ殘忍暴戾ノ

處置ト言ハサルヘカラス

政府ハ如何ナル理由アリテ斯ル殘忍暴戾ノ處置ヲ爲シタル乎此事ニ關シテ

ハ本員嘗テ第六議會ニ於テ質問シタルモ政府未タ答辯スル所アラス且ツ被

害人諸氏ハ第八議會ニ於テ狀ヲ具シテ請願スル所アリ其請願ハ院議ニ附シ

採擇スヘキモノト決セラレテ政府ニ回付セラレタルモ政府ハ今猶ホ之ヲ不

問ニ處置スル所アラス是レ亦如何ナル理由アリテ然ル乎今重ネテ之ヲ質ス

右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者

田中正造

松島廉作

外四十三名

四宮有信

贊成者

贊成者

田中正造

松島廉作

外四十三名

明治二十七年ニ於ケル臨時總選舉ノ期日ヲ故ラニ遷延シタル件ニ關

スル質問趣意書

第六議會ハ明治二十七年六月ヲ以テ解散セラレタリ

顧ミルニ二十七年六月ハ征清役ノ端ヲ啓キタル時ニシテ越エテ七月八日以

後ニ至レハ日清兩國互ニ戰ヲ宣シテ盛シニ交戰ニ從事シタリ

左レハ此前後ハ軍國ノ事務多端ニシテ帝國議會ノ協贊ヲ待ツヘキモノノ亦少

ナカラサルノ秋ナリ從ソテ一日モ早ク總選舉ヲ施行シテ帝國議會ノ召集成

立ヲ計ラサルヘカラス

然ルニ當局者ハ毫モ之ヲ計ラサルノミナラス却テ法律ノ規定ノ許ス限り其

日時ヲ遷延シ法定期限將サニ盡キントスル九月一日ニ至リテ漸ク之ヲ執行

セリ繰シテ第七議會ノ召集ヲ見ルニ軍國ノ事務ニ關スル議案緊急ノ協贊ヲ

要スルモノアリトノ故ヲ以テ法定正則ノ手續ヲ履ムコトヲ爲サシテ之ヲ

召集セリ之ヲ詳言スレハ議會召集令ハ少クモ其召集期日四十日前ニ發表

スヘキニ事ノ緊急ヲ要スルモノアリトテ其間僅カニ二十五日ヲ置ケリ

事ノ緊急ヲ要スルモノアルハ誠ニ然リ故ニ當局者ガ法定正則ノ手續ヲモ履

マシシテ議會ノ召集ヲ奏請シタルハ敢テ之ヲ咎メサルヘシ唯斯クマテ忽急

ニ召集スル程ナラハ何故ニ解散後ノ總選舉ヲ故ラニ遲シシテ法定期限ノ最

終マテ遷延シタル乎

松島廉作

沼田宇源太

金尾稜嚴

其端ヲ六月ノ始メニ發シ七月ニハ豐島ノ變牙山ノ戰アリ八月ノ始メニハ五
ニ宣戰ノ
詔勅ヲ發シタルニ於テ猶ホ總選舉ノ施行ヲ遲々シ一日モ緩フスヘカラサル
帝國議會ノ召集成立ヲ遷延シタルハ一ハ當局者カ偏ニ當時ノ所謂對外硬派
ノ氣鋒ヲ恐レ對韓對清ノ政策ニ其容喙ヲ蒙フルヲ避ケントシ一ハ軍國ノ多
事ヲ好機トシテ私ヲ營ミ利ヲ貪ホラントスルノ惡意ニ出テタルモノト見ル
ノ外ナシ當局者猶ホ能ク然ラスト辯解スルヲ得ル乎
右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田中正造
贊成者 松島廉作

遼東還附ノ罪責ヲ以テ軍隊及衆議院ニ歸セントシ且ツ外ニ於テハ更
ラニ三國ニ請托シ内ニ於テハ國民ヲ瞞著シタル件ニ關スル質問書
遼東半島ノ還附ハ千古ノ大屈辱ナリ外交上未曾有ノ大失敗ナリ當局者ハ百
方言ヲ構ヘテ其罪責ヲ追レントスルノミナラス其還附ヲ爲スニ際シテ益々
失態ヲ極メ世人ヲシテ其意ノ在ル所ヲ知ルニ苦シシマシム依テ今之ヲ列舉シ
テ當局者ノ明答ヲ求ム

三國ノ異言ニ驚キテ遼東ヲ還附スルヤ其當局者及之ヲ辯護スルモノ
ハ曰ク是レ外交ノ罪ニアラス軍隊ノ力萎弱シタルカ爲メナリト
前後殆ント一年間千百里ノ外ニ懸征シ酷暑祁寒ノ苦ヲ凌冒シテ干戈
ノ交争ニ從事ス幸ニ百戰百勝ノ奇功ヲ奏セリト雖モ亦更ニ强大ナル
新敵ヲ逆エテ之ト驅逐スルハ固ヨリ至難事ニ屬ス乃チ至難事ニ屬ス
ト雖モ忠勇義烈死ヲ視ル歸スルカ如キ我陸海貔貅ノ士ハ其當時更ニ
一快戰ヲ爲シテ以テ彼ノ倨傲亡狀ヲ挫カント欲セサルモノ一人タモ
是レナカリシナリ

海軍ハ佐世保ヲ根據トシ長崎近海ニ於テ先ツ露艦ヲ擊破シ
陸軍ハ旅順口ヲ本陣トシテ左ニ溝ヲ追ヒ右ニ露ニ通フ
ニ在リ翻ツテ糧食ヲ顧レハ幸ニ猶數箇月ヲ支フルニ足リ一時本國ト
ノ通航斷絕スルモ左シタル困難ヲ感スル事ナカリシヲ以テ軍氣特ニ
振ヒ上下踴躍シテ一快戰ヲ冀ハサルナシ
是ニ於テ樺山海軍軍令部長ハ其翌二十四日ノ朝伊集院海軍大佐ヲ從
ヒ御用船立田丸(速力二十節)ニ乗シテ威海衛ニ赴キ此處ヨリ他ノ御
用船ニ乘換エテ直チニ歸國ノ途ニ就キ立田丸ハ更ニ南駛シテ澎湖島
ニ赴キ事ノ頃末ヲ詫ケテ同島ナル伊東聯合艦隊司令長官ヲ招キ相共
ニ急ニ應スルノ方略ヲ劃セントセリ
然ルニ本國ニ於テハ此日(乃チ二十四日)早々モ廣島ノ會議ニ於テ

「第二國トハ和親ヲ破フルヘカラス新タニ敵國ヲ加フルハ斷シテ得
策ニアラス」トノ議ヲ決シ越エテ二十六日山縣陸軍大臣ハ其議ヲ齋
川上、佐久間等ノ諸將ヲ其乗船威海丸ニ招キ更ニ評議スル所アリシ
ニ山縣陸相ハ其使命ヲ告ケ且ツ其使命 勅諭ニ出ツルヲ報シテ諸將
ヲ慰諭セントセリ

山縣陸相ノ旗順ニ達スルヤ大總督小松宮殿下ハ、大山、野津、山地
川上、佐久間等ノ諸將ヲ其乗船威海丸ニ招キ更ニ評議スル所アリシ
ニ山縣陸相ハ其使命ヲ告ケ且ツ其使命 勅諭ニ出ツルヲ報シテ諸將
ヲ慰諭セントセリ
然ルニ是ノ諸將ハ何レモ前議ヲ執リテ決戰ノ硬意見ヲ主張シ甚シ
キハ陸相ニ向ヒ「閣下ハ目下本國ニ於テ拾萬ノ國民軍ヲ募集シ且ツ
種種ノ準備ヲ全フシ出征軍ヲシテ後顧ノ患ナカラシムルノ大責任ヲ
有スルニアラスヤ然ルニ今其大責任ヲ措キテ遠ク此ニ來ル夫レ將タ
何ノ意ヲ若シ單ニ 勅諭ヲ傳フルノミナラハ固ヨリ閣下ヲ待タス
盍スワレ速カニ歸リテ其責任ヲ全フスルコトヲ努メサル」ト難詰斥
罵スルモノアリ或ハ陸相ノ乗船横濱丸ニ詰メカケテ反抗ノ激論ヲナ
スモノスラアルニ至レリ然レトモ陸相ハ偏ニ其使命 陛下ノ親勅ニ
出ツルヲ述ヘ且ツ新タニ三國ヲ敵トスルノ不可ヲ說キ開戰論者モ事
ノ勅命ニ出テタルニ畏ミテ涙ヲ飲ミツ、之ニ從ヘリ
夫唯然リ是ヨリシテ人々相見テ相悲ミ失望怨嗟ノ聲途ニ滿チ軍氣頓
ニ衰耗スルニ至リシナリ
且ツ之ヲ聞ク新聞記者某海城ニ至リ同地駐陣中ノ大島旅團ヲ訪ヒ談
偶ニ三國ノ異言遼東ノ還附ニ及ヒシニ將校士卒舉リテ切齒扼腕セサ
ルナク次クニ血涙ヲ以テセリト而シテ其下士兵卒ノ携持スル所ノ手
帳ヲ閱スルニ劈頭軍費支出ノ議決及ヒ帝國議會ノ感謝狀ヲ提起シ次
キニ 勅語及長官ノ說諭等ヲ記錄シ相與ニ語リテ曰ク帝國議會ニシ
テ斯クノ如シ我等豈ニ空シク生還スヘケンヤト意氣斯クノ如シ則チ
是レ真ニ國民的戰爭ニシテ苟クモ國民内ニ奮躍シ帝國議會亦其後
援ヲ爲サン限リハ彼等ハ勇往邁進唯死ノ榮生ノ辱ナルヲ知リテ十百
國ヲ敵トスルモ怖ル、所ナカリシナリ
若シ夫レ遼東ニ於ケル我軍事行政ノ成蹟及ヒ遼東ノ土壤形勢ノ如
キハ事少ク岐路ニ涉ルモ亦全ク關係ナシト云フニモアラサレハ序ヲ
以テ之ヲ記セシ
聞クカ如クハ我兵ノ海城ニ入リシハ二十七年十二月四日ニ在リ
シテ十五六日ノ頃ハ早くモ行政事務大略ナカラモ整頓シ其月末ニハ
行政上ノ報告書ヲ調製スルニ至リタリトノコトナリ
營口ノ如キモ占領後直チニ自治制ヲ布キ公會ヲ設ケ區長ヲ選ヒ(支
那人ヲ以テ之ニ充テ)且ツ支那人二百名ヲ撰シテ自治的巡邏ト爲シ
以テ行政ヲ監督セシメタルノミナラス到處便所ヲ設ケテ市街ノ清潔
ヲ計リ飲料水ヲ良選シテ市民ノ衛生ニ資シ更ニ進シテ商業ノ便ヲ計
ル等凡ツ一般ノ行政速カニ其緒ニ就キ同地ノ民ヲシテ堯舜以來ノ良
治蹟ニシテ眞ニ仁義ノ軍タルヲ稱シテ已マサラシムルニ至レリ而シ
テ其當時同時ニ駐陣セシ軍隊ハ僅カニ後備一大隊ニ過キサリント云

是レ一二ノ例ヲ擧ケタルニ過キス然カモ之ヲ以テ我軍隊ノ手腕カ如何ニ俊秀ナルヤヲ知ルヘク且ツ其俊秀ノ手腕ヲ廣ク且ツ長ク遼東ノ野ニ伸ハサシメハ必ラス全土ノ民ヲシテ深ク我ニ信服セシムルニ至リタルヲ知ルヘキナリ世ニハ遼東ノ地ヲ以テ不毛磯礁ノ地ト爲シ輒モスレハ之ヲ以テ其ノ還附ノ辯解ト爲サントスルモノナキニアラス是レ思ハサルノ甚シキモノハミ遼東ノ野不毛磯礁ヲ以テ目スヘキハ僅カニ其海岸ノ地ノミ少シク進ンテ内地ニ入レハ其土質地味寧ロ我カ内地ノ中等以上ニ位スルヲ見ル其野ニ產スル黍ノ高サ馬背ニ達スルカ如キ若クハ梨桃杏及松柏楊柳ノ所々ニ繁生スルカ如キ以テ之ヲ徵スルニ足ルヘシ且ツ英佛聯合軍ガ清京ヲ陥レントシテ先ツ大連灣ニ據リタルノ往時ハ同灣ノ沿邊樹木鬱蒼トシテ繁殖シアリタリト言ヘハ其附近一帶元來樹木ノ生殖ニ適セサルノ地ニアラス唯在棲ノ官民若クハ貪欲若クハ淺慮ヨリシテ妄莢濫伐遂ニ之ヲ盡シテ復タ顧ミル所ナカリシヲ以テ今ノ禿兀ヲ致セルナランノミ特ニ其内地ニ於ケル田畠ノ畦々大概互ニ一哩ヲ隔ツト言ヘハ直ニ所謂大農法ヲ施行スルヲ得ヘク之ヲ我カ内地ノ片々タル小農的田畠ニ比シテ其利便固ヨリ同日ノ談ニアラス翻ツテ軍事的眼孔ヲ以テ之ヲ觀察スレハ遼東ノ地タル清韓ノ間ニ介在シテ北近ク露領ニ臨ム據テ以テ立ツアラハ西満清ノ死命ヲ制スヘク東朝鮮ノ安固ヲ保ツヘク陸ニハ強露ノ南下ヲ抑エ海ニハ列強ノ跋扈ヲ拒クヘク誠ニ得難ク失フヘカラサルノ形勝タリ今更ニ仁川ヨリ京城ヲ過キ平壤義州大東溝ヲ經テ海城ニ至ル一線ト大連灣ヨリ金州ヲ過キテ旅順ニ達シ更ニ北シテ復州蓋平營口ヲ越ヘ以テ海城ニ連絡スル一線トヲ畫シテ鐵道ヲ敷設セハ遼東ノ守備ノ上ニ幾干ノ利便ヲ與フルヤ遠カニ測知スヘカラス其ノ運輸交通ニ便資シテ農工商業ヲ發達セシムルノ效益ハ之ヲ説クノ要ナカラシノミ聞ク我軍事當局者ノ中ニハ既ニ此ニ著目シテ大體ノ測量及ヒ設計ヲ爲シタルノミナラス遼東北邊ノ要樞タル海城ノ如キハ防禦工事既ニ落成シ大砲ノ据付ケモ亦已ニ了リテ防守ノ準備全ク整頓シタリシトノ事ナリ斯ノ如キ形勢ノ地ハ遽ニ之ヲ獲シテ獲ヘカラス幸ニ我ハ連戦連捷ノ偉功ニ依リテ之ヲ占獲シ斯クノ如キ經營ヲ爲シタルモノ固ヨリ未來永却之ヲ失フヘカラス然ルニ外交當局者ノ淺慮ニシテ怯臆言ノ既ニ來リタルニ於テ斷然正ヲ取り義ニ仗リテ之ヲ拒斥スル能ハナル前ニハ三國ノ異言ノ將サニ來ラントスルヲ看破シテ豫カシメ之徒ラニ倉皇狼狽シテ計ノ出ツル處ヲ知ラス已ムナク之ニ届從シテヲ防制スル能ハス（特ニ松方伯及民黨一部ノ有志カ懇切ナル勸告ヲ）ヲ爲シタルニモ拘ハラス輕々ニ遼東ヲ割取シ後ニハ其ノ干涉的忠言ノ既ニ來リタルニ於テ斷然正ヲ取り義ニ仗リテ之ヲ拒斥スル能ハス

以上ノ事實ニ依テ之ヲ見ルニ衆議院ガ實際軍艦製造費ヲ否決シタルハ第二議會及第三議會ノ時ニ在リ而シテ其否決シタル軍艦製造費ハ遂ニ政府ノ要求ヲ認諾シ數年間結シテ解ケサリシ軍艦製造費ノ紛争ハ茲ニ一段落ヲ告ケタリ當時ノ設計ニ依レハ巡洋艦及ヒ報知艦ハ優渥ナル詔勅煥發セラレテ局面一變シ當局ノ有司漸ク議院ノ意ヲ容レテ海軍經理部内ノ弊竇ヲ改革スルノ形情ヲ示シタルヲ以テ議院ハ遂ニ政府ノ要求ヲ認諾シ數年間結シテ解ケサリシ軍艦製造費ノ紛争ハ茲ニ一段落ヲ告ケタリ當時ノ設計ニ依レハ巡洋艦及ヒ報知艦ハ二十六年度ニ起業シテ三十一年度ニ竣工セシメ甲鐵戰艦ハ同年度ニ起業シテ三十二年度ニ竣工シムル豫定ナリシカ後チニ至リ甲鐵戰艦ノ製造費ハ其支出年限ヲ改正シテ三十年度マテニ繰上ヶ以テ其竣工ヲ急クコトハ爲セリ以上ノ事實ニ依テ之ヲ見ルニ衆議院ガ實際軍艦製造費ヲ否決シタルハ第一議會及第二議會ノ時ニ在リ而シテ其否決シタル軍艦製造費ハ總額二百七十五万圓ニシテ之ニ依リテ製造セラルヘキ軍艦ハ二千七

嗚呼實際ノ事實斯クノ如シ當局者猶ホ然ラスト爲シテ我軍隊ヲ誣ヒントスル乎

當局者ハ外征軍隊ノ力萎弱シタルヲ以テ遼東ヲ還附スルノ已ムヲ得

サルニ至リタルト誣ユルノミナラス更ニ歩ヲ進メテ曰ク「現在ノ軍隊ガ忠勇無雙ナルハ直チニ以テ軍備ノ充實ト爲スヘカラス」軍隊ノ力足ラサルカ爲メ外交上勝利ヲ得ストセハ是レ軍隊ノ力ヲ充實スルノ計ヲ怠リシモノニ責任アルナリ而シテ誰カ軍隊ノ力ヲ充實スルノ計ヲ陳息セシモノワト是レ衆議院カ嘗テ海軍經理部内ノ弊竇ヲ指摘シテ苟モ之ヲ改革セサル限りハ軍艦製造ノ舉ニ協贊ヲ與ヘサラントシタルヲ言フモノニシテ取リモ直サス遼東還附ノ罪責ヲ衆議院ニ歸セントスルモノナリ

百噸ノ巡洋艦一隻ト一千八百噸ノ報知艦一隻トニ過キス而シテ其ノ次ノ否決ニ依テ軍艦製造ノ上ニ蒙ムリタル影響ハ起業竣工共ニ一箇年ニ遅延シタルニ過キス則チ二十五年度ノ起業一年ヲ遅タシテ二十六年度ト爲リ二十年度ノ竣工亦一年ヲ延ハシテ三十一年度ト爲リタルノミ

果シテ然ラハ政府カ其製造ヲ要求シタル初年ニ於テ協賛ヲ與フルモ其ノ竣工ハ明治三十年度ヲ待タサルヘカラス明治三十年ヲ待ツテ始メテ竣工スヘキ軍艦ハ到頭到底明治二十七八年ノ征清役ニ其用ヲ爲スヘクモアラス到頭到底明治二十七八年ノ征清役ニ其用ヲ爲スヘクモアラサルモノ夫レ如何ニシテ明治二十八年ニ起レル遼東還附テウ大届辱ニ些ノ因果ヲ保ツヘキ今若シ強ヒテ海軍擴張ニ反対シテ所謂軍備充實ノ計ヲ疎怠シタルモノヲ求メハ内閣總理大臣伊藤博文侯コソ其ノ人ナラメ侯嘗テ貴族院ニ於ケル地價修正案委員會ニ於テ安場議員カ地價ヲ修正シテ數百万圓ノ收入ヲ減セントヨリ寧ロ之ヲ以テ軍艦製造費ニ充ツルノ急要ナルヲ見スヤト詰問シタルニ對シ冷カニ答ヘテ言ヘリ

今ノ世ノ中ニ海陸軍海陸軍ト云フコトカ頻リニアル至極シイ併シ未タ物ガ不足デアルソウ云フ事バカリ言ッタシヤ何ニモナラナイ日本ノ全體ノ收入ト云フモノハ幾ラデアルト云フニ八千万圓ト概算ヲ見テ宜シイ其中デ陸海軍ニ幾ラ金ヲ使ツテ居ルカト云フト二千六百万圓ト云フ金ヲ即チ明年ニ向ツテ出シテ置キマシタ此二千六百万圓ハ全歲入ノ幾ラニ當ラテ居ルカト云フト先づ三分ノ一弱ニ當ラ居ル此割合ハ如何デアルカ……夫レデ擴張々々ト云フ論モアルケレドモ力ニ應ジタ擴張而シテ其中ノ急ナルモノヲ擇ンデヤルト云フ外ハナイ……能ク海陸軍擴張ノ事ヲ御議論ナサル御方ニハ其邊ニドウゾ御注意ヲ願ヒタイモノデアル唯聲バカリジャイケナイ夫レデ今日ハドウ云フ武器が必要デアルカ是ハ實ニ研究セザルヲ得ヌ事デアル從テ其入費ハ莫大ノモノデアルトテモ今ノ御話シ申シタ事ヨリエライコトヲヤレト云フノハモットエライ英雄豪傑ガ出タキニヤラシタラバ宜カラウソウシタラ多分御望ミノコトモ出來ルデアラウト見ヨ伊藤侯ハ海軍ノ擴張軍備ノ充實ニ關シテ當時断々トシテ反対ノ意見ヲ言明セルニアラスヤ顧ミルニ伊藤侯カ斯クノ如キ言明ヲ爲シタルハ實ニ明治二十六年十二月ニシテ日清開戦ノ時ヲ隔ツル僅カニ半歲(日清戰爭ノ端ヲ明治二十七年八月ニ發ス)ナラスシカモ猶ホ斯クノ如キ意見ヲ以テ立テリ故ニ今ニ歩ヲ譲リ假リニ伊藤侯等ノ言ヘルカ如ク外交上未曾有ノ届辱ヲ招キタルノ罪責專ラ軍隊ノ力ヲ充實スルノ計ヲ怠リタルモノニ歸スヘシトセハ最モ重ク其罪責ヲ負フヘキモノハ他人ニアラスシテ伊藤侯等ナラサルヘカラス之ヲ要スルニ衆議院カ海軍經理部内ノ弊竇ヲ鳴ラシテ再次軍艦製造費ヲ否決シタルハ毫モ遼東還附ノ大届辱ト因果ヲナサス而シテ若シ其大届辱ヲ招キタルハ海軍ノ擴張ニ反対シテ軍備充實ノ計ヲ疎怠シタルモノアルニ基クトセハ帝國議會開設ノ前ニモ後ニモ軍艦ノ製造ヲ急クトナサス却ツテ日清開戦ノ時ヲ隔ツル僅カニ半歲ノ前マ

テ海軍擴張ニ反対ヲ表シタル伊藤侯及ヒ其同僚コツ其罪責ニ任セサルヘカラス嗚呼事理ノ明白斯クノ如シ當局者猶ホ然ラストシテ我力衆議院ヲ誣ヒントスル乎

露獨佛三國ハ遼東還附ノ忠言ヲ爲スト同時ニ若シ日本ニシテ其忠言ヲ容レハ其還附ニ對スル報償ニ就テハ相與ニ盡力スル所アルヘント申込ヲ爲セリ特ニ獨逸ノ如キハ其報償金ニ就テ盡力スル所アルノミナラス清廷ヲシテ遼東ヲ他國ニ割讓セス且ツ其地ニ砲塞ヲ築カサルノ約ヲ爲サシムヘシト明言シ露西亞モ亦其一時占領ヲモ非トスルモノニアラサルヲ明言シ佛蘭西ニ至リテハ外ニハ覺書ニ於テ日本ニ對シテ對抗ノ地ニ立ツモ裡ニハ旅順金州ヲ十五年間ノ占領トシテ以テ一方ニハ露國ヲシテ永久占領ニアラサルノ名ニ安ンセシメ一方ニハ日本ヲシテ十五年間ノ占領ヲ利トシテ局面ノ變遷ヲ待タンメントノ議スラ有シタリト開ク

是等ノ申込ニ對シ我カ政府ハ日清間ノ案件ニ永ク第三國ノ干渉ヲ容ルヲ避ケントシテ全然之ヲ辭謝シ遼東ノ還附ニ關スル一切ノ處置ハ凡ヘテ日清兩國間ニテ之ヲ協定スルノ地歩ヲ取り而シテ其ノ當時此措置ヲ以テ變通ノ要ヲ得タルモノトシテ誇稱シタルリ然ルニ愈々清廷ト還附ニ關スル商議ヲ爲サンツスルニ啻リ我カ當局者俄然從前ノ意氣ヲ舍テ、其ノ前言ヲ翻ヘシ我レヨリ辭ヲ界フシテ三國ノ容喙干涉ヲ乞ヒ其周旋ニ依テ漸ク三千万兩ノ報償金ヲ獲北京ニ於ケル林李兩全權ノ會商ハ單ニ相互ノ調印ヲ爲ス一片ノ儀式ニ過キサルコト、爲セリ夫レータヒ三國ノ干渉ヲ容レテ遼東ヲ還附ス其ノ還附ノ商議ヲ爲スニ際シテ復タ多少ノ容喙ヲ免カレサルハ固ヨリ見易キ理勢ナリトス然ルニ當局者ハ還附ニ對スル報償ニ就イテ盡力スル所アルントノ三國ノ申込ヲ辭謝シ日清間ノ案件ハ日清兩國ニテ協定セント揚言スレスル見易キ理勢ヲ見ル能ハサリシニ由ル乎言換ユレハ還附ノ商議ニ對シテハ三國ハ復タ容喙スルコトナシト信ゼルニ由ルカ將タ多少ノ容喙アルモ巧ミニ之ヲ拒斥セント欲セシニ由ル乎想フニ斯クノ如キ前後反覆ノ言動ハ啻ニ當局有司ノ威信ヲ損スルノミナラス延キテ國家ノ體面ヲ害スルコト甚タ深大ナリ當局者ハ之レヲ是レ顧ミシシテ斯クノ如キ反覆ノ言動ヲ爲シタル乎抑モ亦他ニ已ムヘカラサル事由アリテ然リシ乎

且ツ夫レ遼東ノ還附ハ是非ナシトスルモ愈々之ヲ還附スルニ當リテハ更ニ媾和條件ノ實行及ヒ東洋永遠ノ平和ヲ擔保スルニ足ルヘキ條件ヲ清廷ト協定シ置ク所ナカルヘカラス例セハ媾和條件ノ實行ヲ完了スルマテ遼東半島ヲ依然我カ占領ノ下ニ置クカ如キ清廷ヲシテ還附地ヲ他國ニ貸與割讓セス又其ノ地ニ砲塞ヲ築カサルヲ約セシムカ如キ其最モ緊要ナルモノニシテ而シテ之ヲ約定シ置クハ聊カ以テ我レノ威信ヲ保チ敗辱ヲ濟ヒ且ツ還附ノ趣旨ヲ貫徹スル所以ノ途ナリト信ス

是等ノ條件ハ決シテ不理不當ノ要求ニアラサルノミナラス露佛獨三

國ハ前ニモ記シタル如ク嘗テ自ラ是等ノ條件ヲ協定スルコトニ就テ周旋盡力スル所アラント明言シタル程ナレハ之ヲ成立セシムコト決シテ難事ニアラサリシナラント信ス然ルニ我カ當局者ハ是等ノ條件ニ就テ一モ清廷ト協定セス又協定セントシタル形跡タモアラス是レ他ニ見ル所アリテ然リシ乎抑モ亦之ヲ協定シ置クノ要ナシト信シタルニ由ル乎希クハ其ノ詳ヲ聞クヲ得ム遼東還附ハ今古未曾有ノ大屈辱ナリ一般國民相與ニ之ヲ痛悲シテ感奮興起シ以テ其ノ洗雪ヲ圖ル所ナカルヘカラス特ニ當局ノ有司タルモノハ速カニ其ノ屈辱ヲ招キタル罪責ヲ引キ且ツ自ラ臥薪嘗膽ノ苦ヲ甘ンシテ一般國民ヲ率ユル所ナカルヘカラス然ルニ我カ當局者ハ嘗テ此ニ出ツルノ意ナキノミナラス却テ遼東還附ノ詔勅出タルノ即時各府縣知事ニ密諭シ之ヲシテ更ニ其部下ノ郡長市町村長ニ訓諭シテ祝賀ノ電報ヲ發セシメ且ツ郡長市町村長ヲシテ陰ニ陽ニ其地方ノ民衆ヲ慾通煽動シテ祝宴會ヲ開カシムルノ處置ヲ取レリ是レニ於テ府縣知事及ヒ郡長市町村長ノ多クハ未タ其事情ヲ詳知スルニ及ハスシテ唯々祝電ヲ發シ且ツ祝宴會ノ開設ヲ慾通煽動シ甚タシキハ祝電ノ遷延ヲ憂フルノ餘リニヤ縣廳若クハ郡役所ニ於テ一時其ノ電信料ヲ立替エ其管下ナル市町村長ノ名ヲ以テ打電シタル所スラナキニアラス加之遼東還附ヲ憤慨シテ其善後ヲ策セント欲シ之ヲ筆ニシテ新誌ニ掲タルモノハ發行停止ヲ命シ之ヲ口ニシテ公衆ニ訴フルモノハ中止解散ヲ命シ毫モ之ヲ表白スルヲ許サススクノ如キハ行政官公吏ノ職權ヲ濫用妄使シタルモノニシテ常情ヲ有スルモノハ到底爲スヲ得ヘカラサル否ナ爲サント欲スルノ意タモ生スヘカラサル妄慢放姿ノ言動ナルノミナラス實ニ國民ノ元氣ヲ抑沮シ敵愾心ノ發揚ヲ害スルコト最モ甚シク從ツテ遼東還附ノ大屈辱ヲ洗雪スル所以ノ途ヲ塞クモノナリト信ス獨リ當局者ハ然ラスト爲シテ斯ノ如キ處置ヲ取リタルモノナリヤ開クカ如クンハ伊藤首相陸奥外相ハ前後反覆ノ詔勅發表ヲ奏請シタルノ故ヲ以テ偏ニ陛下ノ御意ヲ損セシコトヲ恐レ故ラニ祝電ヲ發セシムル等ノ處置ヲ爲シテ之ヲ慰メ奉ラントシタルナリト果シテ然ルヤ否ヤ

右成規ニ依リ提出候也
明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
贊成者 松 島 康 作
外四十四名

足尾銅山鑛毒ニ關スル質問趣意書
足尾銅山鑛毒ノ件ニ關シテハ第二第三ノ兩議會ニ涉リ本員ヨリ再三質問ヲ提出シタルニ政府ハ其ノ最後ノ質問ニ對シテ遂ニ答辯ヲ爲サス然ルニ近來聞ク所ニ依レハ政府ハ銅山ノ鑛主古河市兵衛ヲ庇護シ郡吏等ヲ使嗾シテ其流毒ヲ蒙ムルヘキ土地所有者ニ對シ田畠一段歩ニ付各三四圓宛ノ金ヲ與ヘ而シテ爾後永遠該毒ニ關シテ苦情ヲ申立テ間敷旨ノ書類ヲ認メテ強制的ニ之ニ捺印セシムルノ處置ヲ取レルモノハ如シ現ニ柄木縣足利郡ノ郡吏青木某等ハ管下ノ町村ニ出張シテ右ノ如キ金圓ヲ配与シ若シ其内諭ヲ奉セサルモノアレハ強制脅迫シテ之ヲ從ハシムルナト恰モ古河ノ手代同様ノ暴虐ヲ逞フセリサレハ柄木縣足利郡毛野村ノ内大字川崎富田村ノ内大字奥戸吾妻村ノ内高橋下羽田諸村ノ人民ハ其弊ニ耐ヘスシテ痛ク慨歎スル所アリ即チ昨二十八年三月中農商務及内務ノ兩省ニ向ツテ哀訴ノ書面ヲ提出シタルニヨリ流石ノ縣官郡吏モ一時其非行ヲ中止シ近頃ニ至リ再ヒ其ノ暴虐ヲ逞ウシツ、アリト云フ
該銅山ノ鑛毒カ群馬柄木ノ兩縣ニ及ボス損害ハ嘗テ再三質問書ヲ提出シタル時ニ於テ已ニ之ヲ詳述シタルハ今重ネテ説クノ要ナカラシ唯柄木縣ノ某村人民ヨリ之ニ關スル分析願書ヲ差出シタルモ何等行違ニモアランカ全縣廳ハ之ヲ採用セサルノミナラス郡衙ハ同地方質朴ノ人民カ其鑛毒ヨリシテ生スル眼前ノ損害ニハ頗ル熱心ニ著目スルモ其將來ノ損害ニハ比較的ニ注意スルコト薄キヲ幸トシテ若干ノ金ヲ與ヘテ之ヲ誘惑シ依テ以テ將來ニ對スル殘忍ノ誓約ヲ爲サンメツ、アルハ實ニ不仁暴戾ノ沙汰ト言ハサルヘカラス抑モ地方ノ縣官郡吏タルモノハ其ノ地方人民ノ安全自由ヲ保護スルコソ當然ノ職責ナルニ彼等ハ其ノ職責ヲ盡サハルノミカ却テ加害者古河市兵衛ト同心一體ト爲リ日夜之レカ爲メニ周旋奔走ス而シテ是レ實ニ中央政府ノ内訓使嗾ニ基クト云フ
政府ハ何カ故ニ斯ル不仁暴戾ノ處置ヲ爲スカ若シ自ラ之ヲ内訓使嗾セスト

擔任トハ其任務全ク相異ナレリ從テ其責任ハ亦明カニ區劃スル所ナカルヘカラス則チ工事ノ設計ニ關スル責任ハ設計者全ク之ヲ負ヒ工事ノ擔任ニ關スル責任ハ擔任者一切之ヲ引受ケサルヘカラス之ニ依テ見ルニ外國人某ハ工事ノ設計者ニシテ工事ノ擔當者ニハアラス故ニ工事ノ設計ニ失策アレハ其罪責ヲ外國人某ニ歸スヘシト雖モ工事ノ擔任上失策アレハ其責任者ヲ他ニ求メサルヘカラス而シテ横濱築港不正事件ハ實ニ工事擔當上ノ失策ニ基タル外國人某ニ歸セントスルニ似タリ今ヤ某ハ死シテ在ラス死者ニ口ナシクモノナリ故ニ其罪責ハ外國人某ニアラスシテ他ノ工事擔任者ニ歸セサルヘカラス然ルニ第八議會ニ於ケル政府ノ答辯ニ依レハ却テ之ヲ工事設計者ハサルヘカラス左レハ工事ノ擔任者タル我國ノ官吏中其罪責ヲ歸スヘキモノナカルヘカラス政府ハ果シテ之ヲ求メテ其責任者ヲ得タリヤ否ヤ

右成規ニ依リ提出候也
明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
贊成者 松 島 康 作
外四十四名

言へ、何カ故ニ縣官郡吏ノ處置ヲ黙過スル乎
右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
賛成者 松 島 廉 作
外四十四名

北海道炭礦鐵道會社ノ情弊除去ニ關スル質問題意書
鐵道事業ヲ營ム會社ヲシテ他ノ營業ヲ兼ネシムルハ國家經濟ノ許サル所ナリ故ニ法律ノ明文ヲ以テ之ヲ禁止セリ
然ルニ獨リ北海道炭礦鐵道會社ハ其除外例トシテ鐵道ト炭礦トヲ兼業セリ
是ヲ以テ其ノ財政屢々紊亂シ且ツ利益ヲ壟斷スルノ情弊遂ニ已マス
此事ニ關シ本員及ヒ其他二三ノ議員ハ從來屢々其情弊ヲ指摘シテ之カ改革ヲ促セシモ政府ハ單ニ鐵道ト炭礦トヲ兼業セシムルモ其不利ナルヲ見スト
テ顧ミル所ナク而シテ何故ニ不利ヲ見サルヤハ毫モ之ヲ解説スル所アラス
依テ今其兼業上何故ニ不利ヲ見サルヤニ就テ詳細ノ説明アランコトヲ求ム
右成規ニ據リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
賛成者 松 島 廉 作
外四十四名

肥後熊本ニ在ル大官林ト細川家ノ私有小山林トヲ交換セシ件ニ關スル質問題意書
肥後熊本ニ大官林アリ立田山ト云フ近ク熊本ノ市街ニ添フテ頗ル風致ニ富ミ生植スル所ノ樹木大概楠樹ニシテ一等官林ニ屬ス實ニ三百年前ノ往時加藤清正ノ植付ケタルモノナリト云フ左レハ其代價五六年以前ニ於テ已ニ六拾五萬内外ニ相當シ如今ハ諸材騰貴ノ故ニ壹百萬圓内外ニ達セリトナリ
斯ル大價值アル大官林ハ政府宜シク之ヲ保護培養シテ其ノ利益ヲ舉クルヲ努ムヘキナリ然ルニ政府ハ國國ノ舊藩主細川家ヨリ其山内ニ同家歷代ノ墳墓アルヲ以テ其ノ全部ヲ同家私有ノ山林ト交換シ吳レヨトノ歎願ヲ爲シタルニ際シ直チニ之ヲ許諾交換セリ而シテ其ノ所謂私有山林ナルモノハ僅カニ貳萬圓内外ノ價值ヲ有スル雜木疎生ノ小山林ナリト云フ
百萬圓以上ノ價值ヲ有スル大官林ヲ以テ僅々貳萬圓内外ノ價值ヲ有スルニ過キサル小山林ト交換スルハ不注意不經濟ノ處置ニシテ不正モ亦極マレリト言フヘシ政府ハ何カ故ニ斯ル不正不注意不經濟ノ處置ヲ爲シタル乎
開ク細川家ノ歎願ヲ容レテ速ニ其交換ヲ許諾シタルハ當時ノ農商務大臣陸奥宗光氏ナリト陸奥氏猶幸ニ外務大臣トシテ政府ニ在リ冀クハ詳カニ其事由ヲ聞クヲ得ム
此事ニ關シテハ余嘗テ第六議會ニ於テ質問スル所アリタリ然レトモ第六議會ハ其當時恰カモ解散ノ不幸ニ接シタルヲ以テ其ノ答辯ヲ得ルニ及ハス依テ重ネテ之ヲ質問ス
右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造

贊成者 松 島 廉 作
外四十四名

陸奥外務大臣ノ曠職ニ關スル質問題意書
國議會ニ顔出シセサルハ實ニ第六議會以來ナリトス
方今國事多端ヲ極メ外交事務特ニ頻繁ヲ加フ是時ニ當リ其局ニ鞅掌スルモノ非常ノ寵物警戒ヲ以テスルニアラサレハ忽チ緩急其機變ニ處スル所以ヲ失シ延キテ國辱民憂ヲ招クコトナシトセス否ナ遼東ノ事朝鮮ノ事共ニ已ニ國ノ辱トナリ民ノ憂トナリタルヲ見ルシカモ猶曠職空責伯ノ如キモノヲシテ依然其局ニ當ラシメハ更ニ幾多ノ屈辱憂患ヲ招クヤモ測リ知ルヘカラス
然ルニ政府ハ之ヲ替ユルノ意ナキノミナラス却ツテ厚待優遇ノ意ヲ盡スモノ、如シ是レ政府ニ於テハ斯クノ如キ曠職闕勤モ外交處理ノ上ニ沮滯蹶敗ヲ招クコトナント信スルニ由ル乎抑モ亦陸奥伯自ラハ之ヲ以テ其ノ職責ヲ曠フルモノニアラスト思惟スル乎請フ其ノ詳ヲ聞カム
右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
賛成者 松 島 廉 作
外四十四名

東京府第十區選出議員濱野茂拘留通知ニ關スル質問題意書
其通知アルヘキ咎ナリト信ス然ルニ今日ニ至ルマテ其沙汰ナキハ如何
右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
賛成者 松 島 廉 作
外四十四名

三浦安フ宮中顧問官ニ奏薦シタル件ニ關スル質問題意書
元東京府知事三浦安ハ鑄鐵會社不正事件ニ對シ監督ノ責ヲ全フセサルモノナリトシテ府會市會及ヒ區會ヨリ屢々不信任ノ決議ヲ受ケタリシカモ覗然其ノ職ニ在リテ自カラ引決スルコトヲ爲サヌ却テ上長ノ當局ト相通シテ再次市區會ノ解散ヲ謀リタル爲メ益く府民一般ノ信ヲ失ヘリ
斯クノ如キハ陛下ニ奏請シテ速カニ其職ヲ去ラシメサルヘカラス然ルニ政府ハ嘗テ此ニ出ツルノ意ナキノミナラス却テ之ヲ奏薦シテ宮中顧問官ノ榮職ニ就カシム是レ宿ニ信賞必罰ノ途ヲ誤マルモノナルノミナラス實ニ最モ清廉ヲ要シ最モ神聖ヲ保ツヘキ君側ヲ讀スモノナリト信ス
政府ハ何故ニ斯ル奏薦ヲ爲シタル乎
右成規ヲ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造
賛成者 松 島 廉 作
外四十四名

朝鮮國居留商人ニ退去ヲ命シタル件ニ關スル質問趣意書

朝鮮國駐在ノ領事カ時ニ居留民ニ退去ヲ命スルノ權ヲ有スルハ明治十六年三月ノ公布ニ係ル清國朝鮮國居留日本人民取締規則ノ明定スル所ナリ然レトモ其權ヲ使用スルニ當リテハ切ニ慎重ヲ加ヘスンハ屢々無事ノ居留民ヲ

苦メテ其自由ト利益トヲ害スルニ至ルヘシ特ニ幾多ノ商塵ヲ構ヘテ諸方ニ復雜ノ關係ヲ有シ且ツ巨額ノ商品ヲ控ヘテ一瞬ノ機ヲ争フ商人ニ退去ヲ命スルニ當リテハ更ニ大ニ慎重ヲ加ヘサルヘカラス然ラサレバ其人ヲシテ偉大ノ損失ヲ蒙ラシムルノミナラズ畢竟スル所餘多ノ商人ヲシテ其業ニ從フ能ハサラシムルニ至ラン

然ルニ頃日ノ報ニ依レハ元山領事上野專一ハ其地居留ノ商人梶山新介葭瀬忠太郎ノ兩人ニ治安妨害風俗壞亂ノ虞アリトテ三年間ノ退去ヲ命シタリト

云フ本員等ノ聞ク所ヲ以テスレハ彼ノ兩人ハ朝鮮ニ渡航シテ日韓貿易ニ從事スルコト茲ニ殆ト二十年其間釜山ハ勿論仁川ニ元山ニ往復奔走シテ商業ニ從事スルノ傍ラ創業ノ際萬事不整頓ナリシ居留地ノ事ニ就キテモ盡瘁スル所アリ且ツ商業會議所學校寺院病院及ヒ其他居留地行政機關等ノ設置ニ就テ熱心ニ其心力ヲ勞シ以テ漸々今日ノ觀アルニ至ラシタルノミナラス

梶山氏ハ現ニ元山商業會議所ノ議長トシテ葭瀬氏ハ其議員トシテ依然公共ノ爲メニ盡シツ、アリシトノ事ナリ斯クノ如キ人ニハ至著至大ナル事由アリテ萬朝鮮ニ居ラシムルノ不可ヲ見タルニアラサルヨリハ漫ニ之レヲ退去セシムルカ如キ事アルヘカラス

然ルニ今兩人ハ治安妨害風俗壞亂ノ虞アリトテ突然退去ヲ命セラレタリ其所謂治安妨害風俗壞亂ノ虞ハ果シテ如何ニ著大ナルモノアリシ乎如何ニ著

大ナル事由アリテ治安妨害風俗壞亂ノ虞アルモノトハ認メタル乎

本員等ノ察スル所ニ依レハ是レ上野領事カ其權ヲ濫用シタルモノト見ルノ外ナシ政府夫レ是レヲ如何ニ處セントスル乎

右成規ニ依リ提出候也

明治二十九年三月二十二日

提出者 田 中 正 造

贊成者 松 島 康 作

外 四 十 四 名

○議長(楠本正隆君) 唯今報告ニ及ビマシタル検査院ニ關スル法律案ハ、政府請求ノ通致急事件トシテ議スルコトニ承諾ヲ請受ケマス、是ハ明日ノ日程ニ掲ケマス
○田中正造君(二百九十九番) 議長、二百九十九番
○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、質問ノ辯明ガアリマス
○中村克昌君(百七十一番) 質問ノ事ニ就イテ一言致シタク、會期モ既ニ切迫致シテ居リマシテ、提出ノ議案中悉ク議了スルコトガ出来マイト思フテ居リマス、多少議案ガ残ラウト思ヒマス位デアリマスカラ、此時ニ當ツテハ質問ノ演説ハ成ルベク止メテ、質問ノ趣意書ノ朗讀ニ致シタイト思ヒマス(ヒヤく)ト呼フ者アリ朗讀ダケニ致シタイト思フ、今明日ニ議會モ追シテ居リマスルカラ、即チ此場合ニ限クテ質問演説ヲ略スルコトヲ私ハ茲ニ申述べ、諸君ノ御賛成ヲ請ヒタイト思ヒマステ、
〔ノウ〕ト呼フ者アリ賛成々々ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 成ル程時日ハ切迫シテ居ルケレドモ、議長ヨリモ注意ヲシテ成ルタケ事ヲ簡單ニ取詰メテ演説ヲサシタラ宣カラウト思フ「ヒヤく」ト呼フ者アリ「差支ナイ」ト呼フ者アリ「議長ノ宣告通簡單ニヤレバ差支ナドウカ御詰リヲ願ヒマス」ト呼フ「議長ノ宣告通簡單ニヤレバ差支ナイト呼フ者アリ「先決問題」ト呼フ者アリ「ヒヤく」ト呼フ者アリ」
○東尾平太郎君(二百八番) 先例モアリマスカラ、斯様ナ事ハ先決問題ヲ決すべきモノハナ

〔議長ノ權ニ從フベシ」ト呼フ者アリ〕

〔草刈親明君」議場ニ諸ルノハ當リ前ダ……」ト呼フ〕

○議長(楠本正隆君) 右様ナ事ハ、多數ヲ以テ制スルト云フコトハ餘り穩テナイ

○深山聰昭君(二百三十番) 議長ハ偏頗デアル

○議長(楠本正隆君) 偏頗デハナキ、公平ナル考ヲ以テ右様ニスルノデアル

○田中正造君(二百三十番) 中村克昌君ニ申上ゲルノハ何デゴザイマスガ、却テ讀ム方ガ長クナルデス、ソレ故ニ私ガ述ベタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ヘルベク簡單ニ願ヒマス

〔ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ〕

〔深山聰昭君「田中君ガ述ベルト長クナル」ト呼フ〕
〔東尾平太郎君遠慮ナクヤルベシ」ト呼フ〕

○田中正造君(二百九十九番) 是ガ殘ラズチャナイデス、半分頃マテ往ケベ終ヘル、昨日……

〔長クヤルベシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 成ルタケ要點ダケ

○田中正造君(二百九十九番) 昨日聊カ大分渡レテ居リマスルカラ、今日ハ弱

テ居リマスルカラ長クヤレト仰シヤブテモ長クハヤラズニ致シマスルカラ、ドウカ暫ク御靜聽ヲ願ヒマス、一體質問ハ議場ニ反對ハナインデ、政府ニ對スル質問デゴザイマスル(深山聰昭君「質問ニ反對ハナイケレドモ君ノ演説ニ反對デアル」ト呼フ)一體ニ三度ニ提出シタイト思ヒマシタケレドモ、何分先頃以來議場ノ許可ヲ得テ引込シテ居リマスルヤウナ譯デゴザイマスルノデ、今日ハ十二通ノ質問書デゴザイマスデ、今日ノ此複雜ナル腐敗ノ世ノ中ニ於テ十二通ヤツコラノ質問デ事が盡キル譯デハナイ、十通ヤ三十通デ盡キル譯デハアリマセヌガ、唯其中デ一つノ的ヲ切ツテサウシテ見ヤウト思フノデアルカラ、政府ヲ攻擊シヤウト云フコトガ目的デヤナイ、攻擊スル事モナイデヤナイ、アルケレドモ、其中ニハ色ニ辯解ノ必要モアルノデ、又政ノ攻撃スルト云フコトハ惡ルイ事デハナイ、真正ノ攻擊ナラバ攻擊ハ謹デ承ラナケレバナラナイノデアル、亂暴ノ攻擊ハ善クナイ、不忠ノ臣ト云フヤウナ者ハ容赦ハナラナイノデアル、亂暴ナ攻擊ハ惡ルイガ、真正ノ攻擊ハ有難ク聽カナケレバナラナイノデアル、二十三年前マヂハ一文ナシノ政府ガ、二十七年ノ戰爭ニ二千六百万圓ノ金ガ出來タノハ何デアル、是ハ即チ攻擊ノ結果デアル、今ノ海軍が改正ガ出來タ、善クナツタト云フノハ何デアル、攻

豎ノ結果デアルカラシテ、皆攻撃ハ結構ナモノデアルノデ、ソレデ昨日來豫算ト云フモノガ飛出ルト同ジ事デアル、今日ニ爲ツテ十一通ノ質問ヲ出スト云フコトヲバ、矢張是ハ政府ガ昨日豫算ヲ出スト同ジ事デアツテ不穏當ニ爲ツテ居ルノデアル、デ、私ハ病氣ト云フモノヲ以テ私ノハ申譯ヲスルケレドモ、是ハ卽チ不穏當ニ相違ナインデアル、故ニ政府ニ明日マデニ必ズ答辯ヲセヨト云フコトヲカラ求メナイノデアル、併ナガラ此議員ト云フモノハ一人シテ此万事ヲ取調べナケレバナラズ、且不便ノ位置ニ居ルケレドモ、政府ハ數万ノ官吏ガ分業デヤツテ居リマスルカラシテ、明日ニモ答辯ガスレバ出来ルノデアル、其答辯ヲ磊々落々ニ正直ニヤレバ卽坐ニモ出來ルノデ、答辯ニ時間ノ掛ルノハ卽チ何トカ遙辭ヲ捺ヘル時間ナノデアル、併ナガラ質問書ノ提出ガ遅イカラシテ、コチラカラハ必ず明日マデニ答辯セヨトハ言ハナイガ、德義ガアレバシナケレバナラナイノデアル、徳義ヲ重ンズレバシナケレバナラナイノデアル、申スマデモナイ、諸君、本年ハ容易ナラヌ課稅法案モ通過シテ、前途ニハ四億ト云フ歲費ヲ前途ニ見込ンデアルノデアル、負擔シテ居ルノデアル、四面ハ強國ガ我國ノ隙ヲ窺ッテ居ルノデアル、内ハ申スマデモナク、今日ハ殆ド腐敗ノ極度ニ達シテ居ルノデアル、是ニ至ツテハ謹デ財政ヲ整理シテ精神的ニ國家ノ事ヲヤツテ往カナケレバ逆モ日本ハダメナノデアル、日本ガダメニナツテシマフカラシテ、此陸軍ノ軍用品ノ買上ニ就イテハ質問ト云フモノハ四億万ノ金ヲ前途ニ見込ム、何トシテカラガ是マデノ通デハ此金ガ水泡ニ歸スル故ニ、此質問ヲスルノハ、隨分貴重ナ原案モゴザイマセウケレドモナカク、國家ニ於テ大切ナル質問ノ積デゴザリマスルデ、前ニ陸軍ノ軍用品買上ノ質問ヲ致シマシタノガ、十二月二十八日ノ日ニアツテ、當局者ハ一月二十四日ニ至ツテ長イ答辯ガアリマシタ、其答辯ハ尤モ從來ノ答辯ニ比スレバ、從來ノ傲慢無禮ノ答辯ニ比スレバ、非常ニ穩當ナル、精密ナル答辯デアツクノデアル、其答辯ノ中テ軍吏ト云フ此軍ニ使フ軍吏ト軍夫ト云フモノ、關係シタ事ト小頭ノ給料、ソレカラ軍吏ノ薪谷酉之助ノ騙取ノ事件ト云フコトハ答辯ノ上デ分ツタノデアル、稍々分ツタノデアル、凡ツ答辯ヲ受ケテ分ツタト云フコトハ、此二ツガ二十三年議會以來始テナノデアル、併ナガラ其他ノ石炭ノ事ト、毛布買上ト云フコトニ就イテ、讐詰トニ就イテハマダ要領ヲ得ナイカラ、ソレデ是ハ理窟カラ云ヘバ陸軍大臣ハ知ラナケレバナラナイ筈デアルケレドモ、或ハ此答辯書ヲ捺ヘル者ノ間違デアツタトキニハ往ケナイカラ、陸軍大臣ニ今一遍書面ヲ出スノデアル、其石炭ノ話ト云フモノハ、私ヨリハ此藤君方能ク御承知デゴザイマスガ、此調ハ藤君ノ力モ藉リテ調べタノデゴザイマスガ、石炭ノ前質問ト云フモノハ、海軍省ト陸軍省デ、御承知ノ如ク海軍ハ良イ石炭ヲ使ハナケレバナラヌ、陸軍ハ運送船デアルカラ石炭ハ中以下ノ石炭デ宜シトスウ云フノデアル、普通ノ相場ニスルト、石炭ノ相場ハ海軍ハ四圓五十錢上等ノ普通ノ相場ノ石炭ヲ使ハナケレバナラナイガ、陸軍ハ三圓五十錢ヨリ二圓五十錢ノ石炭デ宜イノニ、却テ海軍ヨリモ陸軍ノ石炭ガ高クナツテ居ルカラ可笑シト云フ質問デアル、所ガ海軍ノ方ハ矢張石炭ガ高イト云フ調ヲ寄越シタノデアル、所ガ幾ラ高イカト云フト、陸軍ノ調査ニ依ツテ此石炭ト云フモノハ、尤モ所ニ依ツテ相場ヲ異ニシマスカラ、隨分東京アタリデハ色ニ四圓五十錢ト申シマシタノハ、其當時ノ馬關邊ノ近傍ニ徵發スル所ノ徵發石炭ノ代價デゴザイマスカラ、高イ石炭

ヲ買フ人ハ大層安イト思召ス御方ガアルカモ知レナイ、サウ云フ譯デアリマシテ、此陸軍ノ方ハ安クテ宜イノガ、陸軍ノ方ガ高イト云フノハ、矢張陸軍ノ方ガ安イト云フ答辯ガ、幾ラ安イカト云フト、陸軍ノ方ガ僅ニ三錢ダケ安ク出來テ答辯書デ出来タノデ、ツレ等ハ統計表ヲ一答辯ノ統計表ヲ能ク取調べテ見ルト云フト、其統計ガチツト間違ツテ居ルノデアル、何故間違ツテ居ルト申シマスルト、此陸軍ノ方ノ石炭ヲ買ヒマシクノハ、媾和條約ガ出來タトキニ、石炭ガ安クナツタトキニ澤山買ツタノヲ之ヲ一緒ニシタ、海軍ノ方ハ高イトキニ買ツタトキノ石炭ノ價デゴザイマスカラ、更ニ此陸軍ト海軍ト同ジ時間ト同ジ手續デ買ツタ統計ヲ捺ヘマスルト云フト、陸軍ノ方ガ三十五錢六厘ト云フ高クナル、諸君、是ダケハ諸君ニモ訴ヘテ置カナケレバナラナイ、陸軍ハ殆ド一圓安ノモノテ間ニ合フベキモノガ三十五錢六厘ト、同ジ時間ニ買ツタモノデ見ルトサウナルノデゴザイマスカラ、是ダケハ如何ニ簡單ニ御話ヲスレバトテモ、御訴ヲ申シテ置カナケレバナラヌ、デ斯様ナ譯デゴザイマシテ、如何ニモ不都合ナ買方デアル、不都合ナ買方デアルガ、是ニ於テ私ノ演説ニ不公平ガアルナラバ、是ハドノヤウニ御評シガアツテモ宜シガ、一體此物ヲ買フト云フコトニ就イテ、彼ノ廣島ニ於テ豫テ演説ヲシテ置キマシタケレドモ、公平ニ物ヲ——公ケニ買ツテ私ガナケレバデス、一石ノ米ヲ千兩出シテ買フコトガアルノハ軍國ノ習デアル、已ムヲ得ナイ時デアル、併ナガラ之ヲ口實ニ泥坊ヲスルト云フニ至ツテハ、一錢一厘デモ容赦ハスルニハ、先づ生産地方カラ伸買ニ移リ、伸買カラ郵船會社ニ移リ、郵船會社カラ商船會社ニ移ツテ、ワレカラ政府ノ手ニ來ルノデアル、軍國ノ場合デアルカラ直チニ徵發スレバツレデモ無理サヘシナケレバ宜イノデ、當リ前ヨリモ五十錢ナリ六十錢ナリ高クサヘ買ヘバ立派ノ話デアル、此手續モ四ツモ五ツモ經テ來ルト云フコトヲヤツタカラ高クナツタノデ、是ハ憤レナイト云フ答辯ガ至當ナ話デアツテ、公ケノ買ヒ方デアルカラシテ、其高イト云フヨリモ五十錢ナリ六十錢ナリ高クサヘ買ヘバ立派ノ話デアル、此手續モ四ツモ五ツモ經テ來ルト云フコトヲヤツタカラ高クナツタノデ、是ハ憤レナイト云フヤウト云フヤウナ統計表ヲ狂ハセルト云フヤウナコトハイケナイ、故ニ此事以テ此質問ノ要旨トハシナインデアル、當ニ海軍ヨリモ陸軍ガ高ク買ツタ云フニ至ツテハ、如何ニモ餘り奇怪千萬ノ話デアル、又質問ヲ受ケタカラト云ツテ、磊々落々ト統計ヲ作ラズシテ——統計ヲ狂ハシテ、サウシテ辯護シテ云ツテ、磊々落々ト統計ヲ作ラズシテ、是ハ憤レナイト云フヤウト云フヤウナコトハイケナイ、故ニ此事ヲ石炭ニ就イテノ質問ヲ致スノデ、ソレデ其次ハ毛布ノコトデゴザイマスルガ、石炭ノ事ハ先づ買上ガ素人デアツタ萬々讓ツテ、サウ致シマシテカラガ、毛布ノ事ト云フモノハ、直チニ軍人ガ之ヲ著ナケレバナラナイ防寒具デ、大多く買ツテ、前ノ九月頃カラハ掛ケテ、十月、十一月ト云フトキニ多く仕入レナケレバナラヌトキニ少イデ、安イ時ガ高クテ、安カルベキ時ニ一圓二十錢以上タ、デ、追々必要デナイ時間トハ何デアル、十二月ノ下旬カラ一月、二月ト云フモノハソロノ暖氣ニ向フ方デアルカラ、相場ガ安クナル時分デアルトキハヨリモ陸軍ノ石炭ガ高クナツテ居ルカラ可笑シト云フ質問デアル、所ガ海軍ノ方ハ矢張石炭ガ高イト云フ調ヲ寄越シタノデアル、所ガ幾ラ高イカト云フト、陸軍ノ調査ニ依ツテ此石炭ト云フモノハ、尤モ所ニ依ツテ相場ヲ異ニシマスカラ、隨分東京アタリデハ色ニ四圓五十錢ト申シマシタノハ、其當時ノ馬關邊ノ近傍ニ徵發スル所ノ徵發石炭ノ代價デゴザイマスカラ、高イ石炭

デ入用ノトキニ東京中デ毛布ガナカツタカラ、衛戍病院其他守備隊ノ古毛布
 マデ、近傍ノヲ引上ダテ戰爭地ニヤツタ位デアツテ、如何ニモ毛布ガ必追デ
 アツタ云フコトヲ申ス、斯様ナコトデ、如何ニモ毛布必追デアツタ云フ
 カト思ヘバ、東京ノ此毛布類ヲ之ヲ毛布類ヲ賣捌ク所ノ卸店ト云フモノカ
 ラ買ハナイノデアル、京橋、神田、日本橋ノ三區ニ於テ三十七軒ト云フ問屋
 ガアルガ、此問屋カラ買ハナイノデアル、不思議ナ話デアル、マルデ買ハナ
 イノデナイ、三十七人ノ中カラ僅ニ三人シカ御買上ニ爲ツタノハナイ、其他
 ハ平日毛布ヲ取扱ハナイ素人ノ家カラ買ツタノデアル、ソレデ如何ニモ毛布
 パナイカラ、衛戍病院ノガマデ引上ダト云フノハ如何ニモ分ラナイ話デア
 ル、此ニ至ッテハ少シモ容赦ノナラナイ話デアル、是ハ何カ上ノ方ノ役人ハ
 知リマセヌデモ、下ノ方ノ小役人共ニハ、商人ト申合ハシテ——先づ此所デ
 驚嘗ガ始ルト先ノ演説ガ出來マセヌカラ——何カヤツタノニ相違ナインデア
 ル、ソレカラ其次ハ、ソレデ僅ニ毛布ハ幾ラ買ツタカト申シマスト百六万圓デ
 アル、百六万圓デアルカラ、ソロく安クナル方ノ期ニ至ッテ買ツタノガ、
 七十六万圓デアルテ、早ク毛布ヲ仕入レナケレバナラナイト云フトキニハ、
 三十万圓シカ買ハナイノデアル、遅ク仕入レテ軍人ニモ困ラセテ、ソレデ損害
 金ガ百万圓ノ中ニ二十七万圓ト云フノハ、餘計ノ金ヲ此毛布ヲ賣ツタヤツニ餘
 計ニヤツタヤウニナツテ居ル、是ガ平日毛布ノ卸賣商ナラバ宜シイガ、素人
 カラ多ク之ヲ買上ダテアルノデアルカラシテ、不思議千万ノ話ト云フコト
 ハ、是ハ宜ク諸君ニ訴ヘ申シテ置ク、コンナ譯デ、アトノ金ヲ遣シテハ國家
 ガ幾ラ議決シテモ四億万圓ガ十億万圓デモ間ニ合ハナイ話デアル、是ハ著物、
 今度ハ口ニ入レルモノハ罐詰——罐詰ノ事ハ松島廉作君ガ是ハ私ヨリモ委シ
 ウゴザイマスガ、私ハ簡單ニ述ベマスル、是ハ前ニ昨年委シク議論ヲシテ置
 キマシタカラ、此處ニ重複ヲ致シマセヌガ、唯此罐詰モ亦從來ア
 ル處ノ罐詰屋カラ買ハナイデ、無理ニ罐詰屋ヲ十八軒捨ヘテ、罐詰ヲ寒中ニ
 廉ル罐詰ヲ買フテ居ルノデアル、答辯書ニハ何ントアル、早ク急イデ買ハナ
 ケレバ軍人ノ生命ニ關係ガアル、大キナ事ヲ言ツテ不熟練、價ノ高イ、品ノ
 悪ルイ、不便ナル處ノ東京ニ十八軒ト云フ罐詰屋ヲ捨ヘテ、寒中ニ腐ルヤウ
 ナ罐詰ヲヤツテアル、西京ニハ皆熟練ナ罐詰屋ガアル、此西京ニハ義理一通
 リニ少々ハ申付ケタガ、之ヲ質問スルト西京ノ罐詰屋ハ虎列刺病デ大層死ン
 ダモノガ多イ、道具ノ毀レタノヤ器械ノ毀レタノガ多イト申シテ居ル、成ル
 程ソシナ事ハアルカラモ知レマセヌガ、如何ニモ妙ナ答辯デアル、ソレカラ十月
 十五日ノ日ニ——答辯書ニ依レバ、罐詰ノ取締ヲ——ソシナ不正ナ取締ヲ附
 計ヲ持ツテ居リマスルカラ、休憩所ニ于テ御覽ナサリタイト云フ御方ニハド
 ナタニモ御覽ニ入レル、取締ヲ付ケタト云フ日カラ先キガ惡ルクナツテ出来
 テ居リマス、斯様ナ譯デ先づ簡單ニ述ベテ置キマスルガ、如何ニモ憤慨ニ堪
 云フ日カラ先キガ却テ不正ガ多イ、是ガ如何ニモ分ラナイ、悉ク私ハ茲ニ統
 ヘナイノハ馬ノ肉ヲ何處ヘヤツタカ、馬肉ガ非常ニ多ク——其時分ニ數千頭
 ノ馬ヲ屠殺シタケレドモ、此馬ノ肉ノ往キ場ガナイ、斯様ナ譯デゴザイマス
 ルカラシテ、陸軍ハ能ク警視廳ニ問合セテ、サウシテ此馬ノ肉ガ殊更ニ糞賣
 店ガ殖エナイデ、何十頭ト云フ馬ノ肉ガ無クナツト云フテ見レバ、是ハ即

チ罐詰ノ中ニ入レタニ相違ナイ、警視廳モ又能ク公平ニ國家ノタメデアルカ
 ラ、唯國家ノ忠臣義士ト稱スベキモノ、愛宕館ノ集會ヲ裁判所ヘ引ッ張ッテ
 往クノガ能デモナカラウ、又演説ノ中止解散ヲスルノガ能デモナカラウ、コ
 ンナ事ヲ見付ケテ私ガ質問スルノヲ幸ニ陸軍省へ明白ニ之ヲ届ケルモ宜イ、
 伊東已代治君バカリ怖ハガシテブル、手が顫ヘテ居ルヤウデハ日本ノ警視
 ハ出來マセヌゼ（「ヒヤク」ト呼フ者アリ）昨年モ第八議會ニ於キマシテ
 モ、薩長ガ折角軍功ヲ奏シテモ、薩長ノ奸商——御用商人ノタメニ此軍功ヲ
 没スルト云フコトヲ私ハ此處ニ豫メ宣告ヲシテ置イタ位デゴザイマスルガ、
 果シテソレニ來タノデアル、一體軍程金ヲ使ツテ損ナモノハナイガ、國ノ腐
 敗ヲ改正スルノハ軍ノ損ヲ償フデアル、一昨年來ノ軍用金ハ國家ヲ腐ラス金
 ニ爲ツタノデアル、斯ノ如キ事ハ諸君、今日ヨリ御互ニ能ク力ヲ盡サナケ
 バ何ヲ以テ此國ヲ維持致シマセウカ、デ、斯様ナ譯デ此軍用品買上ノ御話ハ之
 ヲ極短ニ述べテ、是ガ一番長イノデゴザイマスルカラ是テ止メマス（簡単
 ベキ）ト呼フ者アリ「國家ノ大事ダ十分ヤリタマヘト呼フ者アリ）其次ハ議員
 ノ總選舉ヲ何ノタメニ延期シタノデアル、二十七年ノ六月解散シテ、其後カ
 ラ朝鮮事件が始シテ、日清戰爭ガ明治二十七年ノ六月端ヲ發シテ居ルノデア
 ル、ソレデ其以前始ツテ何ノタメニ法律ノ極度、今日アツテ明日ナシト云フ
 九月一日ニナツテ始メテ議員ヲ選舉スルマデニ之ヲ延シタノハ何デアルカ、
 サモアルベシ、六月議院ガ解散ニナル、ソレカラ朝鮮事件ガ起ツタガ、軍ヲ
 スルト云フ決心ガナクテ二万ノ軍隊ヲ送出シタ、四十日モ兵隊ヲ朝鮮ニマゴ
 ツカセテ、内輪テハソレ米相場、ソレ毛布ダ、ソレ罐詰ダ、錢儲ハ此時ナリト、斯ウ云フ心持テヤラレテ溜リマスルカ、議員ガ出テ來ル
 ト八ヶ間敷イ、其間ニ株式ヲヤルノハ此時デアル、隨分當路ノ人デ手ヲ出シ
 テ失敗シタ人モアリ、又諸ケタ人モアルト云フコトヲ聞イテ居ル、諸君ノ耳
 ハ吾ミヨリ賢イ、疾クニ御存ジノ苦デアル、ソシナ事ヲ議員ニ喙ヲ容レラレ
 テハ溜ラナイ、成ルベク遲ク選舉シヤウ、彼等ガ出テ來ルト對外硬派ガヤカ
 マシイ、遲イ方ガ宜イト云ツテ宣戰媾和モ何モ極ツテシマツタ後デ——宣戰
 ノ布令ガ出タル後デ議員ヲ集メル方ガ宜シイト思ツタノカ思ハナイノカ、免ニ
 角國家ノ一大機關ノ此帝國議會ノ組織ヲ軍國多事ノ際ニシナイト云フノガ何
 處ニ在ル、成ルタケ遅クシテ一日モ猶豫ノナクナツトキニ至ツテシタノデ
 アルカ、十月廣島ニ議會ヲ四十日召集スルト云フコトノ正則ヲ履ム能ハザラン
 メタ、臨時議會ハソレデシ宜シイノテアラウ、成ルベク四十日ヲ履ムノガ正當
 デアル、此答辯ナラ明日ニモ出來ルノデアル、サウ云フヒドイ目ニ打ツタリ
 アルカ、明カニ吾ミ議員ガ集マツテ來レバ對外硬派ガヤカマシイ、錢儲ノ邪
 魔ニナルカラ遅ク選ムト云フテ明ニ答辯スルト云フコトノ正則ヲ履ム能ハザラン
 デアル、此答辯ナラ明日ニモ出來ルノデアル、サウ云フヒドイ目ニ打ツタリ
 明カレタリ、國民ノ代表者ガ廣島デ何ト云フ議論ヲシタカ、昨年ノ第八議會
 ニドウ云フ議論ヲシタカ、國民ハ軍國ニ當ツテハ宜シク其當路者ニ心配ヲ掛
 チナイヤウニ後楯ト爲ツテヤラナケレバナラナイ、何モ大抵ナ事ハ蟲ヲ堪ナ
 ケレバナラナイト云フノガ既ニ尾崎行雄君ノ演説ニモ明言シテアル、長谷谷
 純孝君其他ノ諸君ノ演説モ皆速記錄ニ載ツテ居ル、斯ノ如ク擲グラレタリ踏マ
 レタリシタ身體ガ、國ヲ念フ者トヨノ椅子ヲ客ガル者トデハ此位達フモノデ
 アル、ソレデドウカ軍人ノ無事健康ヲ祈リ、當局者ノ無事健康ヲ祈ツテ居ツタ

ノハ、軍國ノ時アル、是ハドナタノ御考モ申スマデモナイ一轍ノ事デアル、然ルニ此當局者ハ遼東半島還附以來ト云フモノハ妙ナ風ニ狂ッテ仕舞フテ、遼東還附ノコトハヤカマシク言フデハアリマセヌガ、是ガタメニ妙ナ風ニ狂ッテシマツテ、自分が何カ輿論ノ攻擊ヲ避クルガタメニ、軍人ガドウモ弱カツタ、或ハ軍備ガ不十分デアツタ、ソレダカラ據ナイト云フヲ以テ之ヲ御用新聞ニ書カセ、自ラ唱ヘテ居ル、是ガ第二ノ質問デゴザイマシテ、遼東還附ノ罪責ヲ以テ軍隊及衆議院ニ歸セントシテ、内ニ於テハ國民ヲ瞞著シ、外ニ於テハ三國ニ請托ランタ、是ガ第二ノ質問デゴザイマス、先づ始メカラ極タ要領ダケヲ申シマスレバ、此要點ト云フモノハ軍隊ト衆議院トノ——此演説ヲスル要點ハ軍隊ト衆議院が今無實ノ罪ヲ被シテ居ル、國家カラ……之ヲ辯護シナケレバナラナイ、又政府ニ瞞著サレタタメニ、日本ノ國民ガ殆ド無氣力ノ如ク匪ノ中ニ見エタノデアル、敵愾心ヲ……

○星亨君(八番) 委員會ヲ是ヨリ開キタイト思ヒマスガ、田中君ノ演説ハ長イノデスカ

○田中正造君(二百九十九番) アナタガ御論ガアレバ星亨君ト議論ヲシマセウ

○議長(楠本正隆君) 委員會ノタメニデスカ、星亨君……

○田中正造君(二百九十九番) 御忠告デスカ、長イカ短イカト云フ……御忠告ナラ宜シイ

○議長(楠本正隆君) 成ルタケ短ク

○田中正造君(二百九十九番) 短クト云フ御忠告ダサウデスカラ

○星亨君(八番) 餘程長ク掛ルノデスカ——豫算委員會ヲ開キマスカラ、議場ノ許可ヲ請ヒマス

○議長(楠本正隆君) 豫算委員會ヲ開クニ依ッテ、退席ノ請求ガアリマス、御承認ヲ請ヒマス

(「十分ニヤリタマヘ」ト呼フ者アリ)

○田中正造君(二百九十九番) 三國ノ威嚴ニ驚イテ、ソレカラ以來ト云フモノハ實ニ卑劣ナ事ガアルノデアル、之ヲ自ラ辯護スルガタメニ、軍隊ノ力ガ萎弱シタ、軍隊ハ申上ゲルマデモナイ、千百里ノ外ニ遠征シテ、暑イ極度、寒イ極度、非常ナ苦心ヲシテ居ル軍隊デアツテ、此者ニ何ノ弱イト云フ名ヲ被ラセルト云フコトハ、軍人ニ取ッテハ此上モナイ不名譽ノコトデアル、是ハ力ヲ盡シテ此寃ヲ雪ガナケレバナラヌノデアル(是ハモウ誰彼ニ拘ラズ、此ヤウナ事ガアツテハ聞捨ニハナラヌノデアル、其證據ハ決シテ軍人ガ弱イト云フヤウナコトハナイ、立派ニ其時分ニ説ガアツタノデアル、即チ三國ノ干涉ト云フモノガ當局ノ有司ニ傳シタノハ二十八年ノ四月二十三日ノ朝デアル、其時分旅順ニ在ル所ノ征討大總督府ノ下ニ達シタノハ其同日ノ夜デアル、ソレデ同地ニ居ル所ノ陸海軍ノ重ナル大將、將校達ハ、其晚直チニ小松宮殿下ノ御乗船威震丸ト云フ船ニ集シテ評議ヲ盡シテ、三國ガ愈々干涉スルナラバ、此時アルトスウ勇ミニ勇ンデ居タルノアルカラ、勇ミデハナイ、顧ミマスレバ兵糧ト云フモノハ數月間ヲ支ヘルダケノ兵糧ガアルカラ、尙更軍氣

ハ振シテ、實ニ腕ヲ撫シ、銃ヲ磨クト云フヤウナ、文章ニ書ケバ其實況ハ實ニ此位ノ勢デアツタノデアル、ソレダニ依シテ樺山海軍軍令部長ハ、其翌日即チ二十四日ニ立田丸ニ乗ッテ、直チニ威海衛ニ往シテ、威海衛ニ居ラレタ海軍大佐ノ伊集院ト云フ人ヲ御連レナスツテ、威海衛ニ御用船ニ乘込ンテ、伊集院海軍大佐ト澎湖島ニ當時居ラレタ所ノ伊東聯合艦隊司令長官ヲ迎ニヤリ、自分ハ本國ニ飛シテ來タノデアル、是ト行違ヒニ山縣君ガ旅順ニ行ツタノデアルデ、廣島ノ會議ガ惜イカナ其二十四日ノ日ニ、新ニ三國ヲ敵トスルノハ不利益デアルト云フコトニ極シテ、山縣陸軍大將ハ旅順ニ出掛ケラレテ、是ト樺山トガ行違シタト云フコトハ、諸君モ既ニ御承知デアリマセウ、ソコデ山縣大將ハ旅順口ヘ參リマスト云フト、直チニ此山縣君ガ參ツタカラ、又評議ヲ小松宮殿下ノ御乗船威震丸ニ開イテ、種々山縣陸軍大將ニ向ツテ非常ニ不平ヲ述べタノデアル、其不平ノ中ニ證據ガアル(閣下ハ陸軍大臣トシテ今國民軍ヲ十萬募集スル身體デアリナガラ此處マデ御出ニナルト云フノハ當ラナイ話デアル)山縣大將ハ勅諭ノ趣ヲ以テ諸將ヲ説諭スル「勅諭ヲ持ツテ御出ニナルナラバ他ノ人ガ御出ニナシテモ間ニ合フ話デアル容易ナラナイ責任大責任ヲ持ツテ居ラル、閣下ガ御出ニナルニハ及バナカッタ」ト云フ、斯ウ云フ不平ノ議論ガアツタノ位デゴザイマスカラシテ、陸軍ト云フモハ、決シテ左様ナル此行政部内ニアル人々ガ陸軍ノ軍隊ガ、萎弱シテ居ツタカラト云フヤウナ、ソンナモノデハナカツタノデアル、大山君、野津君、山路君、佐久間君等ノ人々ガ今ノ議論ヲシタノデアル、又山縣君ノ乗シテ居ル所ノ船マデ押掛けテ議論モアツタノデアル、併ナガラ奈何セン勅諭デアルカラ、是ハ默止難ナイ、涙ヲ呑シシテ從ツタ、從ツタト同時ニ、此軍氣ハ沮丧シテ仕舞シタノデアル、ソレヨリ以來今日ニ至ルマデ、此國家ノ軍氣ノ沮喪シタノハ是デアルノデアリマス、是ガ軍人ガ弱クシテ軍氣ガ沮喪シタノカ、ハ、決シテ左様ナル此行政部内ニアル人々ガ陸軍ノ軍隊ガ、萎弱シテ居ツタアルカ、廣島ノ決議ヲシテ必シモ惡イト此處デ言フ演説ヲスルノデハナイ、軍氣ヲ沮喪サセ、軍氣ガ振ハナイト云フコトヲシテ軍人ノ罪ニ歸スルト云フニ至シテハ、是ハ軍人ノタメニ述ベテ置カナケレバナラナイ、ソレデモ尙ホ足リナインデ、軍人ガ弱イト云フト軍人ヲ怒ラセル故ニ、軍人ハ弱クナイ、器械ガ足リナイン、道具ガ乏シイ、國會ガ之ニ反對シタカラ、十分ノ軍が出來ナカツタナドト云フヤウナコトヲ、世ノ中ノ人ガ經濟ニ暗イト思シテ、サウ云フコトヲ專ニ流布スルト云フニ至シテハ、衆議院議會ニ罪ヲ歸ス、其中ニ衆議院ニ罪ヲ歸スノデアル、是ハ一通り極簡略ニモ自分ノ寃罪デアレバ述ベテ置カナケレバナラナアル、是ハノデアル、軍氣沮喪ノ事ハ諸君モ御承知ノ如ク、第一議會ニ於テ五百二十一万ト云フモノヲ立派ニ政府ノ請求通り可決シテ居ルノデアル、第二議會ニ於テ始テ海軍ノ經理部ノ弊竇ヲ發見シタノデアル、醫學ガ進歩スレバ病ノ數モ多クナルコトヲ見出スト云フコトハ仕方ガナイ、第二議會ニ於テ海軍ノ内部ノ改正シナケレバナラヌ、改良ヲ盡サナケレバナラナイ、内部サヘ改良スレバ金ハ惜ム譯デハナイト云フノデ之ヲ否決シタ、第三回ニモ否決シテ、第四回デ斯ノ如ク議會ガ解散サレテモ、ソレニモ拘ラズ海軍ノ内部ヲ改正シヤウトシタ、第四議會ニ於テハ政府ハ更ニ大ナル海陸軍擴張案ヲ出シタカラシテ、其時ニ大衝突ガ起シタノデアル、此時ノ議會ハ幾ラカ少シ位ハ骨ガアツ

タヤウニ見エル、其衝突ノ結果上奏案トナリ、詔勅ト爲リテ、ソレデ政府ト議會ト協議會ヲ開イテ、祕密會ニ於テ相談ガ纏フテ、軍艦ヲ製造スルコトニ爲ツメノデアル、是ヨリ以來軍艦ノ製造ハ滯リナシニ來テ居ル、其軍艦ヲ指ヘル所ノ年限ヲ起算致シマスレバ、軍艦ノ規模ハ二十六年度ヨリ三十一年度マデニ至フテ、三十一年ニナフテ竣功ヲ告グルノデアル、三十一年度ニ竣功ヲ告ルトキハ、此二十八年ノ遼東還付ヲスルトキニ何ノ關係ガアルカ、斯ノ如キ事ハ政府ハ知ラ居リナガラ、之ヲ經濟杯ト云フコトハ、餘リ口ニ言ハナイ所ノ軍人社會ニ觸レテ、地方ノ或ハ知事ヤ、郡長ヤ、巡查杯ニ戸々之ヲ話シテ歩カセル、實ニドウモ乞食ノヤリ方ノヤウナヤリ方ヲ致シテ居ル、斯様ナ譯合デ、先づ諸君モ古イ事テアルカラ皆御承知デゴザイマセウケレドモ、ソレダケ軍艦ガ必要ナレバ、何ゼ國會ガ開ケナイ前ニ、其前ニナゼ軍艦ヲセフセト造ツテ置カナイノデアルカ、其時分ハ二十三年ハ國會ガ開ケルトヤカマシイト云フノデ、サア山林ノ分捕、官有物ノ分捕、舞蹈會ノ稽古、斯ウダ、既ニ吳杯ニ至ツテハ此軍艦ヲ捨ヘル所ヲ捨ヘナイデ、既ニ海軍省ノ役人ノ遊ブ俱樂部ヲ造ツタ、斯ウ云フ譯デゴザイマシテ、隨分今日ノ陸軍省ノ如クデアツタ、陸軍省ノ經理部ノ如クデアツタ、所ガ議會ノ攻撃デ海軍ハ過ヲ改ムルニ客ナルナク、承ル所ニ依レバ會計部ノ役人ヲ二人召捕ツテ獄ニ叩込ンダト云フ手際ガアル、ソレハ公ニナラヌガ、德義上聞込ンダコトガアルカラ之ヲ言フノデアル、ソレヲ過ヲ改ムルニ客ナルナク昨年——一昨年ノ戰爭ニ於テハ石炭ノ價ト云ヒ、罐詰ノ買入ト云ヒ、陸軍省ニ優ルコト數等、成ル程未だ譽メル程ニハ往カヌガ、陸軍省ニ比スレバ立派ナ事デアル、斯様ナ譯デ其罪ヲ受ケナケレバナラヌ、伊藤總理大臣ハ貴族院ニ於テ二十六年——二十五年ノ暮タ、貴族院ニ於テ地價修正ノ委員會ニ於テ、安場議員ガ地價修正ヲシテ五百万六百万ノ金ヲ使フヨリ、之ヲ以テ海軍ノ軍艦ヲ造ツテハ如何デアルト云フ說ニ對シテ、伊藤總理ハドウ云フ其時ニ演説ヲ爲サレタカ、ドウ唯口デバカリサウ云フコトヲ言チヤア困ル、伊藤君ノ演説ハ茲ニモゴザイマス、歲出歲入ヲ能ク見ナケレバイケナイ、歲入大凡八千万圓トアルヲ、二千六百万圓ヲ海陸軍ニ支出シテアルヂヤナイカ、其上ニ海軍ヲ擴張シロ、軍艦ヲ造レト云ツテ騒イダ、所ガ、金ガナインシヤアドウ出來ルモノカ、一千六百圓ハ支出シテアルノデアルト云フ議論ハ、茲ニ速記錄ヲ讀メバ長ウゴザイマスガ、伊藤君ノ演説ハ茲ニ在ル、此伊藤君ノ演説ハ支那ト戰爭ノ始ル六箇月前、此六箇月前ニ此議論ガチャント速記錄ニ載ツテ居ル、サウスルト議會ガヤカマシク言フタハ二十三年四年デ、伊藤君ノ議論ハ

ス、斯様ナ譯デアリマスカラ、衆議院ガ軍艦製造ヲ急シタト云フ語氣ヲ以テ、世ノ中ノ經濟ニ餘リ明ルクナイ所ノ軍人ノ中ノ人ミヤ、或ハ地方ノ商人、農民ニ向ツテ巡査ノ手ヤ軍吏ノ手ヲ藉リテ、議會ヲ讒謗シテ歩ルカセルト云フヤウナソシナ小サイコトデハ、到底三國ノ人ガ出タル驚クデゴザイマセウヨ、斯様ナ譯デゴザイマスカラ、是デ議院ノ冤罪ハ私ハ申開ガ立ツタ、モウ立派ニ立ツタ、ソレカラ更ニ是カラ伊藤内閣ニ聞カント欲スルコトハ、三國ノ干渉ガ來タ時ニ、此三國ノ方ニ於テモ其當時ニ於テハ、表面的ハ隨分好意デアルノデアル、其内心ハ分ラナイガ、獨逸ノ如キハ満廷ニ遼東ヲ還シタナラバ他國ニ譲ラセナイト云フ約束ヲシテ上げヤウ、砲臺ヲ造ラナイ約束ヲシテ上ゲヤウト云フコトハ獨逸ガ明言シテ居ル、露西亞ト雖モナンデモ俄ニ新領地ヲ急ニ還ヘシテシマハナケレバナラヌト云フノデハナイノデアル、又佛蘭西ニ於テモ、開ク所ニ依レバ十五年間ハ先づ占領シテ置イテ、局面ノ一變スルノヲ見ルノモ一ツ仕事デアルト云フヤウナコトモ聞イタ、併ナガラ其當時ノ當路ノ人ト云フモノハ、此三國ノ世話ニナツテ宜イ時ハ宣イガ、又惡ルイハ惡ルイト云フ見込ガゴザイマシタモノカ、之ヲ列付ケテ清國ノ事ハ相對デヤツタノハ宜カツタ、宜カツケレドモナゼサウナラバ其通ニヤツテ往カナイカ、其後日清ノ間ニドウモ商議ガ拂ラナイト云フテ三國ヲ賴シテ漸ク三千万てゐるヲ取ツタノハドウモ先見ノナイ話デアル、又申後レマシタガ、遼東還附ノ時デモサウデアル、松方伯ハ容易ニ遼東ヲ取ツテハイカヌ、是ハ餘程考ヘ物デアル、又民黨ノ有志デ彼ノ地ニ赴イテ居ル者ガ、一度取ルナラバ長ク取ツテ持ツテ居ラル、ナラバ御取りナサイ、取ツテ見タガ直グ離スト云フナラバイツソ御取りニナラヌガ宜イト云フコトヲ、彼ノ地ニ往ツテ居ル者ガ伊藤ニ之ヲ御忠告ヲ申シタノデアル、所ガ其時ハ大膽デ、手モナク或ハ輕躁ト云フカ、或ハ其時ダケノ大膽ト云フカ、此遼東ヲ割取ツテ立派ナル勢デアツタガ、本物ガ出掛ケテ來ルト又グヅくト爲ツテシマツテ之ヲ還シテシマツタ、還シテシマツタノモ、矢張磊落ニドウモ之ハ遣リ損ナツタト云ヘバ宜イガ、ドウカシテ其非ヲ蔽フニハ詔勅ヲ出シ直サナケレバナラナイ、其非ヲ蔽フト蔽ハザルニ拘ラズ詔勅ハ出サナケレバナラヌガ、國家ガ先鞭ヲ附ケテ國家カラヤカマシク言ハナイ中ニ祝宴會ヲ開カセル、内務大臣ヨリ知事ニ、知事ヨリ郡長ニ、郡長ヨリ戸長ニ達シテ、先づ遼東還付ハ自出度ト云ハナイガ、先づ媾和談判ガ濟シテ御自出度、祝電ヲ打テト云ツテ各戸長ヘ殆ンド訓諭シタ、各村長ハ未ダ其事ヲ能ク知ラナイ中ニ媾和談判ハ調フテ自出度イト云フ祝電デアルカラ何ニ異論ヲ言フ者モナク、先づ之ヲ大本營ニ向ケテドンヽ祝電ヲ打ツタ、大本營ニハ祝電ガ山ヲ成シタカラ之ヲ畏多イ方ニ出シテ己ノ首尾ノ惡ルイコトヲ之ヲ補ツタノデアル、斯様ナ小細工ヲ以テ世ノ中ヲ纏メテドコマデモドコマデモ之ガ人民ヲ愚弄シタト云フコトデアル、己ノ非ヲ蔽ハシメニハ何事デモナスノデアル、殊ニ電報ヲ以テ人ヲ譽メテ貰ヒタイ、譽メラレタイト云フコトハ、町村長ヤ何カラ頼シデヤルト云フコトヲシナイデ、一個人デヤル分ハ吾ミハ言ハナイ、森槐南云ヘバ、第一番ニ伊藤總理ヲ指サナケレバナラヌ、又一二十二年ノ當時ニ山縣ガ總理ノ時ノ演説ニモ、軍艦ヲ指ヘタカツタガ金ガ寶ニナカツタカラ指ヘタ、タツタ六箇月前マデハ此演説ヲ維持シテ來タジヤアリマセヌカ、ダカラ軍艦ヲ製造スルノガ惡ルカラクタト——製造スルノヲ怠ツタノヲ惡ルカラクタト云ヘバ、第一番ニ伊藤總理ヲ指サナケレバナラヌ、又一二十二年ノ當時ニ山縣ガ總理ノ時ノ演説ニモ、軍艦ヲ指ヘタカツタガ金ガ寶ニナカツタカラ指ヘタカツタガ、ドウゾ諸君是カラハ指ヘテ吳レイト云フ演説ガゴザイマス、即チ二十三年マデハ金ヲ粗末ニシテ使フテシマツタト云フコトモ明カデアリマガリニ、演説會ヲシテ艦樓ノ出ル分ハ、マサカニ取ツタ勳章ヲ取ラレハシナ

イ、其前ニ首尾ヲ書カレテハ溜ラナイ、演説ヲサレテハ溜ラナイ、發行停止、演説解散、勳章ハ一日モ早ク下カラ頂戴ヲスル風ヲシナケレバマズイ、大磯ニ飛ンデ行ク、宮内大臣ガ御迎ニ出ル、ア、其位ガ分ラナイシヤ仕方ガナ、イ、軍人バカリ顯微鏡ハ使ハナイ、立法院ニモ顯微鏡ト云フモノハアル、蟲眼鏡モ持ツテ居ル、次ニ目錄ダケヲ讀ミマス、是ハ八議會ニ質問ヲ致シマシタケレドモ答辯ガゴザイマセヌカラ申シマスガ、是ハ横濱築港ノ不正工事ノ一件デ責任者ガ未だ定マラナイデ居ル、是ハ第一ニ因ルノハ死ンダ人ニ罪ヲ脊負ハシタノデアル、是レ決シテ容赦ノナラナイ事デアル、外國人ヲ雇ッテ、外國人ガ横濱築港ノ設計ヲ請負ッテ居ル、所ニ責任者ヲ質問スルト云フト、外國人ガ此責任者ヲ死ンダト云フノデゴザイマス、此外國人ハ設計ノ方ヲ頼マレタノデアル、工事ノ方ヲ頼マレタノデハナイ、設計トハ即チ堤ヲ長クスル高クスルト云フノガ設計デアル、工事ノ方ハせんとヲ買フ、敲付ケル、是ガ工事ノ方デアル、工事ノ方ニ關係ノナリ設計者ノ方ニ、工事ノ罪ヲ持テ行カウトスル、此人ハ死ンダ、死人ニ口ナシダ、外國人ダカラ宜イト云フ不親切デハ、日本國ノ帝國議會ハ聽流シハシナイノデアル、是ハ宜シク責任者ヲ定メテ、昨年泥棒ヲ捕マヘテ出セトマデ申シテアルノデゴザイマス、其後責任者ヲ召捕シテアルヤ否ヤ、隨分召捕シテ置イテモ、世ノ中ニ發表シナイコトモアルカラ、召捕シテ處分シタト云フナラバソレデ宜イカラ、ソレヲ質問致ス、ドウモ今日ノ所ハ責任ノ事ハ餘程ヤカマシク言ハナイト、殆ド無政府ノ有様デアル、的ヲ切ッテ何處ヲ見テモ無政府デアル、先ヅ民間ノ方ノ側ノ一例ヲ申セバ、是モ前ニ長イ質問ガアラテ細カニ演説シテアリマスカラ、今日喋々述ベマセヌガ、足尾鑛山ノ鑛毒事件、是モ今日差掛シテ困ルコトハ、クドク講釋ヲスルノデハナイ、田畠ニ害ガアッテ困ルト云フノニ地方官ガ郡長ガ古河ニ使ハレテ、サウシテ人民ニ一段ニ就キ一圓金ヲヤルカラ、是デ永世子々孫々マデ苦情ヲ言フナト云フ書附ヲ取り、サウシテ判ヲ強奪シテアル、是ハ栃木縣ノ足利郡デ斯様ナ事ヲシテ居ルノデゴザイマス、此事ヲ御話スレバ是デ一時間モ掛リマスケレドモ、差當ッテノ事ハ此地方ノ役人小役人共、オトナシイ役人ハ是ハ古河ヲ怖ガツテ居ル、又古河ハ今ノ外務大臣ニ緣故ガアルカラ小サクナツテ居ル、腹ノ腐ツタ役人ハ古河ノ奴隸ニ爲フテ居ル、日本帝國ノ役人ガ、一個人ノ古河市兵衛ノ奴隸ニ爲フテ、己ノ管下ノ人民ヲ強迫シ、壯士ヲ使ヒ三兩ノ金ヲ取り、一圓ノ金ヲ取り、サウシテ子々孫々マデ苦情ヲ言ハナイト云フ判ヲ捺セ、捺サナケレバナダルトマデ役人ガヤラカンテ居ル、是ハ無政府ト言ハナケレバナラナイ、ソレデ其地方ノ者ハ水ガ飲メナインデアル、斯様ニ困ツテ居ル位アルノニ、一方ヲ顧ルト、廣島デハ一年八十五万圓繰出シタ金ガ、廣島ノ市中ニ良イ水ヲ引クト云フテ十五万圓大藏省ガ壓制シテ引出シタ金デアル、軍國ノ勢デ引出シタ金デアルガ、其金デ何故直グニ普請ヲシナインデアル、今日マデ何處ヲ其金ガマゴ付テ居ルノデアル、其利息ハ誰ガ使ツテ居ルノデアル、斯様ニ一方ニハイラナイテ據ナイ所ダケヲ御話シテ置カケレバナラナイ、北海道炭礦鐵道會社ノ事

モ工藤君カラ質問ガ出マシタケレドモ、是ハ工藤君ノ質問ノ所デハナイ、其他ノ事デアル、凡ソ鐵道會社ガ他ノ事業ヲ兼ネルコトノ出來ナイト云フノハ、國家ノ經濟ガ許サナリ、法理モ許サナリノニ、其理由ノ説明ガナリ、又肥後ノ熊本ノ立山ト云フ山林ハ、今日ノ價デ凡ソ百万圓——五六年前材木ノ安イトキデモ六七万圓ノモノハアル、今日物價騰貴、材木ハ殊ニ騰貴シテ居リマスカラ、百万圓ノ代價ノアル此立山ヲ二万圓ノ山ト——殆ド二万圓位ノ山ト交換シタノハ、ドウ云フ理由デアルカ、之ヲ聽カナケレバナラナイ、其當時ノ農商務大臣ハ誰デアル、幸ヒ今内閣ニ椅子ヲ占メテ居ル所ノ外務大臣陸宗光君デアル、陸奥宗光君ハ之ヲ承諾シタノデアル、此承諾ニ依リテ久シク御病氣デ當時引込シテ居タル人ガ、之ヲ許可スルトキバカリ農商務省ニ出テ判ヲ捺シテ、直グ歸ッテ又蒲團ヲ冠シテ寝タト云フ事實デアル、斯クマデ皮肉ヲ許イテハ御氣ノ毒デゴザイマスケレドモ、幾ラ耳ガ痛クテモ寝テ居テ金ガ儲カツタカラ、ソレハ勘忍シナケレバナラナイ、モリ是カラヤラセル譯ニハ行カナリ、小金原ノ開墾地ヲ、諸君ガ御熟知ノ如ク、モウ明治二年以來拓カセタ地面デ、一人ニ就イテ三町ヤル、四町ヤル——段々拓イタ地面ヲ政府ガ届カナイト言シテ、三井某ニ世話ヲサセテ、サウシテ地券狀ヲ渡ストキニ三井某ニヤツテシマツタカラ、人民ニ所有權ガナインデ、ソレカラ以來大騒ニ騒イテ居ルガ、今日マデ其處置ヲ著ケナイ、東京ヲ距ル僅ニ二十里外ノ地、ソレニ今日デハ此三井ト云フ會社ハソシナ細カシイコトハ嫌デアルカラ飛ンダ迷惑デアル、就イテハ、ドウカ道ガアレバ返シテヤリタイト言シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデゴザイマスルガ、何ガ關聯シテ是ハ處置ヲ付ケナインデアルカ、サウナレバ千葉縣ノ知事ハ何事ヲシテ居ル、千葉縣ノ知事ハ何事ヲシテ居ルト申シマスルト云フト、是ハ此小金ヶ原ノ貧民ノ地面ヲ取上ゲル世話ヲシテ、人民ノ墓所マデ取上ゲテシマツタ——墓地マテ取上ゲテシマツタ、ソレナコトヲシテ居シテ、一方ハ何ノ仕事ヲスルカトテアル、耻ヂタモノデアル、租稅ニ娼妓ノ賦金ト云フモノハ地方ニ在ルケレドモ、娼妓カラ稅ヲ取タト云フテハ耻ヅルト云フテ、之ヲ租稅ノ中ニ加ヘナカツタノテ金儲ケヲスル、コンナ事ヲヤツテ居ル、今日ノ政府ハ女郎屋ヲ拘ヘルガ好キデアル、明治十五年前ノ政府ハ先づ高尙ト謂フテモ宜イ、此女郎屋ノ稅杯ト云フモノハ之ヲ表向ニスルコトヲ耻ヂタ、先づ立派ナ政府ト謂シテモ宜イ、今耻ヂタモノデアル、租稅ニ娼妓ノ賦金ト云フモノハ地方ニ在ルケレドモ、娼妓カラ稅ヲ取タト云フテハ耻ヅルト云フテ、之ヲ租稅ノ中ニ加ヘナカツタノデアル、一方ハ人民ノ墓地、先祖ヲ祠ツタ墓場マデモフンダクリ、一方ハ明地ヲ買占メテ女郎屋ヲ拘ヘテ、地代ヲ上ゲテ、斯ウ云フコギタナイ人間ニ知事ニ爲ラレテ、頭ノ上ニ居ラレテハ迷惑ノ話デハゴザイマセヌカ、千葉縣ノミナラズ、臺灣ニ於テモ先頃來公娼ヲ拘ヘルト云フコトヲ臺灣ノ御政治ノデアル、一方ハ人民ノ墓地、先祖ヲ祠ツタ墓場マデモフンダクリ、一方ハ明地ヲ買占メテ女郎屋ヲ拘ヘテ、地代ヲ上ゲテ、斯ウ云フコギタナイ人間ニ知事ニ爲ラレテ、頭ノ上ニ居ラレテハ迷惑ノ話デハゴザイマセヌカ、千葉縣ノミナラズ、臺灣ニ於テモ先頃來公娼ヲ拘ヘルト云フコトヲ臺灣ノ御政治ノデアル、臺灣ハ後進者ナリ、創業者ナリ、未開者ナリト云フテ居ルデゴザイマセウ、未開ト謂シタラ後年者、後進者ト謂シタラ幼年者アル、此幼年ナル者ニ女郎屋ヲ見セルト云フノガ御政治始ト云フノデアルカラ、如何ニモ前途心配ノ話デゴザイマスル、ソラ群馬縣、ソラドコ知事ト云フモノハ、暇ガアルカラ、イカ、何デモ女郎屋ヲ拘ヘルト云フコトガ今日ノ半仕事デアル、是等ハ錢モテ據ナイ所ダケヲ御話シテ置カケレバナラナイ、斯クマデニ成果テナ

イデモ宜カラウト思フ、是ダケニ乞食染ミナイデモ宜カラウト思フ、兔ニ角馬鹿デモ知事ダ、御役人アル、其役人ガ先立チデ、甚シキハ警部杯ヲスルヤツガ女郎屋ノ周旋ヲスルト云フヤウナコトハ、モウ珍シクナインアル、實ニモウドウモ殘念至極ノ話アル、サウカト思ヘバ、陸奥君ハモウ第六議會以來、此議場ニ顏ヲ一度モ出サヌノアル、對外硬派ノ反對演說、條約厲行ノ反對演說ヲシテ、議場ノ反對ヲ食ッテ、少シク演說ヲ早クシマツテ、御逃込デモゴザイマスマイガ、急イデ歸ッタ切り、今日マデ議場ヘ御顔ヲ出サナイノデアル、ソレデ先ヅ此大臣ノ職務ガ勤マルモノデゴザイマセウカ、是ガ一ソノ不審、外務大臣曠職ニ關スル件——サウシテ御病氣デモゴザイマセウカラ、一個人トシテハ見舞ハナケレバナラヌガ、舞子ノ濱、大磯殆ド多難ノ際ニ一年間モ引込ンデ居ル、其往復ノ無駄ノ手間ヲ費シ、時機ヲ失シ、ソレデモ立派ニ往クナラバ宜シイガ、イツモヤリ損イガ多イ、少シハ國家ノタメヲ考ヘテ吳レナケレバナラヌノアル、是ガ一ソノ不審、外務大臣モアラヌガ、是ハ誰ノ戰功アル、今ノ行政官獨リノ勳功デテ、之ニ爵位ヲ進メル、マア何ト云フコトデアルカ、物ノ失策、國ノ耻辱ヲ遺シ、病氣ヲ病氣トシ、公事職務ガ勤マラナイノモ耻トセズ、廉耻ヲ知ラズ、此者ヲシテ厚ク遇スルト云フニ至ッテハ、一體日清ノ戰功——日清ノ戰功ハ、是ハ誰ノ戰功アル、國民ノ戰功アル、今ノ行政官獨リノ勳功デハナイ、殘ラズ國家擧ゲテノ勳功アルノアル、其勳功ヲ分配スルヤ、宜シク公平デナケレバナラヌノアル、失策ヲシタ、國辱ヲ與ヘタ人間ガ勳章ヲ取ルナラバ、誰カ侯伯タラザルモノハナカラバ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ廣ク言フヤウデゴザイマスケレドモ、衆議院議長、副議長ニ何カ賜シト云フコトハ何ノ事アル、何故賜ルナレバ伊藤總理ト議長ト同ジニ之ヲ取扱ハナリノデアルカ、衆議院何ガ失策ガアル、國民ノ代表者何ガ失策ガアル、伊藤ノ功ト云フノデハナイ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ侯爵大勳位ニ爲シタノアル、代表者ノ力、木偶デモ、木像デモ、此代表者ト云フカラ取ル、伊藤老イタリト雖モ、楠本議長木像ナリ、伊藤木偶ナリ、楠本議長木像ナリ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ定メテドツチヲ賢明ト云ヘバ、雙方賢明ト謂ハナケレバナラヌ、同ジ人ヲ何故侯爵ニシナイカ、降ツテモ何故島田三郎ヲ伯爵ニシナインアル、分ツタ話デアル、是ハ私ガソレダケ譯ノ分ラヌ政府デハナカラウト思フノアル、是ニハ味ノアル話ダラウト思フ、今日皮肉ヲ許イテヤル、是ハサウスルコトハ心得テ居ルケレドモ、之ヲ一度ニ遣シテ往ケナイカラ、二度ニ遣ル、二度ニ下グル、其間ニ恩惠ヲ賣ッテ、間ガアレバ私恩ヲ賣ッテ、サウシテ侯爵ト伯爵ニシヤウト——一度デハ生捕レナイカラ、殘シテ置イテ二度目マデニ二人ヲ生捕ラウ、其手ヲ喰ウト云フ所ノ楠本君、島田君デナインアル、其手ヲ喰フ人バカリ多イカラ、矢張喰フト思シテ残シテ置イタケレドモ、ソレハ往ケナイ、早速侯爵ト伯爵ニシナケレバナラヌノアル、其位ノ事ハ知ッテ居ル、ソレデモ彼等ハ却テ失策ガアリ——失策ガアリ、國ニ耻辱ヲ與ヘタノアル、ソレニアル以上ハ其上ニシナケレバナラヌノアル、一步、一段上ニシナケレバナラヌ、先ヅ假ニサウ云フコトヲ功ヲ論ズルノニ、功ヲ差引ヲシテ惡事ヲ言フノハ、先ヅは宜クナイトシタ處ガ、幾ラマケタ處ガ、總理大臣ダケノ位置ヲ踐マセナケレバナラヌノアル、是ハ唯一場ノ話トシナ

イノデアル、吾々ハ之ヲ眞面目ニ言フタノアル、如何ノ故ニ立法部ヲ斯ノ如ク輕ク取扱フノアル、何故ニ之ヲ輕ク取扱フノアルカ、デモウツハ衆議院議員濱野茂君カ拘留ニ爲リマシタ、是ハ諸君ガ御承知ダガ、此議會ニ通知ガゴザイマセヌ、是ハナケレバナラヌ、是ハ面倒ナ事ハナイ、多分忘レタデゴザイマセウカラ、忘レタナラバ忘レタト云フ答辯デ宜シイ、次ハ三ノ不審、外務大臣曠職ニ關スル件——サウシテ御病氣デモゴザイマセウカラ、一個人トシテハ見舞ハナケレバナラヌガ、舞子ノ濱、大磯殆ド多難ノ際ニ一年間モ引込ンデ居ル、其往復ノ無駄ノ手間ヲ費シ、時機ヲ失シ、ソレデモ立派ニ往クナラバ宜シイガ、イツモヤリ損イガ多イ、少シハ國家ノタメヲ考ヘテ吳レナケレバナラヌノアル、是ガ一ソノ不審、外務大臣モアラヌガ、是ハ誰ノ戰功アル、今ノ行政官獨リノ勳功デテ、之ニ爵位ヲ進メル、マア何ト云フコトデアルカ、物ノ失策、國ノ耻辱ヲ遺シ、病氣ヲ病氣トシ、公事職務ガ勤マラナイノモ耻トセズ、廉耻ヲ知ラズ、此者ヲシテ厚ク遇スルト云フニ至ッテハ、一體日清ノ戰功——日清ノ戰功ハ、是ハ誰ノ戰功アル、國民ノ戰功アル、今ノ行政官獨リノ勳功デハナイ、殘ラズ國家擧ゲテノ勳功アルノアル、其勳功ヲ分配スルヤ、宜シク公平デナケレバナラヌノアル、失策ヲシタ、國辱ヲ與ヘタ人間ガ勳章ヲ取ルナラバ、誰カ侯伯タラザルモノハナカラバ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ廣ク言フヤウデゴザイマスケレドモ、衆議院議長、副議長ニ何カ賜シト云フコトハ何ノ事アル、何故賜ルナレバ伊藤總理ト議長ト同ジニ之ヲ取扱ハナリノデアルカ、衆議院何ガ失策ガアル、國民ノ代表者何ガ失策ガアル、伊藤ノ功ト云フノデハナイ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ侯爵大勳位ニ爲シタノアル、代表者ノ力、木偶デモ、木像デモ、此代表者ト云フカラ取ル、伊藤老イタリト雖モ、楠本議長木偶ナリ、伊藤木偶ナリ、楠本議長木偶ナリ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ定メテドツチヲ賢明ト云ヘバ、雙方賢明ト謂ハナケレバナラヌ、同ジ人ヲ何故侯爵ニシナイカ、降ツテモ何故島田三郎ヲ伯爵ニシナインアル、分ツタ話デアル、是ハ私ガソレダケ譯ノ分ラヌ政府デハナカラウト思フノアル、是ニハ味ノアル話ダラウト思フ、今日皮肉ヲ許イテヤル、是ハサウスルコトハ心得テ居ルケレドモ、之ヲ一度ニ遣シテ往ケナイカラ、二度ニ遣ル、二度ニ下グル、其間ニ恩恵ヲ賣ッテ、間ガアレバ私恩ヲ賣ッテ、サウシテ侯爵ト伯爵ニシヤウト——一度デハ生捕レナイカラ、殘シテ置イテ二度目マデニ二人ヲ生捕ラウ、其手ヲ喰ウト云フ所ノ楠本君、島田君デナインアル、其手ヲ喰フ人バカリ多イカラ、矢張喰フト思シテ残シテ置イタケレドモ、ソレハ往ケナイ、早速侯爵ト伯爵ニシナケレバナラヌノアル、其位ノ事ハ知ッテ居ル、ソレデモ彼等ハ却テ失策ガアリ——失策ガアリ、國ニ耻辱ヲ與ヘタノアル、ソレニアル以上ハ其上ニシナケレバナラヌノアル、一步、一段上ニシナケレバナラヌ、先ヅ假ニサウ云フコトヲ功ヲ論ズルノニ、功ヲ差引ヲシテ惡事ヲ言フノハ、先ヅは宜クナイトシタ處ガ、幾ラマケタ處ガ、總理大臣ダケノ位置ヲ踐マセナケレバナラヌノアル、是ハ唯一場ノ話トシナ

イノデアル、吾々ハ之ヲ眞面目ニ言フタノアル、如何ノ故ニ立法部ヲ斯ノ如ク輕ク取扱フノアル、何故ニ之ヲ輕ク取扱フノアルカ、デモウツハ衆議院議員濱野茂君カ拘留ニ爲リマシタ、是ハ諸君ガ御承知ダガ、此議會ニ通知ガゴザイマセヌ、是ハナケレバナラヌ、是ハ面倒ナ事ハナイ、多分忘レタデゴザイマセウカラ、忘レタナラバ忘レタト云フ答辯デ宜シイ、次ハ三ノ不審、外務大臣曠職ニ關スル件——サウシテ御病氣デモゴザイマセウカラ、一個人トシテハ見舞ハナケレバナラヌガ、舞子ノ濱、大磯殆ド多難ノ際ニ一年間モ引込ンデ居ル、其往復ノ無駄ノ手間ヲ費シ、時機ヲ失シ、ソレデモ立派ニ往クナラバ宜シイガ、イツモヤリ損イガ多イ、少シハ國家ノタメヲ考ヘテ吳レナケレバナラヌノアル、是ガ一ソノ不審、外務大臣モアラヌガ、是ハ誰ノ戰功アル、今ノ行政官獨リノ勳功デテ、之ニ爵位ヲ進メル、マア何ト云フコトデアルカ、物ノ失策、國ノ耻辱ヲ遺シ、病氣ヲ病氣トシ、公事職務ガ勤マラナイノモ耻トセズ、廉耻ヲ知ラズ、此者ヲシテ厚ク遇スルト云フニ至ッテハ、一體日清ノ戰功——日清ノ戰功ハ、是ハ誰ノ戰功アル、國民ノ戰功アル、今ノ行政官獨リノ勳功デハナイ、殘ラズ國家擧ゲテノ勳功アルノアル、其勳功ヲ分配スルヤ、宜シク公平デナケレバナラヌノアル、失策ヲシタ、國辱ヲ與ヘタ人間ガ勳章ヲ取ルナラバ、誰カ侯伯タラザルモノハナカラバ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ廣ク言フヤウデゴザイマスケレドモ、衆議院議長、副議長ニ何カ賜シト云フコトハ何ノ事アル、何故賜ルナレバ伊藤總理ト議長ト同ジニ之ヲ取扱ハナリノデアルカ、衆議院何ガ失策ガアル、國民ノ代表者何ガ失策ガアル、伊藤ノ功ト云フノデハナイ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ侯爵大勳位ニ爲シタノアル、代表者ノ力、木偶デモ、木像デモ、此代表者ト云フカラ取ル、伊藤老イタリト雖モ、楠本議長木偶ナリ、伊藤木偶ナリ、楠本議長木偶ナリ、伊藤モ總理ノ椅子ヲ踐シテ居ルカラ、即チ代表者デ定メテドツチヲ賢明ト云ヘバ、雙方賢明ト謂ハナケレバナラヌ、同ジ人ヲ何故侯爵ニシナイカ、降ツテモ何故島田三郎ヲ伯爵ニシナインアル、分ツタ話デアル、是ハ私ガソレダケ譯ノ分ラヌ政府デハナカラウト思フノアル、是ニハ味ノアル話ダラウト思フ、今日皮肉ヲ許イテヤル、是ハサウスルコトハ心得テ居ルケレドモ、之ヲ一度ニ遣シテ往ケナイカラ、二度ニ遣ル、二度ニ下グル、其間ニ恩恵ヲ賣ッテ、間ガアレバ私恩ヲ賣ッテ、サウシテ侯爵ト伯爵ニシヤウト——一度デハ生捕レナイカラ、殘シテ置イテ二度目マデニ二人ヲ生捕ラウ、其手ヲ喰ウト云フ所ノ楠本君、島田君デナインアル、其手ヲ喰フ人バカリ多イカラ、矢張喰フト思シテ残シテ置イタケレドモ、ソレハ往ケナイ、早速侯爵ト伯爵ニシナケレバナラヌノアル、其位ノ事ハ知ッテ居ル、ソレデモ彼等ハ却テ失策ガアリ——失策ガアリ、國ニ耻辱ヲ與ヘタノアル、ソレニアル以上ハ其上ニシナケレバナラヌノアル、一步、一段上ニシナケレバナラヌ、先ヅ假ニサウ云フコトヲ功ヲ論ズルノニ、功ヲ差引ヲシテ惡事ヲ言フノハ、先ヅは宜クナイトシタ處ガ、幾ラマケタ處ガ、總理大臣ダケノ位置ヲ踐マセナケレバナラヌノアル、是ハ唯一場ノ話トシナ

テ、前ノ仕事ヲ爲スコトニモ從事ヲシタコトデアリマス、此者ヲシテ治安妨害、風俗壞亂ノ虞アルト云フニ至ラテハ、非常ナ事がナケレバナラナイ——非常ナ事がナケレバナラナイ、斯様ナ者ヲ、斯様ナ有功者ヲシテ——斯様ナ有功者ヲシテ、僅カ己ガ氣ニ喰ハナイカラシテ——萬一己レガ氣ニ喰ハナイカラシテ、治安妨害、風俗壞亂ノ虞ガアル杯ト云フ、斯ウ云フコトヲスルノハ即チ治安妨害、風俗壞亂ナノデアル、ドウモ私ハ孰ガ治安妨害、風俗壞亂デアルカ分ラナイ、領事ノ方ガ或ハ治安妨害、風俗壞亂デハナイカト思フデ、斯ノ如ク有爲、役ニ立ツ人間ヲシテ、ヤクランニ科人ニスルニ至ラテハ、實ニ困ラタ話デアル、更ニ政府ノ側ノ人々ハドウデアル、外國公使杯ト云フモノハ、實ニ他ノ公使ハ措イテ、佛獨露此ニ往ツテ居ラタ所ノ公使杯ハ、捕モ拘シテ間拔ケナ譯デゴザイマシタ、昨年杯ト云フモノハ——サウシテ是ハ即チ風俗壞亂、治安妨害ノ公使デアルカラ遼東ヲ奪ハレタ、コイツモ風俗壞亂デアルノダ、今又朝鮮在留ノ人がドン々殺サレテ、之ヲ一向ニ無頓著デアルト云フコトハ、治安妨害此上モナインデアル、國ヲ賣ツタト言フタナラバ言葉ガ不穩當デアルダラウ、一番朝鮮ニ就キ、遼東ヲ還付スルニ就イテモ、尤モ神經的如何ニ好意ガアルカハ知レナイガ、表面ニ現レタ處デハ憎イ露西亞デアル、彼ニ如何ナル好意ガアツテモ、形ニ現レタ處ニ於テハ許スベカラザル敵デアルノダ、此露西亞ニ御世辭ハ使ヒマスマイガ、餘程御世辭者ト見エテ、近頃ハ勳章、御褒美ガ來タ、是ガ出テ欣喜、喜色面ニ溢ル、斯ウ意氣地ナシガ即チ風俗壞亂ト云フモノデアルノダ（拍手起ル）無罪ノ商人ヲ退去ヲ命ズ、是ニ就イテハ相當ナル立派ナル辯解ガナケレバナラヌカラシテ、之ヲ承ルノデゴザイマス、以上十二通ノナンデゴザイマス、中ニハ落チタノガアルカモ知レマセヌ

○議長（楠本正隆君）豫算委員會ノ報告ヲ致シマス
○星亨君（八番）豫算委員會ノ報告ヲ致シマス
○議長（楠本正隆君）星亨君

（星亨君演壇ニ登ル）

○議長（楠本正隆君）豫算ニ就イテノ報告ガアリマス
○星亨君（八番）是ヨリ豫算委員會ノ結果ト經過ヲ御報道致シマス、總豫算追加ガ發丑ト云フノガ總豫算追加ニ爲ル、ソレカラ丙丁——特別會計ハ丙丁デゴザイマス、ソレニモウソノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スルト云フ議案、此五ニ就イテ御報道致シマス、ソレデ其總豫算ト特別會計トハ各聯關シテ居リマスカラ、總豫算ノ發ト云フノト、特別豫算ノ丙トヲ御報道致シテ、ソレニ次イデ又豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約、之ヲ御報道致シ、其次デハ總豫算ノ丑ト云フ方ト、特別會計ノ丁、之ヲ同時ニ御報道致セバ宜カラウト考ヘル、第一ニ總豫算ノ即チ癸、特別豫算ニ於テ丁、是ハ昨日會議ヲ開キマシテ、昨日直チニ議了致シマシタノデアル、是ハナンデアルカラト云ヘバ、此帝國大學ニ於テ冶金科、冶鐵トカ、鐵工鋪ルコトノ學科ガアルサウデアリマス、ソレヲ教授スル人ガ目下足リナクナシテ、缺員ニ爲ツタカラ、ソレヲ補ハナケレバナラヌ、然ルニ今迄是が遅クナカタ理田ハ、今マデハ野呂博士ト云フ人ガ此科ヲ持ツテ居ラレタサウデ、然ルニ如何ナル譯カ拘留ト爲ツタノデアル、ソレデソレガ濟メバ矢張前ノ通ノ譯デゴザイマスルガ、長ク掛ルニアラウト云フコトデ、待ツテ居ラタケレドモ述モ濟ムマイ、長

ク掛ルノデアラウト云フコトデアルカラ、此會期ノ選クナカタニモ拘ラズ差出シタノアアル、而シテ若シ此治金ノ學科ヲシテ他ニ之ヲ持ツ人ガナケレバ、ソレガタメニ課業ヲ休マナケレバナラヌト云フコトニ爲リマスカラシテ、已ムヲ得ズ豫算シテ請求シタト云フコトヲスル人ハ少イ、野呂其他ゴザデアル、更ニ政府ノ側ノ人々ハドウデアル、外國公使杯ト云フモノハ、實ニ他ノ公使ハ措イテ、佛獨露此ニ往ツテ居ラタ所ノ公使杯ハ、捕モ拘シテ間拔ケナ譯デゴザイマシタ、昨年杯ト云フモノハ——サウシテ是ハ即チ風俗壞亂、治安妨害ノ公使デアルカラ遼東ヲ奪ハレタ、コイツモ風俗壞亂デアルノダ、今又朝鮮在留ノ人がドン々殺サレテ、之ヲ一向ニ無頓著デアルト云フコトハ、治安妨害此上モナインデアル、國ヲ賣ツタト言フタナラバ言葉ガ不穩當デアルダラウ、一番朝鮮ニ就キ、遼東ヲ還付スルニ就イテモ、尤モ神經的如何ニ好意ガアルカハ知レナイガ、表面ニ現レタ處デハ憎イ露西亞デアル、彼ニ如何ナル好意ガアツテモ、形ニ現レタ處ニ於テハ許スベカラザル敵デアルノダ、此露西亞ニ御世辭ハ使ヒマスマイガ、餘程御世辭者ト見エテ、近頃ハ勳章、御褒美ガ來タ、是ガ出テ欣喜、喜色面ニ溢ル、斯ウ意氣地ナシガ即チ風俗壞亂ト云フモノデアルノダ（拍手起ル）無罪ノ商人ヲ退去ヲ命ズ、是ニ就イテハ相當ナル立派ナル辯解ガナケレバナラヌカラシテ、之ヲ承ルノデゴザイマス、以上十二通ノナンデゴザイマス、中ニハ落チタノガアルカモ知レマセヌ

○星亨君（八番）豫算委員會ノ報告ヲ致シマス
○議長（楠本正隆君）星亨君

（星亨君演壇ニ登ル）

○議長（楠本正隆君）豫算ニ就イテノ報告ガアリマス
○星亨君（八番）是ヨリ豫算委員會ノ結果ト經過ヲ御報道致シマス、總豫算追加ガ發丑ト云フノガ總豫算追加ニ爲ル、ソレカラ丙丁——特別會計ハ丙丁デゴザイマス、ソレニモウソノ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スルト云フ議案、此五ニ就イテ御報道致シマス、ソレデ其總豫算ト特別會計トハ各聯關シテ居リマスカラ、總豫算ノ發ト云フノト、特別豫算ノ丙トヲ御報道致シテ、ソレニ次イデ又豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約、之ヲ御報道致シ、其次デハ總豫算ノ丑ト云フ方ト、特別會計ノ丁、之ヲ同時ニ御報道致セバ宜カラウト考ヘル、第一ニ總豫算ノ即チ癸、特別豫算ニ於テ丁、是ハ昨日會議ヲ開キマシテ、昨日直チニ議了致シマシタノデアル、是ハナンデアルカラト云ヘバ、此帝國大學ニ於テ冶金科、冶鐵トカ、鐵工鋪ルコトノ學科ガアルサウデアリマス、ソレヲ教授スル人ガ目下足リナクナシテ、缺員ニ爲ツタカラ、ソレヲ補ハナケレバナラヌ、然ルニ今迄是が遅クナカタ理田ハ、今マデハ野呂博士ト云フ人ガ此科ヲ持ツテ居ラレタサウデ、然ルニ如何ナル譯カ拘留ト爲ツタノデアル、ソレデソレガ濟メバ矢張前ノ通ノ譯デゴザイマスルガ、長ク掛ルニアラウト云フコトデ、待ツテ居ラタケレドモ述モ濟ムマイ、長

ク掛ルノデアラウト云フコトデアルカラ、此會期ノ選クナカタニモ拘ラズ差出シタノアアル、而シテ若シ此治金ノ學科ヲシテ他ニ之ヲ持ツ人ガナケレバ、ソレガタメニ課業ヲ休マナケレバナラヌト云フコトニ爲リマスカラシテ、已ムヲ得ズ豫算シテ請求シタト云フコトヲスル人ハ少イ、野呂其他ゴザデアル、更ニ政府ノ側ノ人々ハドウデアル、外國公使杯ト云フモノハ、實ニ他ノ公使ハ措イテ、佛獨露此ニ往ツテ居ラタ所ノ公使杯ハ、捕モ拘シテ間拔ケナ譯デゴザイマス、ソレデ是ハドウデアルカラト云ヘバ、詰リ治金ノヤウナ術ハ我國ニ於テハマダ不十分デアツテ、斯ウ云フコトヲスル人ハ少イ、野呂其他ゴザイマスケレドモ、野呂ハナウ云フ譯デアリ、其他ノ人ハ別ニ製鐵所ノ方ニ回ルガタメニ需要ガ多クシテ供給ガ少イト云フコトニ爲ツテ居ル、故ニ外國人ヲ雇フノ外ハナイト云フコトデ外國人ヲ雇フ、斯ウ云フコトノ豫算デアル、ソレデ總豫算ニ於テ則チソレダケノモノヲ特別豫算ニ組込ミ、總豫算ニ於テ一般豫算ニ於テソレダケノモノヲ取ツテ、サウシテ特別ノ歲出入ノ方ニ組入レル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、癸ト云フノハ唯總豫算トシテ其金ヲ幾ラト云フコトニ爲ツテ居ルカラ、支出ト收入ト合ハナイヤウニナツテ居ル、是ハ今マデ野呂ニ向ツテ與ヘタ所ノ給料ト云フモノガ收入ノ中ニ這入ルコトデアリマスカラ、收入ハ四千何ガシデモ支出ノ方ノ五千何ガシニ當ルコトニ爲デハ外國人ヲ雇フニ五千幾ラト云フ支出ニ爲ツテ居ルノニ、收入ノ方ハ四千幾ラト云フコトニ爲ツテ居ルカラ、念ノタメ其事ヲ申上ゲテ置キマス、サウシテ次ハ豫算外國庫ノ負擔トナル、是ハ即チ外國人デモゴザイスシ、一寸參ルト云フ譯ニモ往キマセスカラシテ三年間ノ約束ヲスル、サウスルガタメニ此事ヲ諸君ノ御協賛ヲ得テ置カナケレバナラヌト云フコトニ爲リマスカラ、即チ癸ト丙トサウシテ豫算外國庫ノ負擔トナル此三案ノ結果ト御報道致シマスガ、丑ハ即チ是ハ總豫算デゴザイマシテ、是ハ其所謂丁ノ方ノ特別豫算ニ於テ鐵道ノ事デゴザイマスガ、是ヲ即チ可決致セバ其鐵道ニ對シテ公債ヲ發シナケレバナラヌ、其公債ヲ拵ヘ、製造發行スルノ費用デ、總豫算ニ爲ツテ居リマス、丑ト云フ總豫算ト云フモノハ、鐵道公債ヲ發行スル所ノ證書ヲ拵ヘル事ト、サウシテ發行スル費用、之ガ即チ大藏省所管デ一万何ガント云フコトニナツテ居ル、次ニ此丁ナル特別會計ハ鐵道建築費ニ於テ福島青森、敦賀富山、ソレカラ八王子名古屋、篠ノ井鹽尻、此追加豫算デゴザイマスル、是ハ先ニ昨日協議會ノ結果ト致シマシテ、此二十八年度ノハ昨日極道致シテ、ソレニ次イデ又豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約、之ヲ御報道致シ、其次デハ總豫算ノ丑ト云フ方ト、特別會計ノ丁、之ヲ同時ニ御報道致セバ宜カラウト考ヘル、第一ニ總豫算ノ即チ癸、特別豫算ニ於テ丁、是ハ昨日會議ヲ開キマシテ、昨日直チニ議了致シマシタノデアルカラト云ヘバ、此帝國大學ニ於テ冶金科、冶鐵トカ、鐵工鋪ルコトノ學科ガアルサウデアリマス、ソレヲ教授スル人ガ目下足リナクナシテ、缺員ニ爲ツタカラ、ソレヲ補ハナケレバナラヌ、然ルニ今迄是が遅クナカタ理田ハ、今マデハ野呂博士ト云フ人ガ此科ヲ持ツテ居ラレタサウデ、然ルニ如何ナル譯カ拘留ト爲ツタノデアル、ソレデソレガ濟メバ矢張前ノ通ノ譯デゴザイマスルガ、長ク掛ルニアラウト云フコトデ、待ツテ居ラタケレドモ述モ濟ムマイ、長

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 議事日程ノ變更ハ別段御異議ナシト心得マス

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

(癸)明治二十九年度歲入歲出總豫算追加

(丙)明治二十九年度特別會計歲入歲出豫算追加
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ

○議長(楠本正隆君) 議事日程ハ變更致シマシタ、而シテ此豫算案ハ癸ノ部、丙ノ部、ソレヨリ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、皆文部省ニ關係シタル關係シタルモノデアルニ依ツテ三案ヲ合セテ決議ヲ採リマスル、三案共ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ癸、丙及豫算外國庫ノ負擔トナル契約ヲ要スルモノハ總テ確定ヲ報ジマス、次ハ丑ノ部ニ就イテ決議ヲ採リマス是ニハ御異議ゴザイマセヌカ

(丑)明治二十九年度歲入歲出總豫算追加
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 別段御動議ナクバ確定ト決シマス

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ癸、丙及豫算外國庫ノ負擔トナル契約ヲ要スルモノハ總テ確定ヲ報ジマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲ニ起債及地租制限外賦課ノ件法律案

第一條 府縣制ヲ施行セサル府縣ニ於テ臨時土木費ヲ要シ地方稅ノ負擔ニ堪ヘ難キ場合ニ於テ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ取リ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得三十箇年以内ノ償還期限ヲ定メ公債ヲ起シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但償還ノ初期ハ三年以内トスヘシ

第二條 府縣制ヲ施行セサル府縣ニ於テ臨時土木費ヲ要スル場合ニ於テ府縣知事必要ナリト認ムルトキハ府縣會ノ議決ヲ取リ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得テ地租三分一ヲ超過スル地方稅ヲ土地ニ賦課スルコトヲ得

第三條 第一條ノ借入金ヲ爲スニ當リ府縣會ノ議決ニ依リ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得テ其ノ府縣ノ備荒儲蓄金ヨリ其ノ年度初現在高ノ三分一マテ借入ルルコトヲ得但本條ノ借入金ニ對シテモ相當ノ利息ヲ拂フヘキモノトス

前項ノ場合ニ於テ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ常置委員ヲシテ府縣會ニ代テ議決ヲ爲サシムルコトヲ得常置委員ハ其ノ議決ヲ府縣會ニ報告スヘシ

第四條 第一條ノ認可ヲ得ントスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經タル公債募集ノ方法又ハ借入ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲモ併セテ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

第六條 明治二十三年法律第三號及法律第七十四號ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○議長(楠本正隆君) 質問ガナケレバ日程ノ第三、委員ノ選舉ニ移リマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○議長(楠本正隆君) 特別委員ハ吉本君ノ動議、議長指名ニ御異議ナシト認メマス、因テ其通決シマスル

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第四ニ移リマスル、重要輸出品同業組合法案第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○議長(楠本正隆君) 特別委員ハ吉本君ノ動議、議長指名ニ御異議ナシト認メマス、因テ其通決シマスル

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第四ニ移リマスル、重要輸出品同業組合法案第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第四ニ移リマスル、重要輸出品同業組合法案第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第四ニ移リマスル、重要輸出品同業組合法案第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第四ニ移リマスル、重要輸出品同業組合法案第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

○吉本榮吉君(八十二番) 議長指名……

衆議院議事速記録第四十六號 明治二十九年三月二十五日

(癸丑)(丙丁)明治二十九年度歲入歲出總豫算追加同特別會計追加豫算外國庫ノ負擔トスルモノ、地方學事通則中改正法律案第一讀會ノ續確定議外二件

七九九

第五分ノ四以上ノ同意ヲ要ス
第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニアラス
第五條 同業組合ハ法人トス
第六條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲メ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ經テ同業組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得
一府縣内ニ數箇ノ同種組合アル場合ニ於テ其ノ三分ノ二以上ノ同意ニ依リ本條ノ認可ヲ經テ同業組合聯合會ヲ設置スルトキハ其ノ府縣内ノ同種ノ組合ハ總テ加入スヘシ
一ノ組合ニシテ其ノ地區ニ跨ル場合ニ於テハ其ノ加入スヘキ
組合聯合會ハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル
第七條 同業組合ノ定款ハ組合創立會ノ議決ヲ以テ同業組合聯合會ノ定款ハ同業組合及同業組合聯合會ニ於テハ諸般ノ事項ヲ議定スル爲各臣ノ認可ヲ受クヘシ
第八條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規程ニ從ヒ之ヲ議定シ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
第九條 同業組合及同業組合聯合會ニ於テハ諸般ノ事項ヲ議定スル爲各其ノ定款ノ規程ニ從ヒ組合員中ヨリ議員ヲ選舉スヘシ
第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ諸般ノ事務ヲ處理スル爲メ各其ノ定款ノ規程ニ從ヒ役員ヲ置クヘシ
第十一條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ検査規程ヲ定メ
各組合員ノ營業品ヲ検査シ之ニ検査證ヲ附スルコトヲ得
第十二條 同業組合ノ定款ニハ違約者ニ對シ二百圓以下ノ過怠金ヲ科スルノ條項ヲ設クリコトヲ得
第十三條 同業組合ノ經費ハ組合員ニ於テ負擔シ同業組合聯合會ノ經費ハ聯合各組合ニ於テ負擔スヘキモノトス
第十四條 同業組合ノ經費ヲ納メサル者アルトキハ組合會議ノ議決ニ依リ市町村ノ收入役ニ嘱托シテ之ヲ徵收スルコトヲ得
第十五條 同業組合及同業組合聯合會ノ役員ノ就任及經費ノ豫算並ニ徵收法ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
經費ノ決算ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ報告スヘシ
第十六條 同業組合及同業組合聯合會ハ行政廳ニ建議スルコトヲ得又行政廳ノ諮詢及商業會議所ノ請求ニ應シ調査報告ヲ爲スヘキモノトス
第十七條 農商務大臣ハ公益上必要ト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ
得
二一 同業組合ヲ設ケシメ又ハ既設組合ノ地區ヲ變更セシムルコト
二二 同業組合聯合會ヲ設ケシムルコト
二三 营業品ノ検査規程ヲ設ケシムルコト
第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會又ハ其ノ役員ノ行爲若クハ組合會議及組合聯合會會議ノ議決法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ若クハ同業組合及同業組合聯合會ノ目的ニ違背スルモノト認ムルトキハ左ノ處分ヲ得

第一 東京議員ハ議員ノ全部又ハ一部ノ改選ヲ命スルコト
第二 議決ノ取消及會議若クハ行爲ノ停止ヲ命スルコト
第十九條 第四條ノ規程ニ違犯シタル者又ハ同業組合若クハ同業組合聯合會ノ検査ヲ受ケサル營業品ニ其ノ検査證ヲ附シタル者ハ偽造若クハ模倣ノ検査證ヲ營業品ニ附シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十條 本法ノ施行ニ必要ナル規程ハ農商務大臣之ヲ定ム
○議長(楠本正隆君) 御質問ナキヲ以テ進デ日程ノ第五、委員選舉ニ移リマス
○議長(楠本正隆君) 御質問ナキヲ以テ進デ日程ノ第五、委員選舉ニ移リマス
○吉本榮吉君(八十二番) 第五右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(楠本正隆君) 前同様議長指名ノ委員ニ付託スルニ御異議ナシト認メ
マスル、因テ其通決シマス
○議長(楠本正隆君) 日程ノ第七及八ヲ第六ノ上ニ繰上ゲルト云フ日程變更ノ動議ガアリマス、決議ヲ採リマス、日程ノ變更ニ同意ノ諸君ハ起立
○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス、日程ノ第六ニ移リマス、即チ北海道鐵道敷設法案第一讀會ノ續
○小畠岩次郎君(二百三十人番) 本員ハ緊急動議ヲ提出致シマス、此議事日程ノ第三十二、即チ府縣制定法案デゴザイマス、此法案ハ本院デ結了致シマジテモ、尙ホ貴族院ニ回サナケレバナラヌ案デゴザイマス、目下誠ニ急要ニ迫リテ居ル案デゴザイマスカラ、此處ニ變更致シマシテ、直チニ終了アランコトヲ望ミマス
○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス
○議長(楠本正隆君) 日程ノ第三十二ノ議案ヲ繰上ゲテ、直チニ議題ニ供シ
タイト云フ日程變更ノ動議
○議長(楠本正隆君) 閉鎖——相變ラズ記名投票ヲ用ヒマス
○議長(楠本正隆君) 小畠岩次郎君ノ日程變更ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立
○議長(楠本正隆君) 〔町田書記官氏名ヲ點呼ス〕 贊成ノ諸君
○議長(楠本正隆君) 開匣ヲ致シマスル——開鎖
○議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報ジマス

總數 百七十九

可トスル者 九十二

否トスル者 八十五

即予議事日程變更ニ決シマス

○議長(楠本正隆君) 府縣制改正法律案、——委員長多田作兵衛君

府縣制改正法律案

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○多田作兵衛君(二百一十五番) 今日ノ場合デゴザイマスカラ極簡單ニ報告致シマス、府縣制改正法律案ハドナタニモ御回シシテアリマスル通、各條ニ就イテ大分ノ修正ヲ加ヘマシタ、是等ノ事ハ大體ニ於テ少モ變更ハ致シテ居ラスノデゴザイマシテ、此法律ヲ實地ニ施行致シマスレバ、成ルベク差支ノナイヤウニト云フ所カラ、當局者トモ打合セラ致シマシテ、斯ノ如ク修正致シマシタ、此修正ノ理由ヲ一々御報道ヲ申スト云フコトデハ大分ノ時間ヲ費シマス故ニ、御質問ガゴザイマスナラバ、各條ニ就イテ御答ヲ致スコトニ申上ゲテ置キマス

○議長〔贊成々々「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長(楠本正隆君) 二讀會ヲ開クベシト云フ決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ御異議ナキヲ以テ二讀會ヲ開クベキモノト決シマス

○小畠次郎君(二百三十六番) 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定ニナラシコトヲ

○議長(楠本正隆君) 小畠君ノ動議、直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔贊成ノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ直チニ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○議長(楠本正隆君) 朝讀ヲ省略致シテ、委員會ノ修正案ヲ議題ト爲シマス、而シテ……

○吉本榮吉君(八十二番) 全部ヲ議題ニ付セラレンコトヲ

〔贊成ノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 第一章ヲ以テ先づ議題ト爲シマス

○議長(楠本正隆君) 第一章ハ御異議ゴザイマセヌカ

〔工藤行幹君「盲判ダ盲判ダト呼フ」〕

○議長(楠本正隆君) 第一章ヲ以テ先づ議題ト爲シマス

○議長(楠本正隆君) 「括シテト呼フ者アリ又「異議ナシト呼フ者アリ」」

○議長(楠本正隆君) 第一章ハ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ第一章ハ委員會ノ修正通決シマス

〔「全部ヲ括シテ議題ト爲スヘシト呼フ者アリ」〕

○議長(楠本正隆君) 此案ニハ別段贊成、反對ノ通告モアリマセヌ、因テ以下ハ全部ヲ以テ議題ト爲シマス

〔豊田文三郎君「ソシナ馬鹿ナ事ハアルモノカ、一遍モ讀ンダカ」ト呼フ〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ノアル處ハ御發議ヲ請ヒマス

〔「異議ナシト呼フ者多シ」〕

即予議事日程變更ニ決シマス

○議長(楠本正隆君) 府縣制改正法律案、——委員長多田作兵衛君

府縣制改正法律案

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○議長(楠本正隆君) 〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長(楠本正隆君) 別段御異議モナシ、因ツテ全部ヲ委員會ノ修正案通ニ決定シテ宜シウコサイマスカ

○議長(楠本正隆君) 〔「異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長(楠本正隆君) 草刈君ノ動議、直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 〔「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長(楠本正隆君) 然ラバ直チニ三讀會ヲ開キマス

第六 北海道鐵道敷設法案(貴族院提

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○福田久松君(八十四番) 私カラ御報道致シマス、因テ該案ノ確定ヲ依託ヲ受ケマシテ前後三回ノ委員會ヲ開キマシテ、即チ其結果ニ依テ諸君

ノ御手許ヘ差上ゲマシタ通ノ議決ヲ致シマシタ(即チソレハ唯九條デ、一箇條加ヘルト云フダケノ決議デゴザイマス、其他ハ總テ貴族院カラ回付ニナリマシタ通ノ議決ヲ致シマシタ、ソレデ委員會ノ大體ノ模様ヲ申上ゲマスガ、此九條ヲ加ヘルト云フ御説ガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ、私設鐵道ニ許ス場合ニハ相當ノ利子ヲ附スルト云フ御説ト、二ツシカ出マセヌデス、ソレデ此第九條ヲ入レルト云フダケノ説ハ多數ヲ得マシテゴザイマスガ、相當ノ利子ヲ附シタルト云フ御説ニハ多數ノ贊成者ガゴザイマセヌ、是ハソレマデニハ心配スルニハ及ブマイ、ソレハ政府ノ心得モアラウシ、其時ノ經濟社會ノ又模様モアラウ、ソレマデニハ此法律デ立入ラヌデモ宜カラウト云フ御趣意カラ、過半數ノ贊成ガゴザイマセヌ、ソレテ右ノ通ニ委員會ハ決シテゴザイマス、勿論此案ハ一寸シタ案デゴザイマスルガ、免ニ角ニ百万圓ノ公債ヲ募ルト云フ案デ有ツテ居リマスカラ、案ハ一寸シテハゴザイマスルガ、經濟市場ニ非常ノ關係ヲアルニ依リ是ハ讀會ヲ省略シテ決議シタ方ガ議事ノ進行上便利ダラウト思ヒマスガ

○議長(楠本正隆君) 此案ハ貴族院ヨリノ送付ニシテ、委員會ノ修正ハ此案ノ末ニ新ナル一條ノ插入ガアルノミデゴザイマス、因テ時日モ切迫ノ際デアルニ依リ是ハ讀會ヲ省略シテ決議シタ方ガ議事ノ進行上便利ダラウト思ヒマスガ

第三讀會

○議長(楠本正隆君) 此案ハ貴族院ヨリノ送付ニシテ、委員會ノ修正ハ此案ノ末ニ新ナル一條ノ插入ガアルノミデゴザイマス、因テ時日モ切迫ノ際デアルニ依リ是ハ讀會ヲ省略シテ決議シタ方ガ議事ノ進行上便利ダラウト思ヒマスガ

北海道鐵道敷設法案(貴族院送付)

確定議

○議長(楠本正隆君) 第八條マテハ原案ノ通ニテ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

セザルモノ、タメニ此恩典ガアル譯デゴザイマスルノニ、然ルニ之ヲ「有セシト致シマスル」此藩制施行ノトキニハ既ニアッタモノ、ヤウニモ見エマスルシ、又版籍奉還ノ以後ト致シマスルト、誤ノタメニ遂ニ處分ヲ受ケマシ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ第八條マテハ原案ノ通決シマス、末尾ニ委員會ノ修正案ニ於テ新ナル一條ノ插入ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 是レ亦御異議ナキヲ以テ、委員會ノ修正通ニ決シマス、而シテ右ノ通該案ノ確定ヲ報ジマス、次ハ第七、家祿賞典祿處分法案

(小鷹狩元凱君演壇ニ登ル)

第一讀會ノ續

○小鷹狩元凱君(二百六十三番) 此案ハ昨日最後ニ出シマンタ所ノ案デゴザイマスルガ、人數ノ少數ニ爲シタガタメニ、定數ヲ缺キマシテ今日ニ爲リマシタノデ(簡單ト呼フ者アリ)勿論極簡單ニヤリマスノデゴザイマスルガ、少少修正文ガゴザイマスカラ、其事ヲ一寸一口諸君ニ御通知申上ゲテ、席デ申上ゲマスト、餘リ偏鄙ニ居リマスカラ、御分リ策ネヤウト存ジマスデ登壇致シタ譯デゴザイマスカラ、極簡單ニヤリマスデ、御聽キヲ願ヒマス、總體此本案ハ全會一致ヲ以テ贊成サレタト申シマスルコトハ、昨日申上ゲテ置キマシタガ、ソレ故ニ今日ハ此修正ニ爲シタ理由ダケヲ一寸申上ゲマス、第一條ノ明治三年九月十日藩制施行ト申シマスルノハ、此家祿賞典祿ノ處分ヲスルモノハ、藩制施行ヨリ後レマスルト云フ御考カラ此提出者ノ本員が出タ譯デゴザイマスルガ、元ト祿制ト云フモノハ彼ノ明治二年ノ六月十七日ニ諸侯ガ版籍ヲ奉還致シマシテ、ソレヨリ版籍奉還ヲ致シタ以上ハ、版土ト云フモノハ悉ク諸侯ガ朝廷へ返還ヲ致シマシテ、就イテハワマデハ臣下ト爲シテ居リマス所ノ一般士卒ト云フモノガ、残ラズ此六月十七日ニ於キマシテ、家祿ト云フモノハ一時ナクナッタ譯デゴザイマス、ソレ故ニコソ、同年ノ四月二十五日ニ彼ノ行政官ヨリノ達ガゴザイマシテ、藩主ハ是マデノ領分ノ現高ノモノハ、藩制施行ト申シマスルコトハ、大ニ是カラ一變致シマシテ、彼ノ藩政ノ適當ノ祿ヲ更ニ與ヘルヤウニト云フ、其標準ヲ立テ、アルコトデゴザイマスカラ、之ヲ明治三年ノ九月十日ノ藩制施行ト云フコトニ致シマスルト、成ル程藩制施行ト申シマスルノハ稍、穩當ヲ缺ク譯デゴザイマスカラ唯藩ノ政ヲ施シマスル階段ノ一段落ヲ進メタ譯デハゴザイマスルガ、此祿ト申シマスルモノハ其以前ニ既ニ制定ニ爲シタ譯デゴザイマシテ、又此明治三年九月十日ノ後ト致シマシテモ往々定メラレタ譯デ、強チ藩制施行ト云フ日ヲ以テ定期メルト申シマスルノハ精、穩當ヲ缺ク譯デゴザイマスカラ唯今申シ上ゲマシタ如ク此版籍奉還ト申シマスルモノニ致シマスト、明治二年九月十日前、凡ソ一箇年間ノ間ニ處分ヲ誤シタモノモ洩レナキ譯デアル、若モ明治三年九月十日藩制施行ノ後ニ致シマスルト、即チ版籍奉還後一年間程ニ於テ彼ノ處分ヲ誤シタモノト云フコトニ爲シタ譯デゴザイマス、ソレカラ版籍奉還ノ以後カラノモノト云フコトニ爲シタ譯デゴザイマスガ之ヲ「有スヘキ」ト直シマシタノハ、此先キノ第一項ニ家祿賞典祿ヲ全ク給與セザルモノト云フノガ原案ニゴザイマシテ、此第一項ニ於キマスルト畢竟家祿賞典祿ヲ全ク給與

○政府委員(曾根靜夫君) 工藤君ニ御答ヲ致シマスルガ、先づ大藏省ガ是マセラルモノ、タメニ此恩典ガアル譯デゴザイマスルノニ、然ルニ之ヲ「有セシト致シマスル」此藩制施行ノトキニハ既ニアッタモノ、ヤウニモ見エマスルシ、又版籍奉還ノ以後ト致シマスルト、誤ノタメニ遂ニ處分ヲ受ケマシ

○工藤行幹君(百十番) サウ云フ委員長ノ方ノ御見込ナレバ宜シイノデゴザイマスガ、尙ほ政府委員ニ御尋シタ、此法律が施行スレバ、果シテ此委員ノ調ベタ通四百五十万圓、六十万圓デ出來得ルヤ否ヤト云フノ政府委員ノ御話ヲ希望致シマス

○小鷹狩元凱君(二百六十三番) 是ハ前日提出者ノ深山君カラモ委シク御話ニナツタコトデアリマスガ、凡ソ數ハ四百九十万圓餘、五百万圓未満デアラウト云フコトニ爲シタ譯デゴザイマスガ、アラウト思ヒマスカラ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(曾根靜夫君) 工藤君ニ御答ヲ致シマスルガ、先づ大藏省ガ是マ

ノテ請願書ノ出マシタ數ニ就イテ、概略ノ金額ヲ計算シテ見タコトガアリマス
ノデゴザイマス、是ハ一千万以上ニ及ブト大藏省ハ認メタ、併シワレハ請願
書ニ出テ居ルモノトミニ就イテ計算シタノデアリマス、本案ハ藩制施行ノ時
ヲ起點ニシテ原案ガアリマス、處ヲ委員會ニ於テ尙ホ又遡^トテ版籍奉還ト云
フコトニ爲リマシタ故、斯ウナリマスルト云ト幾許ノ金額ニ爲ルト云フコト
ハ、決シテ其推算モ出来ナシ、是ハ非常ナ巨額ニ爲ルモノト本員ハ認メテ居
ルノデアリマス（ノウノト呼フ者アリ）

○工藤行幹君（百十番）政府委員ニ今一應御尋ラシマスガ、此家祿ノ事ニ就
イテハ第一期ノ議會以來種々請願ノアルノデゴザイマスル、ソレヲ其時ニ此
衆議院ハ或ハ至潛ト認メタ事ハ政府ニ轉送シテ居ル積デアル、然ルニ爾來政
府ハ何等ノ事モセナイト謂ハナケレバナラヌ、何モ其治績ガ見エナイカラ、
政府ハ唯て一ぶるノ中へ突込ンテ置イタラウト思ヒマスガ、果シテ何ノ詮議
モシナインデアリマスカ、又或ハ取調べテ是ダケノ分ハヤラクチャナラヌ
ト云フヤウナ見込デモ立^トテ居ルノデゴザイマスルカ、是マデ此人民ノ願出
ニ就イテ、衆議院ハ之ヲ政府ニ轉送シテ居ルモノニ對シテ、政府ハ如何ナル
取調べシテ居ルカ、其取調べノ程度ハ如何ナル場合マデ運ンテ居ルカト云フ
トノ政府ノ意思ヲ承リタイ

○政府委員（曾根靜夫君）工藤君ニ御答致シマス、至極御尤ナ御尋デアリマ
ス、政府ハ帝國議會開會以來、此復祿ト稱ヘマスル請願ニ就キマシテハ、貴
衆兩院ヨリ或ハ探擇スベシト云フ御意見ガ附イテ居リ、或ハ又採用スベシト
認メルト云フヤウナル趣意ヲ以テ添書ガ附シテアリ、或ハ其内ニハ参考トシ
テ回^ト云フ部類モアリスガ、免ニ角人民ノ休戚ニ關スル事柄デアリマス
ルカラ、政府ハアリトアラユル記録ニ就キマシテ取調べタノデアリマス、政府
ハ貴衆兩院ノ議ヲ重ズルヤ、決シテ等閑ニ附シテ居ラナイノデアリマス、審
ニ取調べテ見マシタ處ガ、何分今日ノ事態之ヲ容レル途ガナインデアリマ
ス、因テ已ムヲ得ズ政府ハ拒絕スルコトニ廟議ヲ決シマシテ、既ニ此第九議
會ニ於キマシテモ、貴族院ノ方ヨリ既ニ百件近イ此復祿ノ請願書ヲ御回シニ
ナツテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ就キマシテモ、政府ハ存在シテ居リマス
記録ニ照シマシテ、調査ヲスルダケハ調査ヲ致シ、詮議ヲスルダケハ詮議ヲ
盡シタノデアリマスケレドモ、ドウアッテモ之ヲ容レルノ途ガナイト云フコ
トニ廟議ヲ決シマシテ、サウシテ人民ニハ指令ヲシテシマヒマシタノデアリ
マス（單ニ人民ニ指令ヲシタト言ヒマシテハ、何カ貴衆兩院カラ回^トタモノニ
對シテ政府ガ指令ヲシタカト云フヤウナ御疑ガアルカモ知レマセヌガ、サウ
デハナイ、貴衆兩院ヨリは探擇スベシト云フ御意見ガ附イテ政府ヘ回レ
バ、請願人ニ於テハ最早兩院ヲ通過シタニ依^トテ、之ニ當ル金額ヲ下ダテ吳
レト云フヤウナル請願ガ、門戸ヲ更ヘタ行政部ノ方へ陸續ト請願書ガ出マス
ノデアリマス、其請願ニ就キマシテハ、政府ハ採用セヌコトニ廟議ヲ決シマ
ヘ回シテシマヒマシタ

○工藤行幹君（百十番）今一應簡短ニ承リタイ、本員等ノ見ル所ニ依リマス
ルト此家祿處分ノ事ニ就イテハ出願ガ澤山アツテ、其内ニ千差萬別デアルガ至
極尤ノヤウニ思ハレルモノモアル、或部分ニ至^トテハ同性質ノモノニシテ一
方ニハ渡シテ、他ノ一方ニハ渡サヌト云フが如キ類モアルト思ヒマス、ソレ
モ既ニ政府ニ轉送シテ居ルト思ヒマスガ、唯今政府委員ノ言フ所デハ、殘
ラズ採用ハ出來ヌト云フコトニ承^トタヤウノデゴザイマスガ、果シテ是マデ
衆議院カラ回シタモノニ廉モ採ルベキ廉ガナイト云フノデゴザイマスカ、
或ハ多數ハ採ラナイトモ、幾分カ其中ニ採ルベキ廉ガアルト云フ御見込ノモ

○工藤行幹君（百十番）尙ホ一應御尋致シマス、唯今政府委員ノ御答ニ依レ
ス、政府ハ帝國議會開會以來、此復祿ト稱ヘマスル請願ニ就キマシテハ、貴
衆兩院ヨリ或ハ探擇スベシト云フ御意見ガ附イテ居リ、或ハ又採用スベシト
認メルト云フヤウナル趣意ヲ以テ添書ガ附シテアリ、或ハ其内ニハ参考トシ
テ回^ト云フ部類モアリスガ、免ニ角人民ノ休戚ニ關スル事柄デアリマス
ルカラ、政府ハアリトアラユル記録ニ就キマシテ取調べタノデアリマス、政府
ハ貴衆兩院ノ議ヲ重ズルヤ、決シテ等閑ニ附シテ居ラナイノデアリマス、審
ニ取調べテ見マシタ處ガ、何分今日ノ事態之ヲ容レル途ガナインデアリマ
ス、因テ已ムヲ得ズ政府ハ拒絕スルコトニ廟議ヲ決シマシテ、既ニ此第九議
會ニ於キマシテモ、貴族院ノ方ヨリ既ニ百件近イ此復祿ノ請願書ヲ御回シニ
ナツテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ就キマシテモ、政府ハ存在シテ居リマス
記録ニ照シマシテ、調査ヲスルダケハ調査ヲ致シ、詮議ヲスルダケハ詮議ヲ
盡シタノデアリマスケレドモ、ドウアッテモ之ヲ容レルノ途ガナイト云フコ
トニ廟議ヲ決シマシテ、サウシテ人民ニハ指令ヲシテシマヒマシタノデアリ
マス（單ニ人民ニ指令ヲシタト言ヒマシテハ、何カ貴衆兩院カラ回^トタモノニ
對シテ政府ガ指令ヲシタカト云フヤウナ御疑ガアルカモ知レマセヌガ、サウ
デハナイ、貴衆兩院ヨリは探擇スベシト云フ御意見ガ附イテ政府ヘ回レ
バ、請願人ニ於テハ最早兩院ヲ通過シタニ依^トテ、之ニ當ル金額ヲ下ダテ吳
レト云フヤウナル請願ガ、門戸ヲ更ヘタ行政部ノ方へ陸續ト請願書ガ出マス
ノデアリマス、其請願ニ就キマシテハ、政府ハ採用セヌコトニ廟議ヲ決シマ
ヘ回シテシマヒマシタ

○深山聰悟君（二百三十番）政府委員ニ一應伺ヒマス、工藤君ノ質問ニ對シ
テ政府委員ガ答ヘラレマシタ事ヲ聽キマスルト、ドウモ今日ニ於テ之ヲ處分
ノ布告ヲ以テ、彼ノ期限後ニ至^トテハ如何ナル事情アリト雖モ採用セヌト
云フコトガ達シテアル故ニ、之ヲ採用スルコトガ出來ナイト云フヤウニ答
辯ヲセラレタヤウニ覺エマスガ、是ニ至^トテ尋^ト起サナケレバナラヌ、此途
ガナイト云フコトヲ政府委員ガ唱ヘラレルノハ、何ヲ根據トセラル、カト云
ヘバ、取りモ直サズ彼ノ明治六年ノ三十五號ノ布告、及明治九年百二十三號
ノ布告ヲ以テ、彼ノ期限後ニ至^トテハ如何ナル事情アリト雖モ採用セヌト
云フコトガ達シテアル故ニ、之ヲ採用スルコトガ達シテアルト云フコトヲ
根據トシテ言ハレルコトデアルト考ヘル、即チ此事ハ過日來此委員會ニ於
キマシテモ、政府委員ガ之ヲ根據トシテ跳付ケルノ材料ニシタノデアリマス
ケレバナラヌ、然ルニ採用シテ居ルソレハ何處デアルカト言ヘバ、彼ノ愛
知ノ如キ、居ルノデアル、其處分シタ頃末ヲ申シマシタナラバ、斯クミ
所^ト尙ホ本會ニ於テ工藤君ノ御尋ニ對シテ彼ノ說ヲ唱ヘラレテ居ル、甚ダ吾
云ハ感フ、成ル程此三十五號ノ達及九年ノ百二十三號ニ依レバ、或ハ採用セ
ヌト云フコトモ書イテアル、然ラバ其以來ハ悉ク採用シテ居ラヌカト言ハナ
ケレバナラヌ、然ルニ採用シテ居ルソレハ何處デアルカト言ヘバ、彼ノ愛
知ノ如キ、鹿兒島ノ如キ、澤山ニ之ヲ採用シテカラニ、其以後
處分シタ頃末ヲ申シマシタナラバ、斯クミ
次第ゴザイマス、即チ明治十四年一月二十五日ニ於テ、鹿兒島縣ノ即チ鹿
兒島藩ノモ

○議長（楠本正隆君）アナタノハ議論デアリマスカ、政府ニ對シテ聞クノデア
○深山聰悟君（二百三十番）決シテ議論デアリマスカ、政府ニ對シテ聞クノデア

ル、質問デアル——村田經衛外九名ニ對シテ四千三百三十圓ト云フ金ヲ渡シタ、即チ家祿誤謬處分ト云フ訂正ヲ許可シタ、ソレカラ又明治十四年ノ四月十四日同藩ノ面高俊吉外六百四十六名ノ者ヘ、十九万四千五百圓ヲ下賜シテアル、是前斷デアッテ、家祿處分誤謬訂正デアル、ソレカラ明治十四年五月二十四日ニ同藩ノ上面清次郎外五名ヘ對シテ五百圓ヲ同様與ヘテ居ル、ソレカラ明治十五年六月二十三日同藩ノ山内喜納治ト云フ者ニ六百三十五圓ト云フモノヲ下賜シテ居ル、明治十五年ノ九月六日同藩ノ鎌田宗之丞ヘ四百七十圓ト云フモノヲ處分シテ居ル、ソレカラ明治十七年三月十二日ニ同藩ノ松下矢一外二名ニ對シテ三百三十圓ヲ云フモノヲ與ヘテ居ル、ソレカラ明治十八年ノ五月一日ニ同藩ノ益満新左衛門ト云フ者ニ對シテ三百三十五圓ト云フモノヲ與ヘテ居ル、ソレカラ又高知縣ノ高知藩武市半平太外六名ノ者ニ對シテハ、明治二十二年ノ十二月ニ五十五石六斗七升ノ石高ニ對スル金祿公債證書ヲ與ヘテ居ル、尙ホ其外愛知縣ニモ與ヘテアルノテゴザイマス、澤山デアリマスカラ略シマス、是等ハ彼ノ百二十三號及明治六年ノ三十五號ト云フ達ヲ御覽ニナラヌノデゴザイマスカ、是ハ即チ此達ヲ以テ一切採用セヌト云フナラバ、此等ノ即チ處分ハ何ガ故ニシタノデアルカ、之ヲ採用シタナラバ、何ヲ以テ今日出願シテ居ル所ノ者ニ對シテ不當處分ヲ改メルコトガ出来ヌノデアルカ、彼等モ均シク臣民デアル、何ノ罪ガアッテ此處分ヲセヌノアルカ承リタイ

○政府委員(曾根靜夫君) 深山君ニ御答ヲシマスガ、如何ニモ百二十三號ノ布告發布ノ後、愛知縣、鹿兒島縣、高知縣等ニ處分ヲシタ事がアルコトハ、本員モ記録ニ依ツテ見テ居リマス、併シ此内高知縣ノ分、是ハ特旨ニ出テ居ルモノト記憶シテ居ル、ソレカラ愛知縣ノ分ハ、當時當局者ガ法律ノ解釋ヲ今日トハ異ニ致シ、其タメニ處分ニ爲シテ居ル、ソレカラ鹿兒島ノ分モ、矢張是ハ明治九年ノ百二十三號ノ布告ノアルニモ拘ラズ、當時ノ當局者ガ、今トハ法律ノ解釋ヲ異ニシテ處分ガシテアルノデアリマス

○深山聰君(二百三十番) 尚ホ一言

○議長(楠本正隆君) 是ハ如何デゴザイマスカ、答辯ノ趣意ハ能ク分リマシタト思ヒマスガ

○深山聰君(二百三十番) 特旨ト云フコトヲ聞キタイ、特旨ト云フノハドウ云フノデアリマスカ

○政府委員(曾根靜夫君) 特旨ト云フコトハ、極平々タク言セマスレバ、至尊ノ恩召ニ出テ居ルト云フコトデアル

○深山聰君(二百三十番) 然ラバ其金ハ皇室費カラデモ出テ居リマスカ

○政府委員(曾根靜夫君) ワレハ國庫ヨリ出テ居ルト思ヒマス

○深山聰君(二百三十番) ワレデハ同じ事ダ

○草刈親明君(二百三十二番) 私ハ一言御尋致シマス、此鹿兒島縣等ノ訂正處分ノコトニ就イテ、深山君ノ御問ヒニナリマシタ祿高ト云フモノハ、當局者ガ法律ノ解釋ヲ誤シタト云フコトデアル、斯ウ云フ御答ト承知致シマス

○政府委員(曾根靜夫君) 二百三十三番

○議長(楠本正隆君) 此上ハ議論ニ爲リマス、サウナラ登壇ヲ促シマス

○政府委員(曾根靜夫君) 本員ハ本案ニ對シマシテ聊カ反対ノ意見ヲ述ベマス、依ツテ御清聽ヲ煩シマス、本案ノ委員會へ本員ハ出席致シマシテ、去ル二十一日二十二日ノ兩日間ニ段々政府ガ本案ニ同意ノ出來、所以ヲ陳述致シマス、アリマス、ソレハ速記ニ爲シテ居ル筈デアリマス故、定メテ諸君ニ回ツテ居リマスガマダ回ツテ居リマセヌカ知レマセヌガ、回ツテ居リマスレバ諸君ニ於テ最早御了承ニ爲シタコト、承知シテ居リマス、餘リ長イ事ハ申シマセヌガ、本案ニ對シマシテハ政府ハ絶對的ニ反対ヲ表明致シマス、ナゼ政府ガ本案ニ對シテ絶對ニ反対スルカト云ヘバ、ドウアッテモ本案ハ實際執行ノ出來ヌモノト見テ居ルノデアリマスガ、前ニ工藤行幹君ヨリ御質疑ノ時分ニ一調ヲ致シテ見タノデアリマスガ、何分今日ノ事態之ヲ容レルコトガ出來ナシ、應申述ベマシタ通り、元ト此案ト云フモノハ段ニシテ國議會開會以來貴衆兩院ニ復祿ト唱ヘル請願書ガ出マシテ、ソレニ起因シテ帝國議會開會以來爲シタラウト本員ハ考ヘマスガ、此事ニ就イテハ政府ハ盡スダケノ詮議ヲ盡シ、種々取調ヲ致シテ見タノデアリマスガ、何分今日ノ事態之ヲ容レルコトガ出來ナシ、此本案ノ提出ニ爲シタ理由書ヲ讀ンデ見マシテモ、凡ツ御精神モ分ツテ居リマスガ(深山聰君)百二十三號ノ釋解ヲ過ツテ居ル政府委員ハ止メタマヘト呼フ又「貴重ノ時間ダ窮シタ答辯ハ止メタマヘト呼フ者アリ」暫ク御聞キ下サイ、ドウアッテモ政府ハ本案ニハ反対ヲシナケレバナラヌ理由ト云フモノハ、之ヲ實行スルコトガ出來ヌト云フノガ一ノ理由デアリマス、モウ

○政府委員(曾根靜夫君) 草刈君ニ御答ヲ致シマス、本員ハ法律ノ解釋ヲ異

ニシテ居ツタト御答ヲ致シタノデアリマス、深山君ニ對シテ法律ノ解釋ヲ誤シトハ申シマセヌ

○草刈親明君(二百三十二番) 法律ノ解釋ヲ過ツタト言フモ、異ニシタト言フモ、今ノ政府カラ見タラ同ジテアリマセウ、法律ノ解釋ヲ異ニシテ、サウシテ誤シタ仕事ヲシタ、ソレニ法律ノ解釋ヲ異ニシテ誤シテ處分ヲシタノモ同ジ事デアル、少シク責任ヲ有シテ御答ニナルコトヲ望ミマス、餘り無責任ダ

○重野謙次郎君(二百三十九番) 私ハ贊否ニ苦ミマスカラ、一言御問シタガ、深山君カラノ御話ト、委員長ニ代ツテノ報告ヤ何カデ稍々分ツテ居リマシタガ、今ノ御答辯ニ依リマスト、家祿復祿ヲ下ゲルト云フコトハ、法律ニ依ツテ請願ヲ容レナイト云フコトニナルダラウト思フ、元ト此請願ト云フモノハ、臣民ガ特有ノ權利デアル、又政府之ヲ許否スルノハ、法律ニ依ツテ許否スルモノデアルト云フコトハ明デアルト思フ、然ルニ今ノ御答ニ依ツテ見ルト、特旨ニ依ツテ下ゲルト云フコトガ出來ルノデアル、斯ウ云フコトデスカ、特旨ト云フコトハ、一體ドウ云フコトデスカ、私ハ今マテ考ヘタ所デハ、政府ハ下ゲナイト云フノハ法律上當籍マラヌノデアルト云フコトデアッタト思フ、然ルニ特旨ニ依ツテ下ゲルト云フコトニ爲ルデアリマスカ、否スルモノデアルト云フコトハ明デアルト思フ、然ルニ今ノ御答ニ依ツテ見ルダケノコトデ、將來ニ向ツテサウ云フコトヲスルカト云フ御尋デアリマスレバ、ソレハ今日ハ法律ノ在ル以上ハ法律ニ依ツテ致シマスケレドモ、特旨ト云フコトハ本員ガ答辯ノ限デナインデアリマス

○政府委員(曾根靜夫君) 重野君ニ御答シマスガ、高知ノ分ノ武市半平太其他七八名ノ者ト覺エテ居リマス、是ハ非常ナ勤王家デアリマシタ故、其當時思召ヲ以テ復族、復祿ト云フ處分ガシテアルト云フコトハ、記録ニ依ツテ見常ノ勤王家デアルガ故ニ特旨ヲ以テ復祿ノ處分ヲナシタ云フ其言葉カラ考ヘテ見レバ、今日復祿ノ請願ヲシテ居ル者ハ悉ク逆賊ト認メルノデアリマスカ、其中ニハ勤王家ハ一人モナイト云フノデスカ

○議長(楠本正隆君) 此上ハ議論ニ爲リマス、サウナラ登壇ヲ促シマス

○政府委員(曾根靜夫君) 本員ハ本案ニ對シマシテ聊カ反対ノ意見ヲ述ベマス、依ツテ御清聽ヲ煩シマス、本案ノ委員會へ本員ハ出席致シマシテ、去ル二十一日二十二日ノ兩日間ニ段々政府ガ本案ニ同意ノ出來、所以ヲ陳述致シマス、アリマス、ソレハ速記ニ爲シテ居ル筈デアリマス故、定メテ諸君ニ回ツテ居リマスガマダ回ツテ居リマセヌカ知レマセヌガ、回ツテ居リマスレバ諸君ニ於テ最早御了承ニ爲シタコト、承知シテ居リマス、餘リ長イ事ハ申シマセヌガ、本案ニ對シマシテハ政府ハ絶對的ニ反対ヲ表明致シマス、ナゼ政府ガ本案ニ對シテ絶對ニ反対スルカト云ヘバ、ドウアッテモ本案ハ實際執行ノ出來ヌモノト見テ居ルノデアリマスガ、前ニ工藤行幹君ヨリ御質疑ノ時分ニ一調ヲ致シテ見タノデアリマスガ、何分今日ノ事態之ヲ容レルコトガ出來ナシ、此本案ノ提出ニ爲シタ理由書ヲ讀ンデ見マシテモ、凡ツ御精神モ分ツテ居リマスガ(深山聰君)百二十三號ノ釋解ヲ過ツテ居ル政府委員ハ止メタマヘト呼フ又「貴重ノ時間ダ窮シタ答辯ハ止メタマヘト呼フ者アリ」暫ク御聞キ下サイ、ドウアッテモ政府ハ本案ニハ反対ヲシナケレバナラヌ理由ト云フモノハ、之ヲ實行スルコトガ出來ヌト云フノガ一ノ理由デアリマス、モウ

一ツ……

〔窮シタ答辯ハ止メ給へト呼フ者アリヤリ給ヘト呼フ者アリ〕
○議長（楠本正隆君）成ルタケ静肅ヲ要シマス

○政府委員（曾根靜夫君）明治六年ノ三十五號、九年ノ百二十三號布告ト云
フモノハ決シテ今日之ヲ廢止スベキ必要ハナイト思ヒマス

〔深山聰悟君頭ノ禿ゲタ無能力者ハダメダト呼フ〕
○議長（楠本正隆君）静肅ニナサラナケレバイケマセヌ

○政府委員（曾根靜夫君）ナゼ政府ガ本案ニ反對シ、又實行ガ出來スト云フ
コトハ一通り祿制ノ沿革ト云フモノヲ諸君ノ御清聽ニ入レタイト存ジマス、
諸君ニ於テモ御承知ニ爲シテ居リマセウガ、抑此祿制ノ改革ト云フモノハ
止メロト呼フ者アリ謹聽々々ト呼フ者アリ〕
奉還致シマシテ……

〔ダメダ止メロト呼フ者アリ〕
〔ダメダ止メロト呼フ者アリ〕
○議長（曾根靜夫君）諸君、言語ノ上ニ於テ敬意ヲ失ハヌヤウニ願ヒマス

○政府委員（曾根靜夫君）先づ成ルベク御静聽ヲ願ヒマス、明治二年ノ六月
各藩ガ版籍ヲ奉還シマシテ、藩知事ト云フモノニ爲リマシタ、藩知事ト爲リ
マシタケレドモ、其時ト云フモノハ此各藩ノ藩士ノ祿ト云フモノニハ少モ手
ヲ著ケテ居ナイ、矢張舊來ノ儘テ居ッタノデアリマス、決シテ版籍奉還ノタ
メニ各藩ノ士族ノ秩祿ノ増減ノ事ハ手ガ著イテ居ラヌノデアル、又此權限モ
各藩ノ知事ト云フモノニ委任シテアッタノデアリマス、ソレカラ越テ明治三
年ノ九月十日ニ藩制施行ト云フコトガアリマス、是ハ御承知ノ通リ藩制施行
ト云フコトハアリマシタガ、其第六項「功アフテ祿ヲ増シ罪アツテ祿ヲ褫キ
及ヒ一切ノ死刑ハ朝裁ヲ請フヘシ」斯ウ云フコトガアリマスニ依リ、明治三年
ノ藩制施行ト云フトキニ賞罰ニ依リテ祿ヲ増減スルト云フ權限ハ中央政府ニ
移ツタノデアリマス、ケレドモ、其他賞罰ニ依ラザル祿ノ増減ハ依然トシテ各
藩ノ藩主ノ權限ニ委任シテアッタノデアリマス、其翌年即チ明治四年ノ七月
十四日ニ至ツテ廢藩置縣ト云フコトガアル、是ハ諸君モ御承知ノ通、明治ノ
歴史ニ於テ一大變革デアル、此時ニ當リマシテ始テ各藩ノ各士族ノ秩祿ト云
フモノヲ中央政府ハ引繼フ受ケタノデアリマス、ソコデ廢藩置縣ニ至ツタ故
ニ中央政府ト云フモノハ各藩ヨリ引繼フ受ケテ、サウシテソレ支給ノ
途ヲ立テナケレバナリマセヌカラ、各地方官ヘ命ジ明治四年七月二十四日太
政官ヨリ布告ヲ發シテ、サウシテ各藩ノ士族ノ祿高ト云フモノ、調査ヲ爲シ
士族ノ祿高ト云フモノ、調査ニ著手致シタ、之ガ即チ今日大藏省ニ存在シテ
居ル各藩士族ノ祿高帳ナルモノデ、是ヨリ以前ノ祿ニ關スル記録ト云フモノ
ハ中央政府ニハ一切無イノデアリマス、斯ウ云フ次第ニ爲シテ居リマスニ依
リ、本索ノ通或ハ藩制施行ノ時ヲ起點ニシ、若クハ當デアル、是ハ不當デアル
ル記録ト云フモノハ一モナインデアリマス、假ニ此本案ヲ實行スルト致シタ
所ガ、其祿高ハ各藩ノ士族ハ幾許取シテ居シマラ、ソレヲ支給セヌノハド
ウ云フ次第ニ支給セヌノヤラ少モ分ラナイ、即チ各藩知事ノ適宜ノ處分ニ任
カシテ居タノデアル、斯ウ云フ次第ニ支給セヌノヤラ少モ分ラナイ、即チ各藩
シタ所ガ、各藩知事ノ腦髓次第二、或ハ増シモシ、或ハ減ラシモシテ居シマ
リ、本索ノ通或ハ藩制施行ノ時ヲ起點ニシ、若クハ當デアル、是ハ不當デアル
ル記録ト云フモノハ一モナインデアリマス、假ニ此本案ヲ實行スルト致シタ
所ガ、其祿高ハ各藩ノ士族ハ幾許取シテ居シマラ、ソレヲ支給セヌノハド
ウ云フ次第ニ支給セヌノヤラ少モ分ラナイ、即チ各藩知事ノ適宜ノ處分ニ任
カシテ居タノデアル、是ハヤルベキモノデアルト云フ調査ヲシヤウト
言タム所ガ、決シテ是ハ出來マセヌ譯デアルノデアリマス、斯ウ云フ次第ニ

アリマス故、ドウシテモ本案ハ執行スル途ガナイ、執行スル途ノナイモノハ
同意ヲ表スルコトハ出來マセヌノデアリマス、是ガ即チ本案ニ反對スル要領
デアリマス

○首藤陸三君（二百七番）今到底調ガ付カナイト云フ御演説デアリマシタ
ガ、愛知縣其他ノ諸縣ノ舊士族ニ金祿ヲ下渡サレタトキハ、何ノ證據ニ據ツ
タノデアリマス、縱令政府委員ノ言ハレル通、當時解釋ヲ異ニサレテアッテ
モ、何カ原簿ガナケレバ愛知縣ノ士族ニ向ツテ三十餘万圓ト云フ所ノ金祿公
債證書ヲ下渡サルベキ筈ガナインデアル、果シテ政府委員ノ言ハレタ通、到
底今各地ノ請願書——士族ヨリ貴衆兩院へ提出シタ所ノ請願書ハ、悉ク採ル
ベキ所ノ帳簿ガナイト云フ御説明ノヤウニ承リマシタガ、果シテ左様デアリ
マスカ、且ツ愛知縣其他ノ諸縣ニ下渡サレタノハ、ドウ云フ帳簿ニ依リテ下渡
サレマシタカ、吾ミノ信ズル所ニ依ルト、愛知縣ノ士族ニ三十餘万圓ト云フ
モノヲ下ゲタト、元ト同一ナル種類ノモノガアツテ、ソレ等モ今日請願ヲシ
テアルノデアリマス、何ノ帳簿ニ依リテ下渡サレタカ、明確ナル御答ヲ得
タイ

○政府委員（曾根靜夫君）帳簿ハ一切無イノデアリマス、其當時處分シタノ
ハ、彼ノ申立ヲ信用シテ處分シタコト、見エマス

〔探決ト呼フ者アリ〕
○直原守次郎君（七十九番）唯今ノ御演説ニ就イテ一寸御質問申上ゲマス
ガ、政府ガ此案ヲ防グノハ、唯執行ガ出來ナイト言フノデアリマスカ、或ハ
其途ガナイト云フノハ、是マデノ法律ニ抵觸スルト言フノデアルカ、或ハ今
日ノ事態ガ許サヌト言フノデアルカ、其要點ヲ承リクイ

○政府委員（曾根靜夫君）御答シマスルガ、今日ノ法律云々ト云フコトハ、
苟モ今日諸君ガ法律ヲ御立案ニナル權限ヲ御持チニ爲シテ居ル以上ハ、此席
ニ於テ申シハ致シマセヌ、申シハ致シマセヌガ、此處ヘ提出ニ爲シテ居リマ
ス案ガ、縱シ本院ヲ通過致シマシタ所ガ、決シテ是ハ執行スルコトノ出來ヌ
法案ト政府ハ見テ居ル、ソレ故ニ反對スルノデアリマス

〔採決ト呼フ者アリ〕
○議長（楠本正隆君）最早諸君ノ質問モ盡キタリト認メマス、因テ……
○工藤行幹君（百十番）私ハ少シ意見ヲ述ベタイ、モウイケマセヌカ

○議長（楠本正隆君）前ニ述ベタル理由ニ依リ此案モ亦讀會ヲ省略シタ方ガ
宣シカラウト思ヒマスガ、如何ゴザイマスカ

〔異議ナシ〕
○議長（楠本正隆君）讀會省略ニ御異議ナシト認メマス、因テ讀會ヲ省略シ

テ決議ヲ採リマス
○工藤行幹君（百十番）少シ私ハ是ニ就イテ意見ヲ述ベタイ
○議長（楠本正隆君）一寸御待チナサイ、愈々質問ガ濟シテ……
○工藤行幹君（百十番）此案ノタメニ私ハ惜ムベキ事ガアルカラ一言申シタ
イ
○議長（楠本正隆君）此場合、討論終局ト云フ御方ガアルガ、未ダ討論ガナ
イノデアル、討論ガナイ前ニ終局ノシヤウガナ——工藤行幹君
○工藤行幹君（百十番）私ハ極ク簡單ニ申シマス

家祿賞典祿處分法案

確定議

○草刈親明君(二百二十二番) クレナラ私モ賛成ノ通告ヲ……
 ○工藤行幹君(百十番) 此提出者ニ對シテ私ハ御忠告ヲ申スノデアル、私ハ
 此案ニ絕對的ニ反対デハナイ、誠ニ是マデノ出願者ノ所ヲ見レバ、至極御尤ナ
 事モ往々アルノデゴザイマス故ニ、私が此趣意ヲ徹底シタイカラ之ヲ御忠告
 申スト云フノデ、其御忠告ノ要點ハ、之ヲ延シタドウデアラウカト云フノ
 デアル、ト云フノハ政府ト此提出者ト極端カラ極端ニ趨クテ居ルノデゴザイ
 マス、何故ナレバ政府ハ絕對的ニ誤ツメモノマデヤラヌト云フノハ、實ニ不
 當極シタ事デアル、又委員會ニ於テ版籍奉還後ト云フコトハ、ドウモ私ノ
 考テハ是カラ以後ト云フコトハ、實ニ實際ニ行ヒ難イト云フヤウナコトガア
 ルダラウト思フノデゴザイマス、ソコデ此多クノ中ニ是ミノ者ハヤル、是
 是ノ者ハヤラヌト云フ、此區別ノ事ハ餘程調査シテ掛ラナケレバ、玉石混淆ス
 ルヤウナ譯ニ爲ルダラウト云フコトヲ私ハ憂フル、今ヤ會期將ニ明日ヨリナ
 イト云フトキニ、政府ハ斯ノ如ク絶體的ニ反対シテ居ルモノヲ、貴族院デハ
 ドウナルカ知レナイケレドモ、之ヲ否決セラレテ見レバ、一般ノ請願者ノ不
 幸申スマデモナイ、今此處デ一日ノ中デ之ヲ否決セラレタ所ガ何ニモナラヌ
 カラ、斯ウ云フ切迫ノ時ニアラズシテ、之ヲ吾々ハモウ少シ調査シテ、此次
 ノ會期ニ於テ能ク此期限ノ立テ方杯ハ餘程能ク注意シテ掛ラナクテハナルマ
 イ、或ハ此二年ノ九月十日藩制施行以後ト書クノモアリ、版籍奉還ト云フヤウ
 ウナコトニ爲フタラバ、最モ困難ヲ極メルダラウト思フ、是ハ極端カラ極端
 ニ趨クテヤツテハ、却テ請願者ノ本意ニモ反キ、一體ノ人情ニモ反クモノデア
 ルカラ、モウ少シ之ヲ提出者ハ御見合セニナラ宜カラウト云フコトヲ私
 ハ忠告スル、併ナガラソレモ出來ヌト云フナラバ、私ハ已ムヲ得ズ反対致ス
 ノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 工藤行幹君ノ意見ハ、決議ヲ延期シタイト言フノハ何
 時マデノコトデスカ

○工藤行幹君(百十番) 迪モ此會期ハイケナイカラシテ、之ヲ引イテシマッ
 テサウシテ……

○議長(楠本正隆君) 然ラハ、アナタノハ本案ニ對スル一ノ反対説ト心得マ
 ス——決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ修正案ヲ以テ決議ヲ採リマス、全部委員會ノ
 修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認マス、因テ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報
 紹——關信之介君

第八 明治二十七年法律第十二號中 第一讀會ノ續(特別委員)

(長報告)

○關信之介君(百十四番) 諸君、私ハ委員長ニ代リマシテ明治二十七年法律
 二十號改正案ニ關スル委員會ノ經過及其結果ヲ御報道致シマス、本案ニ就キ
 マシテハ本月二十一日ノ午前九時ヨリ委員會ヲ開キマシテ、委員長ニハ多田
 作兵衛君(理事ニハ村上芳太郎君ガ當選致サレマシタデゴザイマス、然ルニ
 最早議會閉會ノ期モ目曉ニ追テ居リマスル故ニ、同日午後一時ヨリ更
 ニ會議ヲ開キマシテ、提出者ニ向ヒ又政府委員ニ向ヒテ交質問ヲ爲シタ結
 果同日議了スルコトが出來マセヌデ、其翌二十二日ハ日曜日ナルニモ拘ラ

ズ午前九時ヨリ會議ヲ開キマシテ、直ニ審議討論ノ末大多數ヲ以テ修正案
 如ク可決致シマシタル次第ゴザイマス、此委員會ガ此修正案ヲ満場一致ヲ以
 テ可決致シマシタルニ至リマシタル所ノ理由ヲ、之ヲ聊カ申上げマスルノハ甚
 ダ必要ノ事ト考ヘマス、ナゼナレバ先刻曾根政府委員ハ他ノ是ト殆ド類似シ
 テ居ル所ノモノニ向クテモ非常ナル反対ヲ致シマシクガタマニ、此案ニ向クテ
 モ反対ヲ致スニ相違ナイト思ヒマス、故ニ吾々委員會ガ此案ヲ賛成致シマシ
 タ理由ヲ簡單ニ述ベマスル元來此法案ト云フモノハ、明治二十二年勅令第十
 二號大赦ノ恩典ヲ全タカラシメントスルモノデゴザイマス、之ヲ詳言致シマ
 スレバ、帝國議會開會以來彼ノ勅令第十二號大赦令ニ依リ恩典ニ浴シマシ
 タ所ノ士族ガ、其族ニ伴フ祿ニ代フル所ノ公債證書ヲバ下付ヲ請ヒ、而シ
 テ大赦ノ恩典ヲ全カラシムルコトヲ希望スト云フモノト云フモノト請願ト云フモノ
 ハ、帝國議會開會以來今日ニ至ルマデ陸續當院及上院ニ參ツテ居ル次第ア
 リマス、而シテ此上下兩院ニ於テハ、此請願ハ理由アルモノト認メマシテ悉ク
 採擇シ、且ツ前期議會ノ如キニ至ラテハ政府ハ唯本院及上院ノ懇望ヲ採納シテ
 提出スルニ至リマシタル次第ゴザイマス、然ルニ明治二十七年ノ法律第二十
 二號ト云フモノハ如何ナルモノデアルカト云フト、諸君御承知ノ如ク、明治三十
 年九月十日ヲ以テ分界ト致シマシテ、明治三年九月十日以前ノ者ニハ勅令第
 二十二號ノ恩典ノ全部乃チ族ヲ復スルト共ニ祿ヲ與ヘ、又明治三年九月十日以
 ノ者ニハ族ヲ與ヘタノミデ祿ヲ與ヘナイト云フヤウナ次第ゴザイマス、
 斯ノ如キハ決シテ國家ガ大赦復權ノ者ヲ待テノ道ニ適フタモノトハ考ヘラレ
 マセヌ、故ニ吾々ハ(簡單々々ト呼フ者アリ)マア諸君ガ簡單ト云フコトデ
 アリマスカラ直グニ言ヒマス、吾々ガ此改正ヲ希望致シマシタルノハ明治維
 新後ノ臣民ハ即チ均シク王土ノ臣民デアリマシテ、大赦ノ恩典ニ浴スレバ均
 難イ事ヲ知ラシメ、而シテ此國家及吾々立法部ガ此國民ヲ待テニ就イテ偏重
 偏輕ノ處置ガナイト云フコトヲ知ラシメントスルニ外ナラナイノデゴザイマ
 ス、是カラ政府委員ノ反対シマシタルコトガ出来マシテ、彼ノ沒祿ノタメニ活路ヲ失ヒ、路頭ニ彷徨シツ、アル簪士族ヲシテ此恩典ノ有
 以テ本案ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス、且ツ又此案モ前案ト均シク讀
 會ヲ省略致シマシテ直チニ御決議アランコトヲ希望致シマス

(政府委員大藏省國債局長曾根靜夫君演壇ニ登ル)

○政府委員(曾根靜夫君) 本案ニ對シテハ、前回ニ於テ政府ハ絕對的反対デ
 申述ベマセヌガ、本案ヲ尙ホ熟覽致シマスルニ、是ハ御承知ニモ爲シテ居リ
 マス通、委員會ニ於テハ藩制施行以後ト云フモノヲ、維新ヨリ明治九年八月
 太政官第百八號布告マデノ間ニ於テ云々トスウ云フコトニ御修正ニ爲シテ居
 リマス、王政維新ト云フ其時期ト云フモノハ、思フニ是ハ徳川氏ガ大政返上
 致シマシテ間モナク太詔ノ出マシタ此時期ヲ指スコト、認メマス、又之ニ相
 違ナインデアリマス、サウ致シテ見マスルト、本案ハ王政維新ノ布告ノ出マ
 シタ時カラ明治八年ノ太政官第百八號ノ布告、即チ金祿公債證書條例ノ出マ
 シタマデノ間ニ於テ國事犯ノタメニ祿ヲ沒收セラレタル者ハ、其沒收セラレタ

當時ノ祿高ニ基イテ之ヲ處分スル、斯ウ云フ法案ニ爲シテ居リマス、左様致

シマスルト、是ハ取リモ直サズ王政維新以後ノ國事犯ノ收祿ト云フモノハ盡ク此法律ノタメニ處分換ヲシナケレバナラスト云フコトニ爲リマス、先づ重

ナル方カラ數ヘマスレバ、諸君モ御承知ノ通、奥羽兩國ノ諸侯即チ一旦滅藩ト爲リマシテ新ニ藩ヲ立テラレマシタ者、或ハ奥羽ノ列藩ノ中ニ其封土ヲ幾

分カヲ削ラレタ者、是等ノ者ハ盡ク其收祿セラレタ時ノ高ニ基イテ處分ヲスルト云フコトニ爲リマス、一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、會津ハ二十八万石デア

リマシタガ、即チ其二十八万石ノ高ヲ戻シテヤルト、斯ウ云フコトニ爲リマス、又仙臺デ言ヒマスレバ、舊ト六十有餘万石デア、一旦滅藩ニナリマシテ更ニ二十何万石ト云フモノノ新封セラレテアリマス故ニ、其沒收セラレタ高卽チ六十何万石ト云フモノニ戻シテ之ヲ處分シテヤル、斯ウ云フ注文ニ爲シテ居ルノデアリマス、蓋シ起草案者ノ精神ト云フモノハ(サウデナイ)

ト呼フ者アリ)、サウ云フ精神性デハアルマイトハ本員モ推察ハスルノデアリマスケレドモ、奈何セン法文ハサウナツテ居ル、法文ガサウナツテ居ルガ故ニ、是ガ通過致シマスレバ、其法文ニ依シテ之ヲ執行シナケレバナラス、斯ウ云フコトニ爲ル、左様ナ事が今日出來得ルモノデアリマセウカ、又爲ス必要ガアルモノデアリマセウカ、是ハ申スマデモナク諸君ノ腦裏ニ能ク分ツテ居ルコト、存ジマス、旁々政府ハ此法案ニ對シテハ、ドウアツテモ是ハ執行ガ出来マセヌト申サナケレバナラス、執行ガ出来マセヌ故ニ絶對的ニ反対ヲスル所以デゴザリマス、前回ニ於テ一應申述ベマシテ、尙ホ此事ヲ申述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ決議ヲ採ルコトニ御異議アリマセヌカ

來マセヌト申サナケレバナラス、執行ガ出来マセヌ故ニ絶對的ニ反対ヲスル所以デゴザリマス、前回ニ於テ一應申述ベマシテ、尙ホ此事ヲ申述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報ジマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ

事ヲ申述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報ジマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ

事ヲ申述ベテ置キマス

明治二十七年法律第二十號中改正法律案 確定議

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ讀會ヲ省略シマス委員會ノ修正案ヲ採リマス、委員會ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報ジマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ

事ヲ申述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報ジマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ

事ヲ申述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報ジマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ

事ヲ申述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ委員會ノ修正案通該案ノ確定ヲ報ジマス、該案モ亦前例ニ從ヒ讀會ヲ省略シテ

事ヲ申述ベテ置キマス

- 河川法案修正 目錄中第六章ノ「爭議」ノ二字ヲ削ル
第四十二條(流水若クハ敷地)ヲ「河川」ニ改ム
第六章ノ「爭議」ノ一字ヲ削ル
第五十九條削除以下條數順次繰上ゲ
第六十一條一項ノ四行中但ノ下「主務大臣若ハ」ノ六字ヲ加フ
同條二項削除
○議長(楠本正隆君) 貴族院修正ノ全部ニ就イテ同意スルヤ否ヤノ決ヲ採リ
〔贊成タクト呼フ者アリ〕
○湯本義憲君(百八十五番) 私ハ此法案ニ就キマシテ、一應此前除及其外ニ就キマシテ贊成ヲ表シタイト考ヘマス、唯今朗讀ニ爲リマシタ……
○議長(楠本正隆君) 一ノ御異議ナキヲ以テ同意ヲ爲スコトニ決シマス
○湯本義憲君(百八十五番) 然ラバ私モ贊成スルダケニ止メテ置キマス
〔全部異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(楠本正隆君) 貴族院修正ノ全部ニ就イテ同意スルヤ否ヤノ決ヲ採リ
〔贊成タクト呼フ者アリ〕
○議長(楠本正隆君) 坪田仁兵衛君(百七十番) 仁兵衛君(百七十番) 委員會ヲ開キタウゴザリマスカラ、退場ノコトヲ請ヒマス
○議長(楠本正隆君) 坪田仁兵衛君(百七十番) 羽二重検査所ニ關スル委員會ノタメニ退席ノ請求ガアリマス、御承認ヲ請ヒマス
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(楠本正隆君) 日程ハ第九ニ移リマス、帝國圖書館設立ノ建議案
小室重弘君 第九 帝國圖書館設立ノ建議案(鈴木充美君外二名提出)
〔左ノ建議案ハ朗讀ヲ經リルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕
國立圖書館ノ必要ナル論ヲ待タス古今内外ノ圖書ヲ蒐集シ國民ヲシテ其智識學藝ヲ研磨セシムルト同時ニ前代ノ藝文ヲ存留シ之ヲ後代ニ傳へ以テ徵憑スル所アラシムルハ國家要務ノ一ナルヘシ歐米諸國カ國立圖書館ヲ設ケテ其ノ規模ヲ宏大ニシ其ノ目的ヲ高遠ニシ該博周到ナル注意ヲ此ニ致ス蓋シ此ノ意ニ外ナラサルナリ本邦夙ニ東京圖書館ノ設ケアリ其ノ公衆ヲ裨益スルコト淺少ナラスト雖モ其ノ設備未タ完全ナラス其ノ規模尙ホ狹小ニシ

テ國家ノ需用ニ充ツルニ足ラス故ニ國立圖書館ヲシテ其ノ效用ヲ完カラシ
メムト欲セハ宜ク東京圖書館ヲ中央便利ノ地ニ移シ之ヲ帝國圖書館ト稱シ
大ニ其ノ規模ヲ擴張シ其ノ設備ヲ完全ニスヘシ而シテ其ノ設立ノ方法組織
及ヒ經費ノ如キニ至テハ之ヲ當局者ノ計畫ニ待タム

右及建議候也

○小室重弘君(八十八番) 是カラ述ベマス、是ハ大分講釋ヲシマスト長クナ
ル譯デゴザリマスデ、要ヲ摘ンデ是カラ申シテ置キマスガ、全體私共ガ帝國
圖書館ノ設立ヲシヤウト云フコトヲ建議シマスル要領ハ、日本ニハ國立ノ圖
書館(即チ日本ノ帝國ガ建テア所ノツンベニ有る、らひべらり——サウ云フ)
組織ガ不十分デアリマス、今日ノ現状デ見マスト、東京圖書館ナルモノガゴ
ザリマスクレドモ、是ハ甚ダ規模ガ小サイモノデ、建築モ亦薄弱デアリマシ
テ、到底帝國ノ圖書記錄ヲ蒐集シテ置イテ、公衆ヲ此間ニ自由ニ閱覽セシメ
テ便益ヲ得セシムルト云フコト、或ハ其圖書記錄ヲ十分ニ整頓ヲ致シテ、長
ク之ヲ保存シ、前代ノ文物ヲ徵憑スルト云フコトニ就キマシテハ、甚ダ其組
織ガ不完全デアル、不十分デアルデゴザリマス、今ノ此東京圖書館ノ外ニ在シ
テハ、公開即チ公ケニ開イテ何人デモ——圖書館ト云フモノニハ誰デモ這
入ルコトガ出來ル、最モ廉價ニ見ラレル大學トモ云フベキ、斯ウ云フ場所ハ
東京圖書館ノ外ニ公開シテナイ、アトノモノハ内閣ノ記録圖書ノ書庫デゴザ
イマストカ、帝國大學圖書館トカ、博物館デゴザイマストカ、是ハ即チ宮内省
ノ管轄デアル、ソレ等ハ孰モ公開ハシナイノデアリマスカラ、ソレ等ノモノ
ニ就イテハ一般ノ圖書館ノ利益ヲ受クルコトガ出來ナリ、又今日ニ當リマシ
テハ、日本ニ在ル大切ナル書籍が散逸シテシマフ、或ハ蟲蝕シテシマフ、若
タハ海外ニ失ヘルト云フコトガ澤山ニゴザリマス譯デアッテ、又高價ナル書物
ハ一私人ノ資力ヲ以テ得ルコトガ出來ヌモノハ、國ノ力ヲ以テ保存シテ置カ
ナケレバナラヌ、又之ヲ貯ヘナケレバナラヌ、現ニ日清戰爭ニ就イテモ、
是等ノ記録ニ徵シ又其歴史ヲ調べルト云フ場合ニ當ツテハ、立派ナ洋學者デ
ゴザリマシテモ——獨佛戰爭ノ事ノ事跡ニ就イテ困ツテ居タ者カアッテ、偶
東京圖書館ニ於テソレ等ノ書物ガアッテ益ヲ得タト云フコトデゴザリマスカ
ラ、國ノ中ニドウシテモ斯ウ云フモノガ完全ニ造ツテ置カナケレバナラナ
イ、ソレデゴザイマスカラ今日ニ於テ此圖書館ナルモノヲ大ニ擴張ヲ致シ
テ本當ノ帝國獨立ノ圖書館ヲ造リ、即チ英吉利ノ獨立圖書館ノ如ク、或ハ獨
逸ニ於ケル圖書館ニ如キヤウナモノニシテヤリタノデアリマス、此案ニ依
ルト經費ヲ一年ニ三万圓程支出ヲ致シシマタナレバ、ソレニ依ツテ爲シテ往
クコトガ出來ヤウ、併ナガラ其建築ヲ完全ニスルトカ、或ハ分室ノ法ヲ設ケ
ルトカ、若クハ書架棚ヲ造ツテ之ヲ保存スルノニ適當ナル位置ヲ撰ブト云フ
コトニ就イテハ、ナカク書籍館ニハ書籍館ノ専門ノヤリ方ガアリマスカラ
茲ニ講釋ヲスルト長クナリマスカラシテ、略シテ置キマス、右ノ次第ナルガ
故ニ此建議案ヲ提出シタノデゴザイマスカラ、何卒御贊成アランコトヲ希
望致シマス

(賛成タク)ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 此建議案ハ別段御動議ナキヲ以テ確定ヲ報ジマス、次
ハ日程ノ第十、棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案、喜多川孝經君

第十 棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案
(喜多川孝經君外二名提出)
(左)建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス
棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案

(喜多川孝經君演壇ニ登豆ル)

將來十簡年間毎年金五千圓ヲ制限トシテ棉作改良獎勵費トシテ國庫ヨリ支出
シ米國種アツブランド棉種子購入分與及耕作者へ獎勵費ヲ給與スヘキ兩件
ノ爲政府ヨリ其ノ豫算案ヲ議會ニ提出アラムコトヲ望ミ茲ニ之ヲ建議ス
右建議候也

○喜多川孝經君(百六番) 諸君、棉作獎勵ノ事ニ附キマシテハ最早別段ニ其
效能或ハ必要等ノ事ヲ述ベナクテモ御承知ノ事デモアリマスカラ之ヲ讀立
スルガ、唯修正ヲシナケレバナラヌノデ茲ニ私ハ現ハレマシタ次第ゴザ
マス、其修正ヲ唯今茲デ申上ゲマスルカラ、其修正ノ又理由書ヲモ之ヲ讀立
テマシテ、其理由書ノ事——修正ノ理由ヲ御承知置キヲ願ヒタウ存ジマス
テマシテ、其理由書モ自カラ變ルノデ
修正ノ文ハ此様ニ致シマスルノデ
將來五箇年間毎年金參万圓ヲ制限トシテ國庫ヨリ支出シ以テ米國種アツブ
ランド棉種子購入分與及耕作者へ獎勵費ヲ給與スヘキ兩件ノ爲政府ヨ
リ其豫算案ヲ議會ニ提出アラムコトヲ望ミ茲ニ之ヲ建議ス
斯ウ致シマスル、一寸斯ウ訂正致シマシタニ就イテ理由書モ自カラ變ルノデ
ゴザイマスカラ、是モ一々演説口調デ申シマスルト大變暇ガ掛リマスカラ
其理由書ヲ讀ミマスルデ、ドウカソレデ御承諾ヲ請ヒマス
近來我邦紡績事業ノ發達ニ依リ海外棉花ノ輸入量頓ニ多キヲ加ヘ最近一箇
年ノ如キハ輸入棉花一千六百五萬圓ヲ超ヘ尙ホ將來ノ狀勢益多量ノ棉花ヲ
需要スルニ至ラントス之ヲ往年盛ニ棉花ヲ輸入セルニ比スレハ工業ノ發達
上大ニ祝スヘキモ我邦棉作ノ頻年大ニ衰頽セルハ實ニ憂慮ニ堪ヘサルナリ
蓋シ本邦固有ノ棉花ハ其質紡績業ノ細糸ニ適セサルト栽培上ノ經濟徳ニ及
ハサル不利アレハナリ即チ本邦棉ハ其資質纖維短キノミナラス肥料灌漑等ニ
多量ノ出費ヲ要スルモ米國種アツブランド棉ハ纖維長ク栽培上ニ肥料灌漑
共ニ多キヲ要セス且ツ本邦棉ノ成育セサル瘠地ニモ却ツテ良好ノ結果アル
モノナレハ本邦人ニシテ是レカ栽培ニ熟達セハ彼ノ隆盛ニ赴クヘキ紡績事
業ノ全需用額ヲ急ニ充ス能ハサルモ以テ其幾分ヲ供給シ得ルハ勿論本邦棉
難ヲ唱道スルモノアルハ畢竟二十年前農局等ニテ試作セル結果ノ不良ナ
リシニ依ルモ全國ノ篤志者就中兵庫鹿兒島山口諸縣ノ老農ハ爾來今日ニ至
ル迄綿試作ヲ繼續シテ良成績ヲ得該棉花ノ本邦風土ニ適スルコトヲ實徵
セルノミナラス亦タ好果ヲ顯ハセリ又タ東京ニ於テモ一昨年來有志者ノ組
織ニ係ル棉作獎勵會ナルモノ起リ米國ヨリアツブランド棉種ヲ購入シ耕作
法ノ印刷物ヲ添へ全國棉作地ニ栽培ヲ獎勵シツ、アリト聞ク然リト雖モ棉
花ノ如キ國家獨立ニ缺クヘカラサル必需品ノ改良獎勵ヲナスニハ當然國庫
ノ力ヲ以テスヘキナリ故ニ政府ハ三万圓ヲ制限トシテ豫算案ヲ議會ニ提出
セラレシコトヲ望ム此レ全國棉作地タル二府二十七縣三百十八郡ノ每郡ニ
五畝歩ツ、ノ試作地八ヶ所ヲ設ク即チ百二十七町步ニ對シ一箇所ニ二
圓ツ、ノ依嘱試驗費ヲ與ヘ是ニ一段歩十磅ノ割合ニテ種子ヲ配與スルトキ
ハ一万二千七百餘圓トナラ但シ一段ノ購入運搬配布代ヲ一圓ト見積リタル
ナリ此他尙ホ一段歩ニ二百斤ヲ產スルト見テ棉作段別二百町歩ニ達スル迄
一斤ニ付キ參錢ツ、ノ獎勵金ヲ與フル爲メ一万二千圓ヲ要スルトスレハ合
計殆ント參万圓トナラ是レ本建議案ヲ提出スル所以ナリ
此間現ニ綿絲輸入稅ヲ廢セラレマシタコトデゴザリマスカラ、之ニ伴フテ
益此棉作ト云フモノハ頗廢スルコトハ疑ヒナカラウト信ジマス、且ツ此綿
輸入稅ヲ廢セラル、トモ十分ニ此内國デ產出スルコトニ至リマスレバ

決シテ外國カラ輸入ト云フヨリハ右ノ十分ニ利益ヲ得ルト云フコトハ疑ナイ
コトデゴザイマス、故ニ此點カラ申シマシテモ「此獎勵費ヲ出シタイト云
フ考デゴザイマスカラ、ドウゾ其邊ノ御承知置ヲ願ヒタイ」

○小畠岩次郎君(二百三十九番) 質問ガアリマス
○早川龍介君(二百三十九番) 此問題ハ簡単ノモノニアリマス
ヒズシテ決セラレントコトヲ請ヒマス

○議長(楠本正隆君) 通告モアルニ依リ、討論ヲ用ヒズシテ、決スルハ穩デア
リマセヌ

○小畠岩次郎君(二百三十九番) 私ハ質問ヲ止メテ直グニ反対ノ演説ヲ始メ
マス、此案ハ誠ニ分ラヌ建議案ニアリマス、經濟上カラ言ヒマスルト餘程ク
ロウトガ拵ヘタヤウデアルガ甚ダ經濟ヲ誤ツテ居ル、初メ五千圓トアリマシ
タカラ本員モ五千圓ハ左程ノモノニアリマイ、翌年ニ爲リマシタナラバ澤山
ノ種ニ爲ルデアラウ、之ヲ三年ノ後ニ至ッタナラバ此棉ノ種ト云フモノハ全
國ニ亘シテ非常ナ澤山ナル種ガ出來ルトスウ思ツテ居タツト、云フモノハ棉
ト云フモノハ他ノ豆ヤ米ト違ヒマシテ、採ツタダケノ種ハ皆殘ル、其種ヲ米
ヤ豆ノ如ク直グニ他ニ潰シタナラバソレハ直チニ用ヒルコトガ出來マセヌ
ガ、棉一本ニ種ガ出來テ百粒出來タナラバ、百粒トモ種ニ爲ツテ地方ニ回ルコ
トガ出來マス、所ガ此改正ヲ見ルト、三万圓ノ種ヲ購フ、ソレヲ四五年ノ間
米國カラ購フト云フ甚ダ不經濟ノ話デ、私共ノ見マシタニ、假ニ初年ニ三万
圓ヲ購ツタスレバ、翌年ハ米國カラ仰カヌデモ三万圓ノ元種ハ翌年ハ非常
ナ種ニ爲ル、ソレヲ尙ホ五箇年モ三万圓ト言ツタナラバ、日本ニ種ガ非常ニ
殖エテ五箇年後ハ棉作ガ仕方ガナイ程種バカリアルコトニ爲ル、初年ノ三万
圓ト云フモノハ宜カラウト思フガ、國庫カラ三万圓ノ金ヲ出シテ購フト、云フ
コトハ甚ダ不可デアリマス、斯ルモノハ棉ノ出來ル土地ニ於テ地方費
ヲ以テ必要ナモノナラバ購フガ宜イ、一個人ニシテ購フガ宜イ、之ヲ國庫カ
ラ金ヲ出シテ棉種マズ購ハナケレバナラヌト云フヤウナ今日ハ經濟ト
ハ認メマセヌ、必要ナモノト認メタナラバ地方デ十分購フコトガ出來ル、而
シテ又棉ノ種ニ如キハ、今更陳々言ハヌデモ數年前カラ日本ニ渡ツテ來テ、
ソレノ試験モシ、試作モシテ居ル、良イモノナラバ一般ニ行レテアルベキ筈
デアル、スル所ガ茲ニ置イテアル如ク、成績ヲ皆得ルヤ否ヤト云フコトハ今
日マデノ試験ノ上ニ於テ明カニ云フコトハ出來マセヌ、況シテヤ(「簡単々々」
ト呼フ者アリ)地方デスベキモノヲ國庫カラ購フト云フコトデアレバ、一
年購ツテ宜シイモノヲ五年モ三万圓ツク購フト云フコトハ甚ダ分ラヌ、初年
三万圓購フテ其種ヲ日本ニ擴ゲマシタナラバ、五年ノ末ハ實ニ棉種ガ澤山ニ
ナツテ仕様ガナイヤウニナル、ソレデモ矢張米國カラ三万圓モ種ヲ購フ……

○早川龍介君(二百三十九番) 餘程誤解ヲシテ居ル

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス、因テ喜多川君ノ修正案ハ否決セラレ
マシタ

○喜多川孝經君(百六番) 私ハ全體提出者デ御話ヲシタカタガ、早クヒト
云フノデ……

○議長(楠本正隆君) 修正案ト云フコトニ爲ツテ提出シテアリマス
○喜多川孝經君(百六番) ドウカスウ云フコトハ一つ能ク提出ノ理由ヲ述べ
サセテ貴ハヌト困ル

○喜多川孝經君(百六番) 私ハ全體提出者デ御話ヲシタカタガ、早クヒト
云フノデ……

○議長(楠本正隆君) 喜多川君ノハ修正案トシテ議長ノ手許ニ提出シテア
ル、修正案ハ決議ヲ採ツタ處ガ、其修正案ハ即チ否決シタガタメニ原案ニ就
イテ決議ヲ採ルガ當然デアル、原案ニ對シ同意ノ諸君ハ起立
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 是レ亦少數、因テ該建議案ハ全ク否決致シマシタ、諸
君、此間ニ於テ一應御相談致シテ置ク事ガゴザイマス、最早議會ハ明日一日
ト爲リマシタニ就イテハ、本院ニ於テ決議ヲシタルモノヲ、貴族院ニ送付ス
ルニハ、一時ヨリ會議ヲ始メルコトニ致シマスト、餘程不便ニ相成ルノミナラ
ズ、其用ヲ爲シマセヌニ依ツテ、茲ニ特別ナル協議ヲ請フテ、明日ハ午前十時ヨ
リ會議ヲ開キタイト思ヒマス

(佐脇書記官朗讀)

○政府ヨリ明治二十九年歲入歲出豫算追加案ヲ提出セリ
○谷澤龍藏君(百六十二番) 一寸唯今ノ御協議ノ事ニ就イテ一言述べタ
リレハ別デハアリマセシガ、満場ノ容ル、所ト爲リマシタナラバサウシタイ
ト云フ考デアリマス、此中ニ建設案ガアル、建設ハ明日ニ回ツテモ宜イモノデ
アツテ、此中ニハ法律案ガアル、此法律案ノ中ニハ急グ案モアリマセウ、若シ
可決シタナラバ貴族院ノ方デ又協賛ヲシナケレバナラヌ、否決スレバ其儘
デアリマスガ、故ニ法律案ダケヲ先キニ議シテ行ツタナラバ餘程提出者モ
満足スルコト、思ヒマス、其事ヲ述ベテ置キマス(「緊急動議トスレバ宜シイ」
ト呼フ者アリ)ドレト言ツテ指ストイカヌデスカラ……

○恵松隆慶君(五十番) 議事ノ進行ヲ私ハ最モ希望致シマス、此建議案ハ皆
理由書ガ附イテ居リマスカラ能ク見テ贊否ノコトハ決心シテ居リマスデ、殊
更ニ提出者ガ登壇シテ理由杯ヲ述べラレズ、ドシノ問題トシテ決議ヲシテ
行クト云フコトニ……

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第十一ニ移リマス、牛痘苗製造業者處分ニ關ス
ル建議案——脇坂行三君

第十一牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案脇坂行三君外二名提出
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマスカラ、大間違ノ事ヲ言ツテ居ラレテハ困リマスカラ……

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、喜多川孝經君ノ修正案——喜多川君
ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

○早川龍介君(二百十一番) 餘程誤解シテ居リマスカラ一寸一言シナケレバ
ナラヌ、三万圓年々種バカリ購フト云フ譯デハナインデアル、種類ヲ三種ニ
分ケテ出來タ所ノ種ノ補助ヲスルノデアル(「討論終結」ト呼フ者アリ)討論終
結ハ分ケテ居リマスガ、大間違ノ事ヲ言ツテ居ラレテハ困リマスカラ……

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、喜多川孝經君ノ修正案——喜多川君
ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス、因テ喜多川君ノ修正案ハ否決セラレ
マシタ

○政府ハ明治七年牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案脇坂行三君外二名提出
ト爲シ來リタルニ同十九年之ヲ大日本私立衛生會ニ引繼キ且訓令ヲ發シテ
民間ニ向ツテ大ニ獎勵ノ策ヲ採レリ是ニ於テカ該製造者續々興起シ許多ノ
資產ヲ抛チ幾多ノ辛苦ヲ累ネ以テ之カ進歩發達ヲ圖ル然ルニ今ヤ政府再ヒ
痘苗製造ヲ官業トスルノ議案ヲ提出シ其ノ案衆議院ヲ通過シタリ抑、牛痘

苗製造ノ事タル國家衛生上重大ノ關係ヲ有スルモノナルニ依リ官業ニ移スハ素ヨリ當然ナリト雖モ之カ爲民間製造者ハ候チ其ノ業ヲ失ヒ不測ノ損害ヲ蒙ルヘキヲ以テ政府ハ此等製造者ニ對シ相當ノ補償ヲ爲シ扶濟ノ道ヲ立ツルノ義務アリ依テ政府ハ速ニ適當ノ方法ヲ設ケ之カ處分ヲ爲サムコトヲ望ム

右及建議候也

(脇坂行三君演壇ニ登ル)

○脇坂行三君(四十三番) 簡單ニ述べマセウト思ヒマスガ、モウ御賛成サヘ下サレバモウ述ベルコトモアルマイト思ヒマスガ(「贊成々々」ト呼フ者アリ「簡單々々」ト呼フ者アリ)極簡單ニ申述ヘマスデ、ゴザリマス、元來此建議案ト云フモノハ諸君モ御承知ノ通、過日當院デ結了ヲ致シマシタ豫算案ノ結果トシテ已ムヲ得ズ此建議案ヲ提出致シマシタ次第ゴザイマス、是ハ諸君モ既ニ御承知ノ事デゴザリマスガ、簡單ト云フ御説デゴザリマスカラシテモウ格別長クハ述ベマセヌ、詰リ要スルニ是迄此牛痘苗ノ製造ガ民間業ト致シテヤツテ居ツタノニアリマス、ソレヲ今般變算ノ結果ト致シマシテ官業ニ移ツタノゴザイマス、サウ致シマスレバ(恒松隆慶君)モウ宜シイト呼フ)是マデ民間業ト致シテ居リマシタ即チ當業者ハ、忽チ其營業ヲ禁止セラレマシテ、而シテ營業禁止ノ結果トシテ、糊口ノ途ヲ絶ツト云フコトニ爲ル(「贊成々々」ト呼フ者アリ)ソレ故ニ此建議案ヲ出シテ、政府ニ於テハ是ニ向クテ相当ノ處分ヲセラレルヤウナコトニ致シタイ、其處分ト申シマスルモノハ即チ今日マデ營業ヲ致シテ居リマシタ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)所ノ民間業者ニ向クテ(「贊成々々」ト呼フ者アリ)ソレ等ニ向クテ救濟ノ途ヲ講ゼラレルヤウニ致シタイ(「贊成々々」ト呼フ者アリ)是ガ建議ノ要領ゴザイマス、モウ是ダケデ止メマス、ドウゾ満場一致ヲ以テ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 該案ノ決議ヲ採リマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 該建議案ニハ何等ノ御動議ナキヲ以テ即チ確定ヲ報ジマスル

○小室重弘君(八十八番) 私ハ緊急ノ動議ヲ出シマス(平島松尾君)ヨシタマヘト呼フ)日程ノ第二十一ニゴザイマス日光山社殿修繕ニ關スル請願ト云フモノハ、一個人ヤ一人ノ議員が建議案トシテ出シタモノトヘ自ラ違フモノデアル、ソレデアルノニ此請願ノ事ニ就イテハ、今年ノ日程ニハ何時モ尻ノ方ニ在ル、本員ハ甚だ遺憾ニ堪ヘヌノデアル、是ハ重要ナ件デアリマスル(議場騒然)故ニ今日ニ於テ通過サレルコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 此議事日程變更ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者少數
○議長(楠本正隆君) 少數、因テ小室君ノ日程變更ノ動議ハ否決シマシタ
次ハ日程ノ第十二ニ進ミマスル 編織物保護建議案

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ小室君ノ日程變更ノ動議ハ否決シマシタ
(左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノクメ茲ニ掲載ス)
第一編織物保護建議案(久保九兵衛君外三名提出)

我國輸出品中近來一大長足ノ進歩ヲ爲シ一箇年一千餘萬圓以上ノ重要物產

(左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノクメ茲ニ掲載ス)

ニ達シタルモノ實ニ編織物ナリトス然ルニ去ル二十七年ヨリ此ノ織物ニ製造ノ惡弊甚シク蔓延シ以來奸商輩ハ此ノ機ニ乘シ奇利ヲ博セムト欲シ製造者及練染整理者等ニ謀リ藥品又ハ糊入等ノ暴惡手段ヲ施シ以テ重量ヲ附著セシメ廉價賣込ヲ競争シテ止マル處ヲ知ラス故ニ昨年春季ニ至テ諸外國市場ニ於テ日本製綱ノ不正品ナルコトヲ看破シ顧客ノ攘斥ヲ受ケタルコト甚シク爾來其ノ結果トシテ輸出先ヨリ物品ノ積戻シトナリ注文品ハ悉ク破約トナル等實ニ嗟嘆措ク能ハサル所ナリ爲ニ機業者ノ破産スル者蓋シ少シトセス之ヲ救濟スルノ方法タル當業者ノ獨立以テ企及スヘカラスト信ス今ヤ戰後帝國ノ經濟ニ注目シ殖產興業ノ道ヲ講スル者豈此ノ一大財源ヲ黙置スヘキノ秋ナラムヤ故ニ政府ハ速ニ輸出編織物ニ對スル検査法及地方同業組合規則ヲ制定セラレムコトヲ望ム

右建議ス
○早川龍介君(二百十一番) 是ハ昨日他ノ案ト併シテ……
○議長(楠本正隆君) 直チニ決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 此建議案ニハ別段御異議ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、即チ該案ノ確定ヲ報ジマスル、

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第十二ニ水產傳習所官設建議案
○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第十三ニ水產傳習所官設建議案(改野耕三君外五名提出)
(左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノクメ茲ニ掲載ス)
水產傳習所官設建議案

水產事業ヲ發達セシムルハ國家經濟上目下ノ急務タリ而シテ之ヲ發達セシムルニハ當器ノ人材ヲ養成スルヨリ急ナルハナシニ大日本水產會ニ於テ水產傳習所ヲ設ケ水產ニ必要ナル技術ヲ練習セシムルコト既ニ數年ニ及ブト雖モ元來水產ニ關スル技術ハ其ノ區域廣汎ニシテ練習ニ費用ヲ要スル少カラス到底私設協會ノ獨力之ヲ維持スル能ハサルヲ以テ適當ノ費額ヲ支出シ速ニ之ヲ官設シ以テ當器ノ技術者ヲ養成シ水產業ノ擴張ニ資セムコトヲ希望ス

右及建議候也

○平島松尾君(百八十四番) モウ異議ガナイヤウデアリマスカラ、別ニ説明ハ致シマセヌガ(「モウ宜シイ贊成々々」ト呼フ者アリ、喜多川孝經君)私共モ説明ハシナイト呼フ)水產ノ發達ニ就イテ、特ニ一人ヲ養フト云フコトハ目下ノ急務デゴザイマス(「モウ宜シイ贊成々々」ト呼フ者アリ)議場騒然)

○星亨君(八番) ワレガ濟ミマシタラバ私ハ建議致シマス

○議長(楠本正隆君) 該建議案ニハ別段御異議ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、即チ該建議案ノ確定ヲ報ジマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)ノウ(「ト呼フ者アリ議場騒然)

○議長(楠本正隆君) 諸君、少シク静肅ヲ要シマス、第十八マデ一括シテ決

○星亭君(八番) イヤ、決議デハアリマセヌ、議題ニ掛ケテソレデ一々決議ヲ採シテ下サイト云フノデアリマス

(ノウク) 賛成々々ト呼ビ議場騒然

○議長(楠本正隆君) サウ云フノデスカ、然ラバ別段御異議ガナイケレバ第十八マデヲ以テ議題ト致シマス

(星議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 卽チ第十八マデヲ議題ト致シテ一議案宛各別ニ決議ヲ採リマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

第十四 濟候所増設ニ關スル建議案(濱田儀一郎君外二名提出)

天氣豫報暴風警報ヲ全國ニ普及スル建議案(多田作兵衛君外三名提出)

第十五 濟候所増設ニ關スル建議案(波多野傳三郎君外五名提出)

第十六 義勇兵團設置建議案(直原守次郎君外一名提出)

第十七 義勇兵團設置建議案(直原守次郎君外一名提出)

第十八 義勇兵團設置建議案(北原信綱君外二名提出)

(左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

濟候所増設ニ關スル建議案

氣象測候ノ農事及航海ニ必要ナルハ辯ヲ俟タス殊ニ本邦ノ如キ四面環海ノ國ニ在テハ最モ必要トスル所ナリ而シテ此ノ業ヲシテ稍々完全ナラシメム

ニハ全國ニ於テ百數十箇所ノ地方濟候所ヲ要ス然ルニ政府ハ本業ヲ地方稅以テ其ノ完備ヲ計ルノ案ヲ建テ次期帝國議會ニ其ノ豫算ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議候也

天氣豫報暴風警報ヲ全國ニ普及スルノ建議案

人類ノ氣海ニ住ムハ猶魚鱉ノ水界ニ泳クカ如シ故ヲ以テ百般ノ事物一トシテ氣象ノ關係ヲ脱スルモノアルコトナシ往年以來氣象測量ノ業漸次擴張セラレ人民ノ幸運大矣ト云フヘシ然レトモ天氣豫報暴風警報ノ如キ至大ノ利便アルニ拘ラス僅ニ東京新聞ニ記載セラレテ東京市民ノ利用タルニ過キス

本年三月ニ至リ氣象臺氣象通報規程ヲ發表シ人民ノ氣象通報ヲ依頼スルヲ許セリト雖モ其ノ費用ヲ要スルコト鮮少ナラサルカ故ニ未タ以テ全國人民

ヲシテ齊シク其ノ利ヲ蒙ラシムルコト能ハス豈惜ムヘキニアラスヤ若能ク

中央氣象臺ヲシテ全國市郡區役所ノ電信所在地ニ開廳セルモノニ對シ日々可ナキカ如シ要スルニ此ノ舉ヤ失スル所僅少ニシテ得ル所廣大ナリ其ノ人生ニ對シ非常ノ便益ヲ與フルコト知者ヲ待タシテ知ルヘキノミ當局者ニ於テ速ニ方策ヲ具シ議會ニ提出アラムコトヲ望ム

高等學校ヲ獨立セシムルノ建議案(教育ヲシテ行政ノ下ニ隸屬セシムルノ不可ナルハ固ヨリ論ナシト雖モ高等
教育ニ於テ特ニ其ノ然ラバ別段御異議ガナイケレバ第
制定セラレ十三年前令ヲ改正セラレ十八年復タ前令ヲ改正セラレ終ニ十九
年ニ至リテ現行ノ帝國大學令師範學校令小學校令中學校令及諸學校通則ヲ
公布セラレタリ

現行ノ官制ニ據レハ文部省ハ全國ノ教育ヲ管理スル所ナリ教育ハ國家ノ元氣ヲ養成スルモノナルニ拘ラス政府ノ同省ヲ視ルコト之ヲ他ノ諸省ニ比シテ寧ロ輕キカ爲ニヤ大臣ノ更迭頗ル頻繁ニシテ所謂席未タ暖カナラサルノ

觀アリ即チ明治四年同省設立以來今日マテニ同大臣ノ更迭スルモノ十有六年ニ至リテ現行ノ帝國大學令師範學校令小學校令中學校令及諸學校通則ヲ

森有禮大山義謙本武揚芳川顯正大木喬任河野敏鎌福岡孝弟大木喬任

大木喬任木戸孝允田中不二齊西郷從道寺島宗則河野敏鎌福岡孝弟大木喬任

森有禮大山義謙本武揚芳川顯正大木喬任河野敏鎌福岡孝弟大木喬任

任ニ當り給ヒ銷金鎌石ノ熱地ヲ冒シ瘴烟毒霧ノ蠻魔ニ入ラレ韜略其ノ機ヲ制シ綏撫其ノ宜シキヲ得サヒラレ我帝國ノ光威ヲ發輝シ我版圖ノ領有ヲ擴充セラル惜哉偉業成ルニ及ムテ厲氣ノ冒ス所トナリ軍中ニ薨去シ給ヘリ嗚呼殿下ノ如キハ精誠日月ヲ貫キ忠烈神鬼ヲ感シ躬ヲ以テ國ニ殉セラル者ニシテ眞ニ國家ノ柱石ト謂フヘキナリ今ヤ天下萬民ノ尊業ヲ仰向シ親王ヲ臺灣神社別格官幣社ニ奉祀シ奉ラムコトヲ切望ス因テ國祭ヲ執行シ新皇土ヲ永遠ニ鎮護マシマサハ國家ノ威典萬民ノ本分之ニ過キス

右建議候也

○早川龍介君(二百十一番) ドウゾ十八ノ時ニナリマスレバ是ハ修正ガ唯一

字アリマスカラ、其時ニ唯一言致シタウゴザイマス

○濱田儀一郎君(二百八十二番) 私ハ此十四ノ日程ニ就キマシテ少シ意見ヲ述ベマス、登壇シマセウカ……

○松尾慶麿君(登壇ヤ何カシマスト反対シマスゾ) ト呼ヒ「賛成々々」ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 反対ガアリマセヌニ依ツテ……第十四ノ議案ニ御動議ガナタバ決定ヲ報ジマスガ……

○議長(楠本正隆君) 然ラバ第十四ノ建議案ハ確定ヲ報ジマス次ハ第十五ニ就イテ決ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 此建議案ニ就イテモ御異議ナキヲ以テ即チ確定ヲ報ジル、次ハ第十六ニ就イテ決ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 然ラバ第十四ノ建議案ハ確定ヲ報ジマス

○議長(楠本正隆君) 何等ノ御異議ナキヲ以テ該建議案モ亦確定ヲ報ジマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ第十七ニ就イテ決ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ第十七ノ建議案ニ就イテモ御異議ナキヲ以テ該案ノ確定ヲ報ジマスル、次ハ第十八、是ニハ早川君ノ修正ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 早川龍介君演壇ニ登ル

○早川龍介君(二百十一番) 是ハ唯此仕舞ニ唯一字、一字一字ダケノ修正ヲ致シマス、ズット未文ニ「國家ノ威典トゴザイマスガ、是ハ盛ナルト云フ「盛」ノ字ニ改メタイ、「モウ宜シイモウ宜シイ」ト呼フ者アリ) 是ハ全ク……デ是ハモウ能ク諸君モ御承知デ、既ニ貴族院モ通過致シテ居リマス此議案デアリマスカラ、諸君ガ長ク述ベヨト仰シヤッテモ、モウ分リ切ッタコトデアリマスカラ述ベマセヌ、ドウゾ此案ハ全會一致ヲ以テ御賛成アランコトヲ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 別格官幣社ヲ臺灣ニ建設スルノ建議案

○議長(楠本正隆君) 別格官幣社ヲ臺灣ニ建設スルノ建議案

○議長(楠本正隆君) 早川君ノ修正通異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 該建議案ニハ早川君ノ修正說ガアリマス、此修正說通

○議長(楠本正隆君) 早川君ノ修正通異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ結果ヲ極簡單デゴザイマスカラ此處デ申シマス、是ハ委員會ニ於キマシテハ、此案ノ如キハ市町村ノ自治ニ一任ス

第十九 水火消防組ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○山田忠兵衛君(四十九番) 委員會ノ結果ヲ極簡單デゴザイマスカラ此處デ申シマス、是ハ委員會ニ於キマシテハ、此案ノ如キハ市町村ノ自治ニ一任ス

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ結果ヲ極簡單デゴザイマスカラ此處デ申シマス、是ハ委員會ニ於キマシテハ、此案ノ如キハ市町村ノ自治ニ一任ス

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ結果ヲ極簡單デゴザイマスカラ此處デ申シマス、是ハ委員會ニ於キマシテハ、此案ノ如キハ市町村ノ自治ニ一任ス

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ結果ヲ極簡單デゴザイマスカラ此處デ申シマス、是ハ委員會ニ於キマシテハ、此案ノ如キハ市町村ノ自治ニ一任ス

ルガ最モ適當デアルト云フ趣意デゴザイマス(モウ宜シイト呼フ者アリ)諸君ノ御手許ニ回シテゴザイマス通、修正致スコトニ委員會全會一致ヲ以テ可決致シマシタカラ、此修正案ノ通ドウカ賛成アランコトヲ望マス

○議長(楠本正隆君) 該案ハ委員會ノ修正案ガアリマスガ、是亦前例ニ從ヒ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ讀會ヲ省略致シマスル

○議長(楠本正隆君) 水火消防組ニ關スル法律案 確定議

○議長(楠本正隆君) 此案ハ委員會ノ修正案ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ委員會ノ修正案通該案ノ確議ヲ報ジマス

○議長(楠本正隆君) (佐脇書記官朝讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) 次ハ日程ノ第二十、山形縣下郡界變更法律案第一讀會ノ續

○議長(楠本正隆君) 谷河尙忠君

○議長(楠本正隆君) (贊成々々) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) 是レ亦前例ノ通讀會省略スルコトニ御異議アリマセヌ

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ修正案ニ御異議アリマセヌ

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ修正案ニ御異議アリマセヌ

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

第二十 山形縣下郡界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

○谷河尙忠君(十番) 是ハ元ト小松町、中郡村、大川村、大塚村四箇村ヲ南置賜郡ニ編入スルト云フ提出案デゴザイマシタノヲレデハ地方ニ或ハ紛議ガアルト云フヤウニ聞キマシタニ就イテ、唯四箇村内デ小松町、中郡村ノ二箇村ダケヲ南置賜郡ニ編入スルト修正シタノデアリマス

○議長(楠本正隆君) (贊成々々) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

○議長(楠本正隆君) (異議ナシ) 聲起ル

モノト決シマス、次ハ日程ノ第二十二、大和國古社寺保存ニ關スル請願

第二十二 大和國古社寺保存ニ關スル請願

(特別委員)

○野口斐君(二百二十二番) 若シ贊成ナレバ宜シイガ、贊成ガナササウナレバ説明スル

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 該請願モ亦御異議ナキヲ以テ探擇スベキモノト決シマス、次ハ第二十三、鐵道敷設上本位軌道採用ニ關スル建議案、及第一十四、廣軌鐵道ニ關スル建議案、是ハ委員會ノ報告デハ一緒ニ爲ッテ居ツテ、纏メテ一案ニ爲ッテ居リマスカラ、此二案ヲ併テ共ニ議題ト爲シマスル

第二十三 鐵道敷設上本位軌道採用ニ關スル建議案

(特別委員)
(長報告
長別委員)

第二十四 廣軌鐵道ニ關スル建議案

○市島謙吉君(二百二番) 贊成デアリマスレバ説明ハ致シマセヌガ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○市島謙吉君(二百二番) 反對ナレバ報告シマス

○議長(楠本正隆君) 該案ニハ反對贊成ノ通告ガアリマスガ、其反對ノ通告者ガ出席ガアリマセヌ、免ニ角決議ヲ採リマス

(田口卯吉君「免ニ角は演説ヲ聽キタイ」ト呼フ)

○市島謙吉君(二百二番) 此案ガ達ツテ居リマスカラ其修正ダケヲ申シマス、此報告ニハ題ヲ掲ゲマセヌノガ慣例ニ爲ッテ居リマスノヲ、誤クテ題ヲ掲ゲタノハ間違ッテ居リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 起立ニ問ヒマス、委員會修正ノ建議案ニ同意ノ諸君ハ起立

(起立者 多數)

○市島謙吉君(二百二番) 多數、因テ委員會ノ修正案通建議案ノ確定ヲ報ジマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第二十四廣軌鐵道ニ關スル建議案ハ、前ノ決議ノ結果當然消滅致シマスルガ、委員會ノ修正案デハ併テ一案ニ爲ッテ居ルカラ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ第二十五、明治二十二年法律第十號改正法律案第

第二十五 明治二十二年法律第十號改正法

(第一讀會)

(律案(片岡健吉君外八名提出))

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十二年法律第十號附則第四十三條第一項ヲ左ノ通改正ス

(「醫師ハ」ノ下ニ「當分」二字ヲ加ヘ尙ホ左ノ但書ヲ加フ)

但シ内務大臣ハ適當ト認ムル地ニ就キ明治三十年一月一日ヨリ逐次醫師ノ調劑ヲ禁止ス

○多田作兵衛君(二百二十五番) 餘程關係ガゴザイマスカラシテ鄭重ニ扱ヒ

タイト思ヒマスカラ、議長指名ノ委員ニ託シタイ

(「ノウ」と呼フ者アリ「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 委員付託ガ先決問題ト爲リマシタ、多田作兵衛君ノ議長指名ノ委員ニ付託スルト云フ動議

○議長(楠本正隆君) 是即チ先決問題ノ決議ヲ採リマス、委員說ニ同意ノ諸君ハ起立

(起立者 多數)

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、因テ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、次ハ第二十六、港灣調查ノ建議案ニ進ミマス

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、因テ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、次ハ第二十六、港灣調查ノ建議案ニ進ミマス

(左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第二十六 港灣調查ノ建議案(目黒貞治君外四名提出)

(港灣調查ノ建議案)

今ヤ我帝國光威四表ニ宣揚シテ國家百年ノ大計ヲ定メムト欲スルノ隆運ニ際シ其ノ宜ク施設計畫スヘキモノニシテ足ラス而シテ全國ノ港灣ヲ調査シテ先ツ其ノ大方針ヲ確定シ以テ海國永久ノ基礎ヲ定メムコトハ一日モ忽

諸ニ附スヘカラサルモノナルヲ信ス

海國ナルモノハ彼ノ大陸接續ノ邦國ニ於ケルト大ニ其ノ趣ヲ異ニシ港灣ハ所謂國家ノ門戸ナルヲ以テ獨リ船舶ニ利便ヲ與フルノミナラス内外物貨ノ聚散皆之ニ據ラサルナキハ勿論海陸國防ノ要務モ亦實ニ重キヲ此ニ存ス

テ日ニ二月ニ延長セシムトスル國內縱橫ノ鐵道線路ノ如キ亦皆多ク之ト聯絡セシハヘキ必要アリ凡ソ海國百般ノ事殆ント之ト相關聯セサルモノナシト謂フモ過言ニアラサルヘシ故ヲ以テ全國ノ港灣ヲ調査シ之カ大方針ヲ確定スルハ即チ海國永久ノ大基礎ヲ定ムル所以ニシテ最モ急務ナリト謂ハサルヘカラサルナリ

顧ミテ我國千百ノ港灣如何ヲ觀察スルニ其ノ單ニ內國運輸ニ便スルモノハ暫ク置キ目下我國ノ大門戸トモ稱スヘキ五港ノ如キハ悉ク幕政當時ノ情況ニ因リ開カレタルモノニシテ其ノ現今及將來ニ對シ果シテ適當ナルヤ否ヤニ至テハ既ニ已ニ疑問ノ存スル所其ノ他各種ノ要港ニ至テモ是非ノ論紛然錯出殆ント一定スル所ヲ見ス是レ皆從來周到ナル調査ナクシテ之カ大計大

方針ノ未タ確立セサルニ職由セスムハアラス今日ニシテ速ニ之カ調査ニ從事セスムハ海國百般ノ施設其ノ順序本末ヲ過リ將來ノ悔ヲ遺スアラムコトヲ懼ル

故ニ政府ハ宜ク先ツ之カ大方針ヲ確定スルノ目的ヲ以テ港灣調査費ヲ國庫ヨリ支出シ速ニ全國港灣ノ查測定ニ從事セシメ大ニ我海國永久ノ大基礎ヲ鞏フセラレムコトヲ望ム而シテ其ノ順序方法ノ如キハ固ヨリ之ヲ當局者ノ算劃ニ一任スヘシ

○議長(楠本正隆君) 此建議案ニハ御異議アリマセヌカ

〔大賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ該建議案ノ確定ヲ報ジマスル、次ハ
第二十七、炭量調査所設置ニ關スル建議案(藤金作君提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

炭量調査所設置ニ關スル建議案

石炭ハ國家經濟上ニ於テ最モ必要ナルコト固ヨリ論ヲ俟タス今ヤ我國石炭
ノ需用ハ國運ノ進歩ニ伴ヒ軍艦商船鐵道其ノ他諸般ノ工業上ニ於テ逐年
益々增加ノ勢アリ而シテ我國各地ノ炭田ハ果シテ能ク其ノ需用ニ應スヘキ
炭量ヲ有スルヤ否ヤ顧フニ世人カ夙ニ深ク望ヲ屬シタル北海道炭層モ爾來

調査ノ步ヲ進ムルニ及ヒテ意外ニ其ノ炭量寡少ナルノ實ヲ表セリ又九州ニ
於ケル豐筑炭田モ最近ノ調査ニ據レハ炭量甚多シトセス其ノ他肥前肥後
及本州各地ノ炭田ニシテ未タ實地踏査ヲ經サル稍著明ノモノアリト雖モ
是レ亦其ノ炭量ハ知ルヘキノミ特ニ本州炭田ノ石炭ハ炭質良好ナラスシテ
到底艦船鐵道其ノ他強大ナル火力ヲ要スル需用ニ充ツルコト能ハスト云フ
果シテ然ラハ我國石炭ノ前途大ニ憂慮スヘキモノアルヲ以テ豫メ今日ニ於
テ之カ用意ナカルヘカラス當局者ハ宜ク炭量調査所ヲ設置シ速ニ當該者ヲ
シテ事ニ之ニ從ハシムヘシ

右建議ス

〔異議ナシ賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ是亦確定ヲ報ジマス、次ハ第二十八、
即チ裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造

裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造
君外一名提出)

第一讀會

裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造
君外一名提出)

第一讀會

確定議
(特別委員)

第一條 裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造
君外一名提出)

裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造
君外一名提出)

第一條 東京地方裁判所管内京橋區裁判所芝區裁判所麹町區裁判所下谷區
裁判所本所區裁判所ヲ廢シ更ニ東京區裁判所ヲ設置シ從前各區裁判所ノ
管轄區域ヲ以テ東京區裁判所ノ管轄トス

第二條 東京地方裁判所管内京橋區裁判所芝區裁判所麹町區裁判所下谷區
裁判所本所區裁判所ヲ廢シ更ニ東京區裁判所ヲ設置シ從前各區裁判所ノ
管轄セシム

〔委員付託〕即決ト呼フ者アリ

〔山田泰造君演壇ニ登ル〕

○山田泰造君(二百八十七番) 一寸申シマス、是ハ簡単ニ申上グマスルシ、
尙ホ諸君ニ願フ儀ガゴザイマスルガ、是ハ即決ニ願ヒタイト思ヒマス、ソレ
デ大晦日ト云フ場合デゴザイマスルカラ、シク申シマセヌ、殊ニ理
由ハ簡單ニ、一カラ七七マデアリマスルカラ、諸君ガ御覽ニナツタコト、思ヒ
マス、尙ホ此處テ申上グマスルノハ、此理由ニ依テ殆ド御承知ト思ヒマス
ルガ本院ヲ通過致シマスレバ貴族院ニ於カレマシテモ至急通過ガ出來ル望モ
ゴザイマスルカラ、ドウカ満場一致ヲ以テ御賛成ヲ請ヒマス
○議長(楠本正隆君) 該案ハ、前例ニ依リ讀會省略デ直チニ決シテ宜ウゴザ
イマスカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ナケレバ讀會ヲ省略シマス、——該案ニ對シ御
異議ゴザイマセヌカ、御異議ナシト認メマス因テ該案ノ確定ヲ報ジマス、次
ニ上ボセマス、次ハ日程ノ第二十九ニ移リマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(佐脇書記官朗讀)

右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ
議定相成度此段及要求候也

明治二十九年三月二十五日

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(佐脇書記官朗讀)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ讀會ヲ省略シマス、——何等ノ御動議ナキヲ以
テ該案ノ確定ヲ報ジマス——尙ホ報告ノ件ガアリマスル

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(佐脇書記官朗讀)

右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第六十七號保安條例ヲ廢止ス

○議長(楠本正隆君) 是レ亦前例ニ依リ讀會ヲ省略スルコトニ御異議ゴザイ
マセヌカ

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治二十年勅令第六十七號保安條例ヲ廢止ス

○議長(楠本正隆君) 是レ亦前例ニ依リ讀會ヲ省略スルコトニ御異議ゴザイ
マセヌカ

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

保安條例廢止法律案(西村眞太郎君外)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治二十年勅令第六十七號保安條例ヲ廢止ス

○議長(楠本正隆君) 是レ亦前例ニ依リ讀會ヲ省略スルコトニ御異議ゴザイ
マセヌカ

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

保安條例廢止法律案(西村眞太郎君外)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治二十年勅令第六十七號保安條例ヲ廢止ス

○議長(楠本正隆君) 是ハ委員會ニ於キマシテハ、報告ヲ各員ニ
回シテアリマス通、本院ニ於テ否決スベキモノナリト云フ決議ニ爲リマシタ
ハ第三十、開港法案第一讀會ノ續——小畠岩次郎君

〔異議ナシ委員付託〕即決ト呼フ者アリ

〔高木正年君演壇ニ登ル〕

○高木正年君(二百二十九番) 一言簡單ニ申シテ置キタウゴザイマス、委員會
ノ報告反対デス

〔無用々々ト呼フ者アリヤルベシト呼フ者アリ〕

〔高木正年君演壇ニ登ル〕

○高木正年君(二百二十九番) 私ハ此該案ニ賛成ノ演說ヲ致スンデ、一體此案
ハ提出者ガ缺席ヲ致シテ居リマシタガタメニ、提出者ノ人ノ
ナイタメニ、少數ノ意見モ立ダスト云フコトニナリマシタケレドモ、全ク病氣
缺席ノタメニ少數ノ意見ガ出マセヌノデ、事實ハ出ル筈デアツタノデ、一言
シテ置キマスルガ、此案ハ委員會ニ於テ政府自身モ、委員自身モ此案ニ就

イテ此案ノ趣意ニ少シモ反対ハナカタ、唯政府ハ外交ノ上掛引トシテ諸君ガ本年之ヲ可決セラレテハ、何分残タ所ノ外交條約ニ差響ガ來ルカラ止メテ欲シイト云フタメニ、斯ノ如キ政府ノ反対ノ一言ヲ以テ委員會ハ否決ヲ致シタノデゴザイマス、此位分カラ又議論ハナイ旨デアル、條約改正モ段々進デ參クテ、僅ニ二三ノ國ノ殘タ居タダケデ、然ルニ其二三ノ國ニ對シテ掛合ノ上デ、開港ト云フコトノ港ノ數ヲ澤山法律デ極メテ出スノハ、條約改正ノ上ニ差支ヘルト云フ、如何ニモ不可思議ナル分カラ又法律ノ施行此開港ノ時期ト云フモノハ、命令ヲ以テ定メルト云フコトデアル以上ハ、若シ條約改正ニ響ガアルト云フコトガアルナラバ、條約改正完成ノ上デ、其時期ヲ政府ガ定メテ差支ナイ、是ガ政府ノ反対ヲシタ理由デ、吾ガ通ツテモ少シモ外交ノ上ニ響キガナイ、是ガ政府ノ反対ヲシタ理由デ、吾ヒマス吾ハ此反対ハ少モ理由ガナイモノト認メル、願ハクハ諸君ハ此案ハ國家貿易ノ上ニ就イテ、至大ノ關係ヲ有ツ利益ノアル所謂富國ノ基ヲ爲ス所ノ開港法案デゴザイマスカラ、諸君ハドウゾ全會一致ヲ以テ御賛成相成ルヤウニ願

○議長(楠本正隆君) 該案モ亦讀會ヲ省略スルコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

開港法案

○議長(楠本正隆君)

即チ讀會ヲ省略シテ決議ヲ採リマス——該案同意ノ諸君

君々起立
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、即チ該案ハ否決サレマシタ、次ハ第三十一、府縣農事試驗場國庫補助法案、是ハ第一讀會ノ續トアリマスガ、二讀會ヲ續トアルベキヲ印刷ノ誤リテゴザリマス——該案モ亦前例ニ依リ讀會ヲ省略スルコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 即チ讀會ヲ省略致シマスル

確定議
確定議

○議長(楠本正隆君) 大分縣農事試驗場國庫補助法案
〔左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス〕
置ニ關スル建議案(毛利莫君外二名提出)

○議長(楠本正隆君) 大分縣農後國佐賀關海峽ニ燈臺及浮標設置
〔左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス〕
○議長(楠本正隆君) 大分縣農後國佐賀關海峽ニ燈臺及浮標設置ニ關スル建議案
〔左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス〕

○議長(楠本正隆君) 大分縣農後國佐賀關海峽ニ燈臺及浮標設置ニ關スル建議案
〔左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス〕
○議長(楠本正隆君) 大分縣農後國佐賀關海峽ニ燈臺及浮標設置ニ關スル建議案
〔左ノ議案ハ朝讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス〕

○議長(楠本正隆君) 左様デゴザリマス
○小烟岩次郎君(二百三十六番) 私ハ全部反対デ、細カイ事ハ申シマセヌガ
先キニ申シマスル通、農事試驗場ノ如キハ、地方經濟デスベキ事デゴザイマ
シテ、國庫カラ補助スベキモノデハアリマセヌ、補助スルノ必要ハ本員ハ認
メスト思ヒマスカラ、本案ハ絶對的ニ反対ヲ致シマス
○議長(楠本正隆君) サウ致シマスト「蠶業ト」アリマスノヲ「蠶茶業」ト改メ
○大原重右衛門君(百五十九番) 左様デゴザリマス
○大原重右衛門君(百五十九番) 私ハ全部反対デ、細カイ事ハ申シマセヌガ
伊豫土佐日向大隅薩摩琉球北ハ藝術攝長防ノ船舶往來スルモノ常ニ繁シ
殊ニ字品吳神戸大阪ト臺灣トノ間ヲ往復スル船舶ハ一二此ノ峽ニ由ラサル
ヲ得ス況シヤ外洋ト内海トヲ進退スル潮勢ノ盛ナル時ニ當リテハ帆船ハ潮
ニ向テ進ムコト能ハス汽船ト雖モ全速力ヲ盡スニ非サレハ決シテ進ムコト
ヲ得ス其レ此ノ如キ要路ナルカ故ニ漁者及航海者ノ保護上速ニ關岬ニ燈臺
ヲ平瀬權現ニ暗礁ニ浮標ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議候也
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

國勢調査執行建議案

國勢調査ハ全國人民ノ現状即チ男女年齢職業身上ノ有様宗教、教育、生國、住地、住家、不具者等ノ事實及農工商漁業ノ他ノ產業及財產ニ至ルマテ、家別人別ニ就キ精細ニ現實ノ狀況ヲ調査スルモノニシテ「タヒ此ノ調査ヲ行フトキハ全國ノ情勢之ヲ掌上ニ見ルヲ得ヘシ此ノ調査ニシテ缺ケタリトセムカ國勢ヲ審知スルノ基礎何ニ由リテ立タムヤ且此ノ調査ハ獨リ現狀ヲ明ニスルノミナラス回ヲ累ヌルニ隨ヒ益國勢進歩ノ程度ヲ明確ニスルコトヲ得ルモノニシテ政治上經濟上實業上共ニ必要缺クヘカラサルモノナリ故ニ北米合衆國ノ如キハ建國ノ始ヨリ憲法ニ於テ之ヲ規定シ十年一回ノ大調査ヲ施行シ歐洲各國ニ在テハ概ね每五年若ハ三年ニ一回之ヲ實施セリ我國立憲政體ノ今日ニ及ヒ未タ之ヲ施行セサルハ實ニ一大闕點ト言ハサルヘカラス頃日確信スヘキ歐洲ノ報告ニ據レハ昨年七月瑞西國伯爾尼府ニ開キタル萬國統計會ニ於テ次回ノ調査期限ヲ議決シ西曆一千九百年即チ我明治十三年ト定メ從來各國ノ執行期是ニ先ツモノハ之ヲ延シ後ル、モノハ之ヲ繰上ケ萬國同一時日ニ其ノ調査ヲ執行セムコトヲ望ミ各政府ニ向テ其ノ承諾ヲ求メ既ニ我國ヘモ照會アリタリト聞ケリ我國ニテモ同年ハ恰モ紀元二千五百六十五年ニ當ルヲ以テ是ヨリ繼續シ每五年ニ調査セハ六十五年七十二年ト五箇年毎ニ一回トナリ大ニ便宜ヲ得ヘシ故ニ政府ハ速ニ調査ノ計畫ヲ定メ其ノ準備ヲナサムコトヲ望ム

右建議候也

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 是レ亦御異議ナシト認メマスル、因テ該建議案ハ可決セラレマシタ

午後五時三十二分散會

(左) 日程ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス
議事日程 第四十七號 明治二十九年三月二十六日(木曜日)
午前十時開議
第一 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出貴族院送
出緊急事件)
第二 會計檢查院法中改正法律案(政府提出貴族院送付緊急事件)
第三 會計檢查官退官ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付緊急事件)
第四 農工勸業銀行法案(政府提出貴族院回付)
第五 農工銀行法案(政府提出貴族院回付)

木曾揖斐兩川間閘門設立ニ關スル請願

(請願委員)

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○深山聳岐君(二百二十番) 委員長ニ代ツテ報告ヲ致サウト思ヒマスガ……
(贊成々々ト呼フ者アリ) ワレニハ及バヌト呼フ者アリ

○深山聳岐君(二百三十番) 然ラバ止メマス
○議長(楠本正隆君) 此請願ヲ採擇スルニハ御異議アリマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ採擇スルコトニ決シマス—、日程ハ茲ニ終リヲ告ゲマシタ、明日ハ決議ノ通午前十時ヨリ會議ヲ始メルコトニ致シマスル、其日程ハ書式ヲ以テ御報道ヲ致シマスル、今日ハ是デ散會ヲ報ジマスル

午後五時三十二分散會

(左) 日程ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス

議事日程 第四十七號 明治二十九年三月二十六日(木曜日)

午前十時開議

第一 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提

出緊急事件)

第二 會計檢查院法中改正法律案(政府提出貴族院送付緊急事件)

第三 會計檢查官退官ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付緊急事件)

第四 農工勸業銀行法案(政府提出貴族院回付)

第五 農工銀行法案(政府提出貴族院回付)

第六 静岡縣下郡廢置法律案(政府提出貴族院回付)	第七 福島縣下郡廢置法律案(政府提出貴族院回付)	第八 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出貴族院回付)	第九 明治二十六年度歲入歲出決算	第十 六君提出	第十一 鐵道敷設法第二條中改正法律案(加賀美嘉兵衛君外七名提出)	第十二 飯匙蛇毒醫學研究並ニ該蛇懸賞捕獲ニ關スル建議案(大島信君提出)	第十三 米原敦賀間鐵道柳ヶ瀬隧道改修及水害補助ニ關スル建議案(小畑岩次郎君提出)	第十四 鐵道建築規定ニ關スル建議案(福田久松君外一名提出)	第十五 戰死病死者遺族扶助ニ關スル建議案(高木正年君外四名提出)	第十六 商法第六章第百七十五條修正ノ件ニ付請願(特別報告第六號)	第十七 商工同業組合ニ關スル法律制定ノ請願(特別報告第十二號)	第十八 府縣境界變更ニ關斯ル請願(特別報告第十號)	第十九 復族祿ニ關スル五十三件(特別報告第十一號)	第二十 私立尋常中學校ニ關斯ル請願(特別報告第十二號)	第二十一 民勢調查施行ノ請願(特別報告第十三號)	第二十二 復祿ニ關斯ル請願六十九件(特別報告第十四號)	第二十三 豊後國日田郡管轄替ノ請願(特別報告第十五號)	第二十四 復族祿ニ關斯ル請願五十九件(特別報告第十號)	第二十五 復族祿ニ關斯ル請願五十九件(特別報告第十號)	第二十六 復族祿ニ關斯ル請願(北原信綱君外二十名要求)	第二十七 復族祿ニ關斯ル請願(波多野傳二郎君外三十二名要求)	第二十八 鐵道敷設法中追加ノ請願(北原信綱君外二十名要求)	第二十九 鐵道敷設法中追加ノ請願(波多野傳二郎君外三十二名要求)	第三十 鐵道敷設法中追加ノ請願(北原信綱君外二十名要求)	第三十一 鐵道敷設法中追加ノ請願(波多野傳二郎君外三十二名要求)
第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會				
第七六四	上	一七	專問者	質問者	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正				
頁	段	行	誤	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正				
七	六	四	上	一七	專問者	質問者	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正				
衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤	衆議院議事速記録第四十四號正誤	衆議院議事速記録第四十五號正誤					